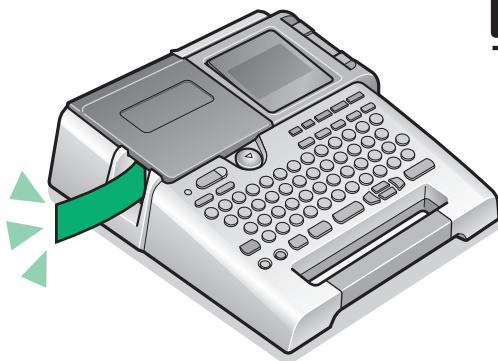


TEPRA

PRO



SR530
取扱説明書

KING JIM

はじめに

このたびは、ラベルライター「テプラ」PRO SR530をお買い上げいただき、ありがとうございます。

本書は「テプラ」PRO SR530の使いかたを、「準備編」「使いかた編」「機能編」「活用編」に分けて説明しています。ご使用前に、必ずお読みください。

取扱説明書には操作方法以外にも、使用上の注意や、上手に使うためのちょっとしたヒントなど、役立つ情報がいっぱいです。いつもお手元においてご利用ください。

「テプラ」PRO SR530を本書とともに末永くご愛用いただきますよう、心からお願い申し上げます。なお、本製品には保証書が同梱されています。保証書は、必ず「販売店名」「購入日」などの記入を確認し、販売店からお受け取りください。

- 本製品を、テレビ・ラジオ等の電波受信機に近づけて使用すると、雑音などが発生することがありますのでご了承ください
- 本製品は、日本国内専用です。FOR USE ONLY IN JAPAN.
- 本書の内容の一部またはすべてを無断で転載することはおやめください。
- 本書の内容は予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。
- 本書の作成には万全を期しておりますが、万一、ご不明な点、誤り、記載漏れなどお気づきの点がございましたら、当社までご連絡ください。

!!注意!!

- 本機で保存する文章などのデータは、基本的に一過性のもので、長時間・永久的な記憶・保存はできません。故障、修理、検査、電池消耗などに起因するデータの消失の損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本書に記載されていない操作はおこなわないでください。事故や故障の原因になることがあります。

キングジム、KING JIM、テプラ、TEPRA、P テープマークは株式会社キングジムの商標または登録商標です。ATOK は株式会社ジャストシステムの登録商標です。

Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

QR コードは株式会社デンソーウエーブの登録商標です。

その他記載の会社名、商品名、サービス名およびロゴマークは、各社の商標または登録商標です。

安全上のご注意…必ずお守りください！

お使いになる方や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただきたい事項を次のように表示しています。

本機をご使用のときは、必ず取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、取扱説明書は不明な点をいつでも解決できるように、すぐ取り出して見られる場所に保管してください。

- 表示された指示内容を守らずに、誤った使用によって起こる危害および損害の度合いを、次のように説明しています。

	危険	この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「死亡または重傷などを負う可能性があり、かつその切迫の度合いが高い危害が想定される」内容を示しています。
	警告	この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示しています。
	注意	この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「軽傷を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容を示しています。

- 次の絵表示で、お守りいただきたい内容を区別して説明しています。

	△ 表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	○ 表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	● 表示は、必ず実行していただきたい「強制」内容です。

!**危険**

電池の取り扱いについて



電池のアルカリ液が目に入ったときは、失明などの障害のおそれがありますので、こすらずにすぐに水道水などの多量のきれいな水で十分に洗ったあと、医師の治療を受けてください。



!**警告**

ACアダプタについて



専用のACアダプタ（AC1116J）以外のアダプタは、使用しないでください。故障したり、過熱、発煙するおそれがあり、火災・感電の原因となります。



ACアダプタは、指定された電源電圧以外の電圧では使用しないでください。故障したり、過熱、発煙するおそれがあり、火災・感電の原因となります。



ACアダプタのコードを引っ張ったり、コードの上に重いものをのせないでください。火災・感電の原因となります。



⚠ 警告

電池の取り扱いについて



電池の(+)と(−)を逆にして使用しないでください。充電やショートなどで異常反応を起こしたりして、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。



電池の液をなめた場合には、すぐにうがいをして医師に相談してください。



電池の液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐに水道水などの多量のきれいな水で洗い流してください。



新しい電池と使用した電池や古い電池、銘柄や種類の異なる電池などを混ぜて使用しないでください。特性の違いから、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。



本製品を長時間使わない場合や、電池を使い切った場合は、本体から電池を取り出してください。電池から発生するガスにより、電池を漏液・発熱・破裂・発火させるおそれがあります。



電池の使いかたを誤ると、電池が漏液、発熱、破裂したりけがや機器故障の原因となるので、電池の外装ラベルやパッケージの注意書に従って正しく使用してください。



その他



本機を踏んだり、落したり、叩いたりなど、強い力や衝撃を与えないでください。破損することがあり火災・感電の原因となります。破損した場合には、電源を切りACアダプタをコンセントから抜き、販売店へご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



ぬれた手で本機やACアダプタ、プラグを操作しないでください。故障や火災・感電の原因となります。



本機や取扱説明書が入っていた袋は、お子様がかぶったり、飲み込んだりしないように、手の届かないところに保管または破棄してください。窒息のおそれがあります。



本機にお茶、コーヒー、ジュースなどの飲物をこぼしたり、殺虫剤を吹きかけたりしないでください。故障や火災・感電の原因となります。水などをこぼした場合には、電源を切りACアダプタをコンセントから抜き、販売店へご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



⚠ 警告



本機を分解、または改造しないでください。火災・感電の原因となります。
また、本書に記載されていない操作はしないでください。事故や故障の
原因となります。



⚠ 注意

オートトリマーのお手入れについて



トリマーカバーをはずすときは、必ず電源を切ってください。トリマー
カバーをはずしたまま作動させると、刃で指を切ったりするなど大変危
険です。また、オートトリマーを掃除するときにはオートトリマー内部
に絶対、指を入れないでください。指を切るおそれがあります。



オートカッターについて



印刷中もしくはカッター作動中にテープ取出し口付近を指で触れないで
ください。指を切るおそれがあります。



その他



本機の上に物をのせたり、ぐらついた台や傾いたところなど、不安定な
場所に本機を置かないでください。落下したり、倒れたりしてけがをする
おそれがあります。



電源が入っている状態でACアダプタを抜かないでください。正常に印刷
できなくなるおそれがあります。



「テプラ」で得られるラベルについて



塩化ビニールのように可塑剤入り材料など被着体の材質、環境条件、貼
り付け時の状況などによっては、ラベルの色が変わる、はがれる、文字
が消える、被着体からはがれない、ノリが残る、ラベルの色が下地にう
つる、下地がいたむなどの不具合が生じことがあります。使用目的や
接着面の材質を十分確認してからご使用ください。なお、これによって
生じた損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその
責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。



テープカートリッジ取り扱いについてのご注意

- テープカートリッジを落としたり、分解したりしないでください。故障の原因となります。



- テープ取出し口から出ているテープを引っ張ったり、押し込んだりしないでください。故障の原因となります。



- テープカートリッジは直射日光、高温、多湿、ホコリを避け、冷暗所に保管してください。

テープカートリッジ開封後はできるだけ早めにお使いください。



MEMO

使用済みのカートリッジには、印刷済みのインクリボンが入っています。

印刷済みのインクリボンは必要に応じてお手元で廃棄してから回収に出してください。

テープカートリッジの回収およびリユース（再利用）について

当社では使用済み「テプラ」テープカートリッジの回収をおこなっています。

使用済みの「テプラ」テープカートリッジは、当社にてリユース（再利用）をおこないますので、テープカートリッジを分解せず、当社までお送りください。回収方法については、当社ホームページをご確認ください。

https://kingjim.jp/tepra_recycle



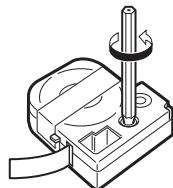
テープカートリッジをセットするときのご注意

テープカートリッジをセットするときは、以下の注意をお守りください。

■ セット前に、必ずインクリボンのたるみを取る

セットするテープカートリッジの穴に鉛筆などを差し込み、矢印方向に軽く巻いてたるみを取ってください。

インクリボンにたるみがあると、本機にセットする際、インクリボンが印刷ヘッドに接触し、インクリボンが折れ曲がったり、破れたりするなど、テープカートリッジの故障・損傷の原因となります。



■ 正しく本機にセットする

テープカートリッジをラベルの貼ってある面を上にして、しっかりと押し込みます。

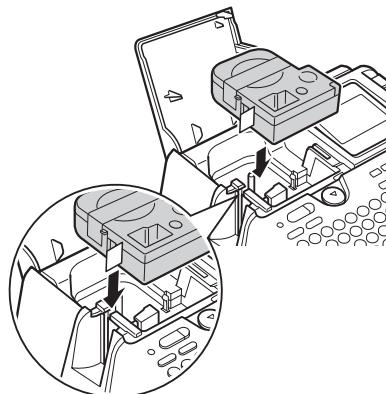
正しくセットすると、本機の固定フックにテープカートリッジが固定されます。

新品のテープカートリッジやテープの先端が長めに出ているテープカートリッジを本機にセットするときは、曲がったテープの先端をまっすぐにし、テープを「テープ通路」のミソに通します。

テープカートリッジを本機に正しくセットせずに印刷すると、テープが折れ曲がって出てきたり、インクリボンが飛び出したりするなど、テープカートリッジの故障・損傷の原因となります。

参照☞P.16「各部の名前とはたらき」

参照☞P.24「3.テープカートリッジをセットする」



■ セットした直後は必ず「テープ送り」をする（**〔シフト〕+〔印刷〕**）

テープカートリッジを本機にセットした直後は、テープやインクリボンにたるみが発生します。そのたるみを取るため、必ず「テープ送り」または「送りカット」をおこなってください。

「テープ送り」または「送りカット」をせずに印刷すると、テープが折れ曲がって出てきたり、インクリボンが飛び出したりするなど、テープカートリッジの故障・損傷の原因となります。

参照☞P.27「5.テープ送りをする」

その他のご注意

本機のご使用にあたっては「安全上のご注意」をよくお読みになり、その指示に従ってください。

- ACアダプタは、使い終わったらコンセントから抜き、本機からも抜いておきましょう。コードを引っかけるなどの思わぬ事故を防げます。
- 直射日光のある場所、車内など熱がこもる場所、暖房器具や熱器具の近くなど温度が異常に高い場所や低い場所、湿気やホコリの多い場所でのご使用、保管はおやめください。
- 人体、生き物、公共の場所や他人の持ち物などにはラベルを貼らないでください。
- ACアダプタ差込み口、USBコネクタ、テープ取出し口などに物をつめたり、ふさいだりしないでください。
- 印刷ヘッドには、絶対に手を触れないでください。
- 本機の性能を十分に発揮するため、キングジム純正「テプラ」PROテープカートリッジ（4、6、9、12、18、24mm幅）をお使いください。キングジム純正テープカートリッジ以外を使用した場合の不具合については、責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 使い終わったテープカートリッジのご使用や、テープカートリッジをセットせずに [印刷] を押すことはおやめください。印刷ヘッドが過熱し故障の原因となります。
- テープ送りは、必ず [シフト] + [印刷] (=テープ送り) でおこなってください。無理に手で引っ張つたりすることは、絶対におやめください。テープ取出し口から出ているテープを引っ張ると、正常に印刷がおこなえず、そのテープカートリッジが使用不能になることがあります。
- テープカートリッジはていねいに扱い、衝撃を与えないでください。
- キーボードの操作はていねいにおこなってください。乱暴な操作は故障の原因となります。また、ペン先などの鋭利なものでのキー操作は絶対におやめください。
- テープ排出時に動作音がしますが、異常ではありません。
- 幅の狭いテープや短いラベルを排出するときに、カットされたラベルが飛び出す場合があります。
- テープをハサミで切るときに指をはさまないように注意してください。
- オートトリマーには「テプラ」PROテープカートリッジ（9、12、18、24mm幅）以外のラベルを差し込まないでください。
- オート・パワーオフ機能に頼らず、ご使用後は必ず電源を切り、ACアダプタをご使用の場合は抜いてください。
- 電源を切るときには終了のメッセージが表示されます。メッセージ表示中は終了処理をしていますので、ACアダプタを抜かないでください。
- 長時間使わないときは、電池、ACアダプタ、テープカートリッジを本機から取りはずしてください。本機、電池、ACアダプタ、テープカートリッジは、直射日光、高温多湿、磁気や振動、ホコリなどを避けて冷暗所に保管してください。
- 長期間電池を入れたままにしておくと、電池から液漏れしたりすることがあります。電池に記載してある使用推奨期限を目安にお取り換えください。
- 寿命となった電池は、定められた条例に従って廃棄してください。
- 本書に記載されていない操作はおこなわないでください。事故や故障の原因となることがあります。
- 本書に記載された内容、仕様、デザインなどは予告なく変更されることがあります。
- 本書で使用しているラベル見本はすべてイメージです。本機で印刷したラベルを、説明用に縮小や余白の調整をして使用しています。

本書の使いかた

本書の構成

本書は次のような構成になっています。

準備編

本機を使用する前の準備作業について説明しています。

使いかた編

「使いかた編」では、文字入力の基本操作と段落の追加などテキスト画面での操作と、オートトリマーについて説明しています。初めて「テプラ」PROシリーズをお使いになる方は、順を追って読まれることをおすすめします。

機能編

ラベルの見栄えをよくする機能や、フォーム機能など、デザイン性の高いレベルを作っていたくための情報を操作ボタンごとにまとめて説明しています。「使いかた編」の内容を十分に理解されたうえでお読みくださいようお願いします。

活用編

ファイル、あて名といった各種登録機能など、「テプラ」をさらに使いこなしていただくための情報を操作ボタンごとにまとめて説明しています。

本書の見かた

本書は次の表記で記述しています。

【表記】	【説明】
①、②	操作の手順を示しています。
(M)、(C)	文字ボタンを示しています。
書式、スタイル、モード	機能ボタンを示しています。
◀ ▶ ▲ ▼	カーソルを移動したり、メニューを選ぶボタンを示しています。
参照	関連する事項の参照ページを案内しています。
MEMO	知っておくと便利な補足情報を説明しています。
!!注意!!	その機能の制限や条件など注意していただきたいことを説明しています。

ラベル見本について： 本書で使用しているラベル見本はすべてイメージです。本機で印刷したラベルを、説明用に縮小や余白の調整をして使用しています。

目次

はじめに

安全上のご注意…必ずお守りください！	1
テープカートリッジ取り扱いについての ご注意	4
テープカートリッジをセットするときの ご注意	5
その他のご注意	6
本書の使いかた	7
本書の構成	7
本書の見かた	7
同梱品の確認	10
別売品のご案内	11
まず使ってみよう…	
すぐ使いたい人のために	12

準備編

各部の名前とはたらき	16
本機各部の名前（表）	16
本機各部の名前（内部）	16
本機各部の名前（裏）	17
本機各部の名前（背面）	17
操作パネルの名前とはたらき	18
ディスプレイの見かたとはたらき	20
ディスプレイ（画面）の見かた	20
使う前の準備	22
1. ACアダプタを接続する	22
2. 電池（別売）を入れて 使用するときは	22
3. テープカートリッジをセットする	24
4. 電源を入れる	26
5. テープ送りをする	27

使いかた編

手順どおりに作ってみよう	
（文字入力～ラベルの完成まで）	30
文字入力をはじめる前に	30
1. 文字を入力する	31
長い文章を変換する	34
変換する「読み」の長さを変える	34
2. 英数字を入力する	35
3. スペースを入力する	36
4. 記号を入力する	36
5. 印刷イメージを確認する （プレビュー）	37
6. 印刷する	38
7. ラベルを貼る	39
8. 使い終わったら〈電源を切る〉	40

文章を作る	41
カーソルボタンの使いかた	41
文章を入力する	41
文字を削除/挿入する	42
文字をコピーする	42
文字を貼り付ける（ペースト）	43
すべての文章を消去する	43
行を増やす（改行）	44
新しい行を作る	44
文字を次行に移動する	45
改行を取り消す	45
段落を増やす（改段落）	46
新しい段落を作る	46
段落を分割する	47
特定の段落を消去する	47
カドを丸く仕上げる	48
オートトリマーのお手入れ	49

機能編

ラベルの向きを変える（縦・横）	52
ボタンを使う	52
ラベルの長さを整える（らく ² ）	54
ラベルの見栄えをよくする	
～装飾機能を使おう～	55
機能を指定する	56
メニュー一覧	59
文章書式	59
段落スタイル	60
文字モード	63
機能の説明	65
文章書式	65
段落スタイル	68
文字モード	71
デザインされたラベルを呼び出す	
（フォーム）	74
ラベルの作りかた	74
フォーム/特殊フォーム メニュー一覧	76
フォーム見本	77

活用編

文章を呼び出す・登録する（ファイル）	88
メニュー	88
ファイルを登録する	89
ファイルを呼び出す	90
ファイルを消去する	91
ファイルを複写する	91
最近印刷した文章を呼び出す	92
印刷履歴を呼び出す	92

印刷履歴を消去する	92	本機を初期化する	132
名前や語句を登録する		初期化する	133
(あて名/名前/辞書)	93	表示の切り替え（みえ ² ）	134
あて名ラベルを作る	93	デモ印刷をする	135
あて名を登録する	94		
あて名を修正する	95		
あて名を消去する	95		
あて名を複写する	96		
あて名ラベルを印刷する	96		
カスタマバーコードについて	97		
名前を登録する	99		
名前を修正する	100		
名前を消去する	100		
名前ラベルを印刷する	101		
変換できない語句を登録する			
(辞書の登録)	102	メニュー一覧	138
語句を呼び出す	102	記号メニュー一覧	138
辞書の語句を修正する	103	テープ送りメニュー一覧	140
辞書の語句を消去する	103	消去メニュー一覧	140
外字を使う	104	テープカートリッジを使いわける	141
外字を作成し、登録する	106	パソコンに接続して使う	142
外字を修正する	107	ラベルソフト、プリンタドライバを インストールする	142
外字を呼び出す	107	パソコンと「テプラ」本体を 接続する	147
外字を複写する	108	ラベルソフト、プリンタドライバを アンインストールする	148
外字を消去する	108	こんな表示が出たときは	151
外字を参照作成し、登録する	109	ディスプレイが消えたときは	151
読みのわからない漢字を入力する	110	エラーメッセージが表示されたときは	151
漢字検索メニュー一覧	110	故障かな？と思ったら	154
コードで入力する	111	正常な動作をしない	154
部首による漢字検索	112	⑥を押してもディスプレイに 何も表示されない	154
連番やバーコードを印刷する	113	キーボードが動作しない	154
連番・バーコードメニュー一覧	113	ディスプレイが消える	154
連番を印刷する	114	⑥を押しても何も印刷されない	154
バーコードを印刷する	116	文字がきちんと印刷されない	155
QRコードを印刷する	118	ラベルを印刷後、自動カット されない	155
特殊な印刷（ぞく ² 、でか ² ）	120	オートトリマーでうまくカット できない	155
特殊印刷メニュー一覧	120	文章の途中までしか印刷されない	156
同じラベルを連続して印刷する (ぞく ²)	121	ファイルの内容が消えてしまった	156
テープ幅より大きなラベルを作る (でか ²)	122	ラベルを貼り付けることができない	156
鏡文字を印刷する	124	お手入れについて	157
印刷設定	125	ヘッド・クリーニングテープ（別売）を 使う	158
印刷設定メニュー一覧	125	入力文字一覧表	159
「自動カット」を設定する	126	文字ボタン配列	159
印刷濃度を調整する	127	入力文字表	159
印刷設定をリセットする	127	漢字変換表	160
環境設定を変更する	128	JIS第1水準	160
環境設定メニュー一覧	128	JIS第2水準	164
ディスプレイの濃度を調整する	129	その他	167
各種の初期値（保存値）を設定する	130	記号一覧表	168
保存値を変更する	131	ローマ字変換表	173

付録

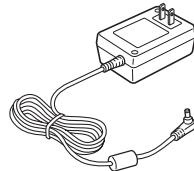
メニュー一覧	138
記号メニュー一覧	138
テープ送りメニュー一覧	140
消去メニュー一覧	140
テープカートリッジを使いわける	141
パソコンに接続して使う	142
ラベルソフト、プリンタドライバを インストールする	142
パソコンと「テプラ」本体を 接続する	147
ラベルソフト、プリンタドライバを アンインストールする	148
こんな表示が出たときは	151
ディスプレイが消えたときは	151
エラーメッセージが表示されたときは	151
故障かな？と思ったら	154
正常な動作をしない	154
⑥を押してもディスプレイに 何も表示されない	154
キーボードが動作しない	154
ディスプレイが消える	154
⑥を押しても何も印刷されない	154
文字がきちんと印刷されない	155
ラベルを印刷後、自動カット されない	155
オートトリマーでうまくカット できない	155
文章の途中までしか印刷されない	156
ファイルの内容が消えてしまった	156
ラベルを貼り付けることができない	156
お手入れについて	157
ヘッド・クリーニングテープ（別売）を 使う	158
入力文字一覧表	159
文字ボタン配列	159
入力文字表	159
漢字変換表	160
JIS第1水準	160
JIS第2水準	164
その他	167
記号一覧表	168
ローマ字変換表	173
おもな仕様	174
索引	176
アフターサービスについて	卷末

同梱品の確認

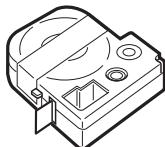
同梱品がすべて揃っているか、確認してください。



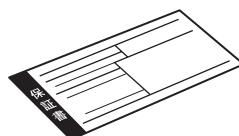
「テプラ」PRO SR530本体



ACアダプタ（AC1116J）



試用PROテープカートリッジ



保証書
(箱の側面に添付)



取扱説明書（本書）

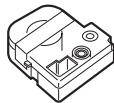
MEMO

- ・本機には、電池は同梱しておりません。電池でお使いになる場合は、アルカリ乾電池(単3形×6本)をお買い求めください。
- ・本機には、CD-ROM、ラベルソフトの取扱説明書は同梱されていません。当社ホームページ(<https://www.kingjim.co.jp/>)からダウンロードしてください。なお、ダウンロードの際はインターネット環境が必要となります。
- ・本機にはパソコン接続用のUSBケーブルは同梱しておりません。パソコン接続には市販のUSBケーブルをご使用ください（USB2.0/1.1ケーブル A-Bタイプ）。

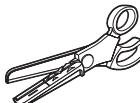
参照☞P.142「パソコンに接続して使う」

別売品のご案内

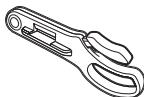
本機には、以下の製品がオプションとして用意されています。本機と合わせてご利用ください。



**ヘッド・クリーニングテープ
(SR24C)**
「テプラ」本体のヘッドクリー
ニング用のテープです。



トリマー (RT36W)
ラベルのカドを丸くカットし
て、はがれに強い、きれいな
ラベルに仕上げるハサミ型ト
リマーです。ラベルの前後余
白調整にも便利です。
対応ラベル：4～36mm幅
※本機の対応ラベルは4mm～
24mmです。



ハーフカッター (RH24)
ラベルの印刷面にスリットを
入れて、ラベルの裏紙をはが
しやすくなります。
対応ラベル：4～24mm幅



お名前タグメーカー (SRT10)
「テプラ」PROテープカート
リッジりぼんに「スナップボ
タン」を取り付けて、オリジ
ナルのお名前タグが作れます。



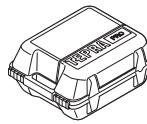
スナップボタン (SRTB1)
プラスチック製のボタンが20
組入った「お名前タグメー
カー」専用のオプション品で
す。



セミハード収納ケース(SR11B)
軽くて丈夫なセミハードタイ
プのケースです。A4サイズの
棚に入るコンパクトなサイズ。
インテリアにもなじむ落ち着
いたカラーです。



キャリングバッグ (SR9B)
EVA素材を使用した軽くて丈
夫なバッグです。持ち運びに
便利な、肩掛けストラップを
付属しています。
「テプラ」PRO本体とテープ
カートリッジ、同梱品、別売品、
取扱説明書が収納可能です。



システムトランク (SR10BT)
耐衝撃性に優れたトランクで
す。「テプラ」PRO本体をはじ
め、テープカートリッジ、同
梱品、別売品などを一括して
持ち運び、また保管するこ
とができます。



システムケース (SR9H)
A4ポックスサイズに「テプラ」
PRO本体とACアダプタ、テー
プカートリッジ（12mm幅10個
分）などが収納可能です。印刷
済みラベルの整理用ラベルファ
イル付きです。



**テープカートリッジケース
(SR4TH)**
A4ポックスサイズにテープ
カートリッジ（12mm幅40個
分）が収納可能です。4つの
ポックスでテープ色・幅・種
類ごとに整理できます。

MEMO

詳細については、当社ホームページ（<https://www.kingjim.co.jp/>）をご覧いただきか、お買い上
げ販売店または当社お客様相談室にお問い合わせください。
参照△卷末「アフターサービスについて」

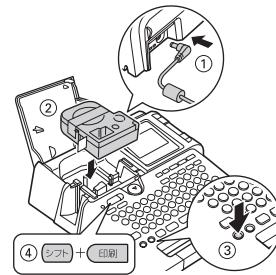
まず使ってみよう…すぐ使いたい人のために

準備

ラベル作成の準備をします。参照☞ P.22「使う前の準備」

- ① ACアダプタを本機に接続する
- ② テープカートリッジをセットする
- ③ 電源を入れる
- ④ テープ送りをする

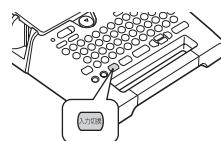
テープカートリッジをセットした直後は必ず
テープ送りをしてください。



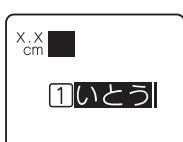
文字を入力する (例 伊藤)

印刷する文字を入力します。参照☞ P.31「1.文字を入力する」

- ① [入力切替]を押して、「ローマ字入力」または「かな入力」を選ぶ

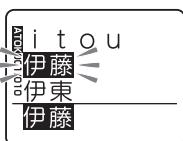


- ② 文字を入力する→仮確定文字（ネガ表示）で入力されます



ローマ字入力 : ①、⑦、⑩、⑪
かな入力 : ⑤、⑧、⑨

- ③ 「伊藤」が表示されるまで [変換スペース] を押す

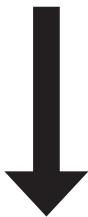


候補が表示されます。
[変換スペース]を押すたびに候補が変わります。

- ④ [選択改行]を押す→「伊藤」が確定します



行頭マークが①に変わります。



さらに、外枠をつけたり、書体などを変更するとラベルの見栄えが良くなります。

参照☞P.51「機能編」

ラベルの向きを変えるには：参照☞P.52

文字のサイズを変えるには：参照☞P.58

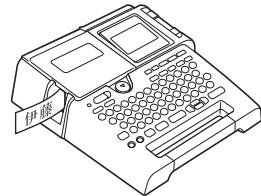
印刷する

① [印刷] を押す→ラベルが印刷されます

印刷終了後、テープは自動カットされます。

テープは絶対に手で引っ張らないでください。

参照☞P.38「6.印刷する」



ラベルを貼る

① 裏紙をはがし、しっかりとこすって貼り付ける

参照☞P.39「7. ラベルを貼る」

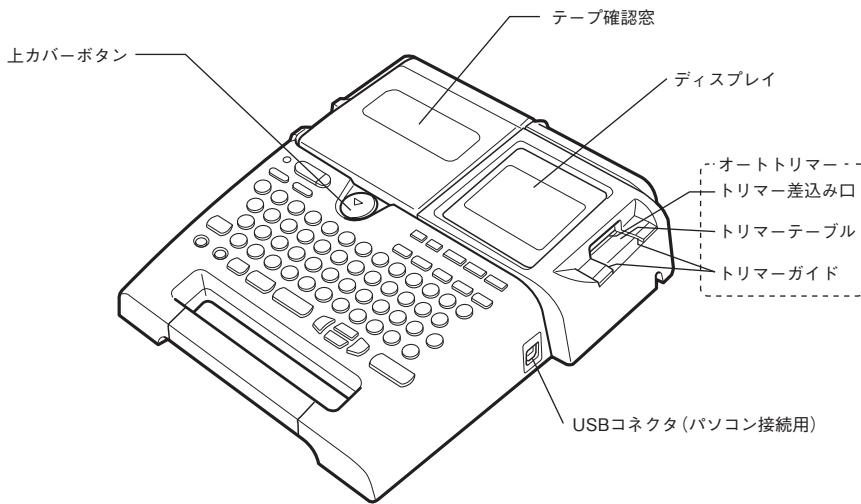


準備編

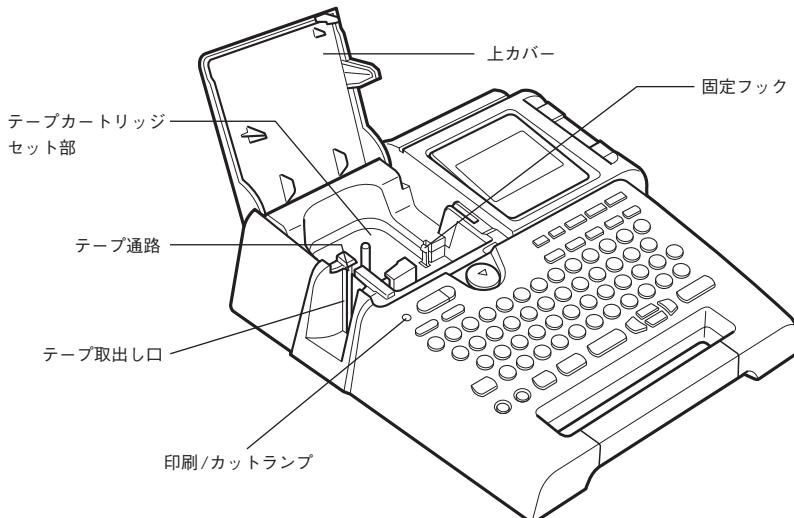
本機にACアダプタを接続し、電源を入れます。
本機をはじめてお使いの方は、ここからお読みください。

各部の名前とはたらき

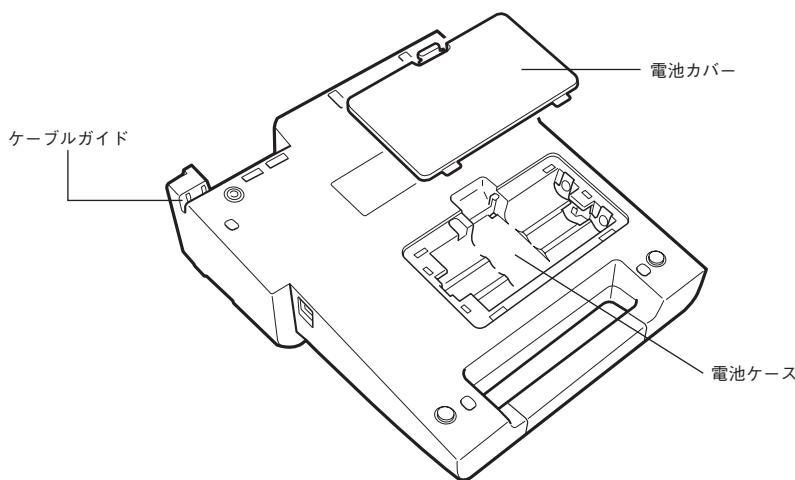
本機各部の名前（表）



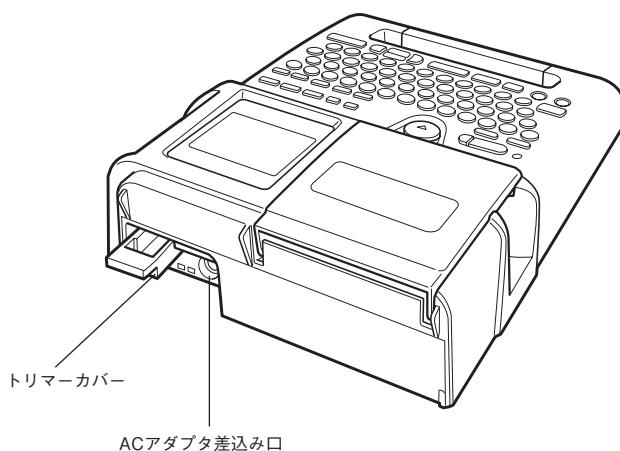
本機各部の名前（内部）



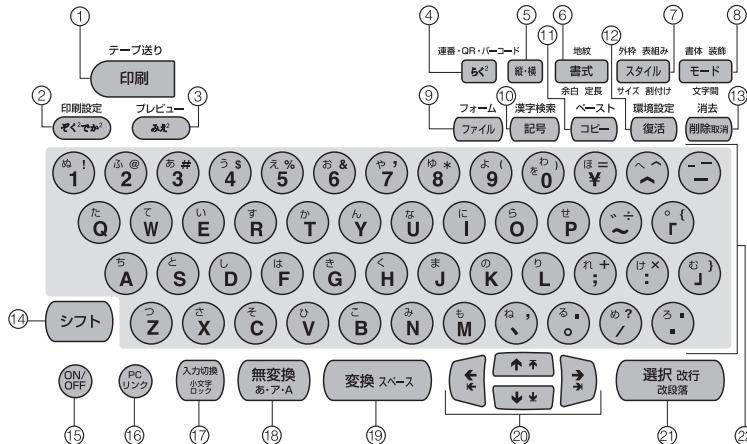
本機各部の名前（裏）



本機各部の名前（背面）



操作パネルの名前とはたらき



各ボタンの機能を説明します。[シフト]+[]となっている表記は、[シフト]を押しながらそのボタンを押したときの機能です。

① [印刷] (Print)

入力内容をテープに印刷し、テープを自動的にカットします。

参照☞P.38

[シフト]+[印刷] (=テープ送り)

テープを約17mm空送りしたり、カットします。

参照☞P.27

② [ぞくでか] (特殊印刷)

連続印刷、拡大印刷、鏡文字印刷します。

参照☞P.120

[シフト]+[ぞくでか] (=印刷設定)

自動カットや印刷濃度を設定します。

参照☞P.125

③ [みえ²] (みえ²)

テキスト画面の表示を切り替えます。

参照☞P.134

[シフト]+[みえ²] (=プレビュー)

印刷イメージを確認します。参照☞P.37

④ [らく²] (らく²)

段落の文字サイズを「らく²」または「均等」に切り替えます（文字サイズ「自動」のみ）。

参照☞P.54

[シフト]+[らく²] (=連番・QR・バーコード)

連続番号やバーコードを入力します。

参照☞P.113

⑤ [縦・横] (縦・横)

たて書き／よこ書きを切り替えます。

参照☞P.52

[書式] (文章書式)

「文章書式」（地紋印刷、定長印刷、余白）を指定します。

参照☞P.55

⑦ [スタイル] (段落スタイル)

「段落スタイル」（縦・横、文字サイズ、割付け、外枠・表組）を指定します。

参照☞P.55

⑧ [モード] (文字モード)

「文字モード」（書体、飾り字、斜体・強調、伸縮、囲み・網、文字間）を指定します。

参照☞P.55

⑨ [ファイル] (ファイル)

文章の保存、呼び出しや印刷履歴の呼び出し、あて名、名前、辞書を登録します。

参照☞P.88

[シフト]+[ファイル] (=フォーム/特殊フォーム)

デザインフォームや特殊フォームを呼び出します。

参照☞P.74

⑩ 記号 (記号)

記号の入力や外字を登録します。

参照☞P.36、104

シフト+記号 (=漢字検索)

読みのわからない漢字を検索します。

参照☞P.110

⑪ コピー (コピー)

入力済みの文字をコピーします。

参照☞P.42

シフト+コピー (=ペースト)

コピーした文字を貼り付けます。

参照☞P.43

⑫ 復活 (復活)

削除した文字や文章をもとに戻します。

参照☞P.42

シフト+復活 (=環境設定)

画面の表示濃度や各種保存値を変更します。

参照☞P.128

⑬ 削除取消 (削除、取消)

カーソル位置（カーソルの左側）の文字を削除します。各種機能の操作中は操作が取り消されます。参照☞P.42

シフト+削除取消 (=消去)

段落や文章を消去します。参照☞P.43、47

⑭ シフト (シフト)

機能ボタンと一緒に押すと、機能ボタンの上部に書かれた機能になり、文字ボタンと一緒に押すと、小文字や英記号が入力できます。

⑮ ON/OFF (ON/OFF)

電源をON/OFFします。参照☞P.26

⑯ PCリンク (PCリンク)

ラベルソフト「テプラ クリエイター」使用時に、本機をパソコンと接続する状態に切り替えます。

⑰ 入力切換 (入力切換)

入力状態を「ローマ字→かな→ABC」の順で切り替えます。参照☞P.31、35

QRコードの用途「一般」では「ローマ字→かな→ABC【半角】→ABC」の順で切り替えます。参照☞P.118

「ABC入力」時のみ**シフト+入力切換 (=小文字ロック)**

小文字入力状態に切り替えます。

参照☞P.35

⑯ 無変換 (無変換)

ネガ文字がある場合、「ローマ字入力」時は押すたびに「ひらがな→カタカナ→英字」の順に、「かな入力」時は「ひらがな→カタカナ」の順に変換します。

参照☞P.31

機能選択は、1つ前の選択肢を表示します。

シフト+無変換 (=文字変換)

ネガ文字がある場合、「ローマ字入力」時は押すたびに「英字→ひらがな→カタカナ」の順に、「かな入力」時は「カタカナ→ひらがな」の順に変換します。

参照☞P.31

⑯ 変換スペース (漢字変換、スペース入力)

ネガ表示のひらがなを漢字に変換します。ネガ文字がないときは、スペースを入力します。ATOK変換画面では、次の変換候補を表示します。

参照☞P.31、36

⑳ カーソルボタン (カーソルボタン)

カーソルや選択候補を上下左右に移動します。

参照☞P.41

ATOK変換画面では、で変換対象の文節長さを変更し、で確定します。

参照☞P.34

シフト+カーソルボタン (=カーソルジャンプ)

カーソルを段落先頭、段落末尾、行頭、行末に移動します。機能選択時は、先頭候補、最終候補を表示します。

参照☞P.41

ATOK変換画面では変換対象の文節を切り替えます。参照☞P.30

㉑ 選択改行 (選択、改行)

機能選択時の選択肢や、文字の入力、変換を確定します。ネガ文字がないときは、新しい行を作ります（改行）。

参照☞P.44

シフト+選択改行 (=改段落)

新しい段落を作ります。

参照☞P.46

㉒ 文字ボタン (丁、日、中、右、左など)

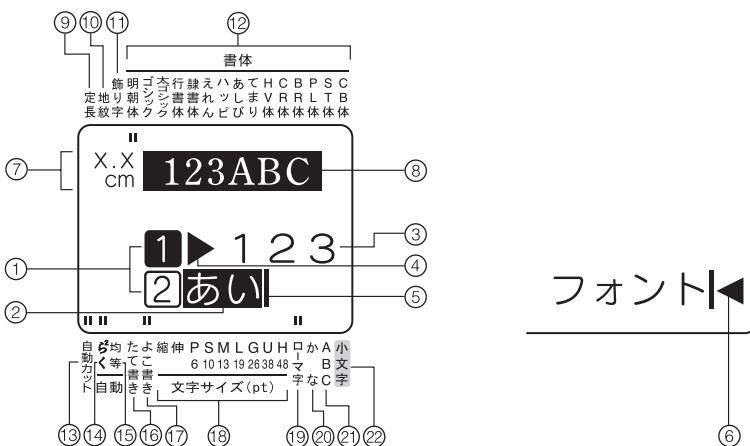
文字を入力します。

参照☞P.31

ディスプレイの見たたはたらき

ディスプレイ（画面）の見かた

■ テキスト画面



- ① **行頭マーク (1 2…×**, **1 2…□)**
行頭に表示され、何行目かを示します。1、
2は印刷できる行を表し、1、2はその行
に文字がまだ入力されていない（確定してい
ない）ことを表しています。
×、□は印刷できない行を表しています。
×が表示されているときは、印刷できません。
参照☞P.44

② **ネガ文字（例：あい）**
仮確定の文字で、印刷されません。
ボタンで漢字、カタカナ、英数字に、
ボタンでひらがな、カタカナ、英字に変換で
きます。

③ **確定文字（例：123）**
入力が確定した文字で、印刷されます。

④ **文字モード指定マーク (►)**
文字、行、段落単位で、書体、飾り字などの
文字モードを変更すると表示されます。
参照☞P.57

⑤ **カーソル (|)**
操作を実行する場所を示します。カーソル位
置を基準に、文字や記号を挿入したり削除で
きます。
参照☞P.41

⑥ **フルメモリーマーク (◀)**
入力可能文字数（約175文字）をオーバーして、
これ以上文字が入力できないときに表示され
ます。

⑦ **印刷情報**
セットされているテープ幅と印刷したときの
目安の長さを表示します。「みえ²」の設定に
よっては表示されないこともあります。
参照☞P.134

⑧ **印刷イメージ**
印刷したときのイメージを表示します。「み
え²」の設定によっては表示されないことも
あります。
参照☞P.134

⑨ **定長インジケーター**
定長印刷が指定されているときに点灯します。

⑩ **地紋インジケーター**
地紋印刷が指定されているときに点灯します。

⑪ **飾り字インジケーター**
カーソル位置の文字に飾り字が指定されてい
るときに点灯します。

⑫ **書体インジケーター**
カーソル位置の文字に対応した書体が点灯し
ます。

- ⑯ 自動カットインジケーター**
自動カットが「する」に指定されているときに点灯します。
- ⑰ 自動/らく²インジケーター**
文字サイズが「自動-らく²」に指定されているときに点灯します。
- ⑱ 文字サイズインジケーター**
カーソル位置の文字のサイズに対応したインジケーターが点灯します。
数字はポイント数(pt)を表しています。
*1ptは約1/72インチ(約0.35mm)です。
- ⑲ ローマ字入力インジケーター**
「ローマ字入力」状態のときに点灯します。
- ⑳ かな入力インジケーター**
「かな入力」状態のときに点灯します。
- ㉑ ABC入力インジケーター**
「ABC入力」状態のときに点灯します。
「ABC入力【半角】」状態のときに点滅します。
参照☞P.118
- ㉒ 小文字入力インジケーター**
[Shift]を押しているときや、小文字入力状態のときに点灯します。
参照☞P.35

使う前の準備

1. ACアダプタを接続する

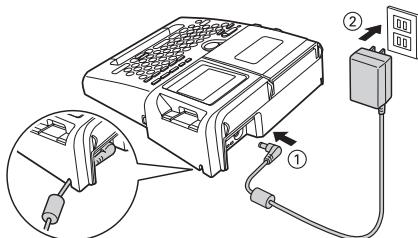
専用のACアダプタ（AC1116J）で、家庭用コンセント（AC100V）から電源を取ります。

① ACアダプタのプラグを本機奥面のACアダブ

タ差込み口にしっかりと差し込み、ケーブルガイドを通す

※ 差し込みが不十分だと電源が入らない場合があります。

② ACアダプタの電源プラグを家庭用コンセントに差し込む



!!注意!!

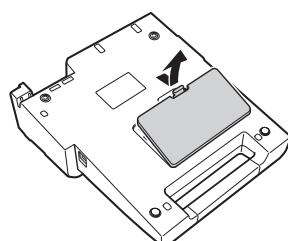
- 使い終わったらすぐにACアダプタをコンセントから抜き、本機からも抜いてください。USBケーブルもはずしておきましょう。コードを引っかけるなどの思わぬ事故も防げます。
- ACアダプタのコードは強く引っ張ったり、繰り返し折り曲げたりすると、断線することがあります。
- プラグのショートなどで、安全機能がはたらきACアダプタの回路が遮断されることがあります。
- ACアダプタは保証対象外です。

2. 電池（別売）を入れて使用するときは

本機にアルカリ乾電池（単3形×6本：別売）をセットします。外出先などでACアダプタを使えないとき、この電池を電源にして印刷できます。

① 電池カバーをはずす

レバーを手前に引きながら電池カバーを持ち上げます。

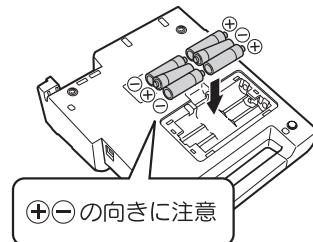


!!注意!!

必ず、電源を切ってからおこなってください。

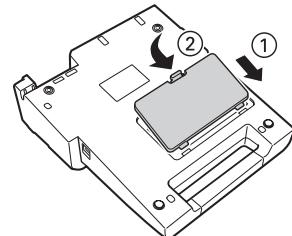
② 電池を入れる

電池の向きに注意して、アルカリ乾電池（単3形×6本）を入れます。



③ 電池カバーをはめる

電池カバーの上の爪を本機のミソに合わせ、しっかりとカバーをはめます。



!! 注意 !!

- 本機にはアルカリ乾電池（単3形×6本）をお使いください。その他の電池は使用できません。
- 電池でも印刷できるだけの電源容量がありますが、電池での印刷は大変不経済です。できるだけACアダプタをお使いください。
- ACアダプタは、必ず専用のACアダプタ（AC1116J）をお使いください。

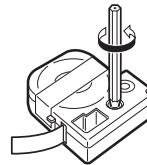
MEMO

- 広い幅のテープに大きな文字を印刷する場合、一時的に大量の電力が消費されるため、新品の電池でも「電池を交換！」と表示されることがあります、故障ではありません。
- 電池が消耗すると、印刷スピードが遅くなります。さらに使い続けるとディスプレイに「電池を交換！」と表示されます。直ちにすべての電池を新しいアルカリ乾電池（単3形×6本）に交換するか、専用のACアダプタ（AC1116J）をお使いください。電池を交換せずに使い続けると、操作中や印刷中に電源が切れことがあります。
- 新品のアルカリ乾電池（単3形×6本）では、常温で18mm幅のテープカートリッジ（8m）を1本は印刷できます。ただし、温度の低いところで使用したり、幅広テープに大きな文字を印刷したりすると、電池が早く消耗します。印刷時は、専用のACアダプタ（AC1116J）を利用するすることをおすすめします。
- ご使用後は必ず電源を切ってください。
- 長期間使用しないときは、電池の液漏れを防ぐため電池を取り出して保存してください。
- 寿命となった電池は、定められた条例に従って廃棄してください。

3. テープカートリッジをセットする

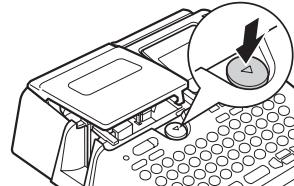
① インクリボンのたるみを取る

セットするテープカートリッジの穴に鉛筆などを差し込み、矢印方向に軽く巻いて、たるみを取ってください。



② 上カバーボタンを押す

上カバーボタンを押すと、上カバーが少し開きます。



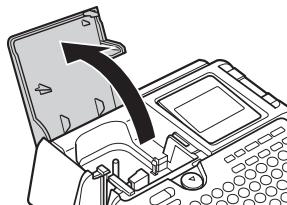
!! 注意 !!

必ず、電源を切ってからおこなってください。

③ 上カバーを開ける

!! 注意 !!

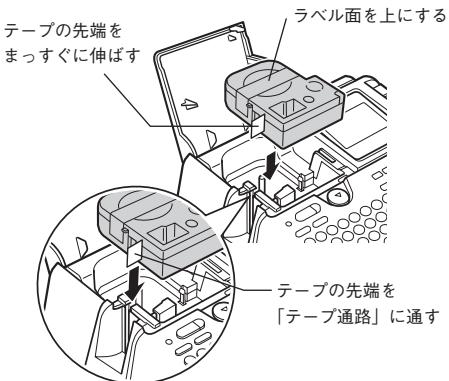
- ・上カバーは図の位置で止まります。無理に開けないでください。
- ・上カバーを持って、本機を持ち上げないでください。カバーがはずれて本体が落下すると、けがや本体が破損するおそれがあります。



④ テープカートリッジをセットする

セットするテープカートリッジを、ラベルの貼ってある面を上にして、しっかりと押し込みます。正しくセットすると、本機の固定フックにテープカートリッジが固定されます。

テープの先端が長めに出ているときや新品のテープカートリッジをセットするときは、曲がったテープの先端をまっすぐにし、テープを「テープ通路」のミゾに通します。

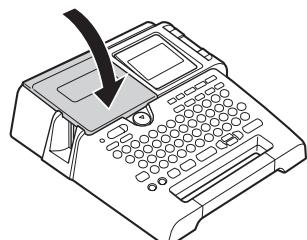


⑤ 上カバーを閉じる

上カバーを指で軽く押してしっかり閉じます。

!! 注意 !!

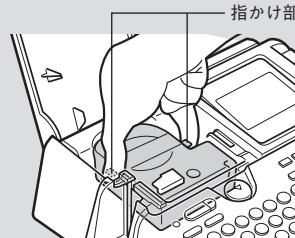
- ・テープカートリッジをしっかり押し込まらずに上カバーを閉じると、本機やテープカートリッジが破損するおそれがあります。
- ・上カバーはしっかり閉じてください。



MEMO

テープカートリッジの取り出しかた

美しい印刷を安定しておこなうために、テープカートリッジは本体にしっかりと固定されています。取り出すときは、カートリッジ側面の指かけ部に指をかけ、まっすぐ上に持ち上げて取り出します。



!!注意!!

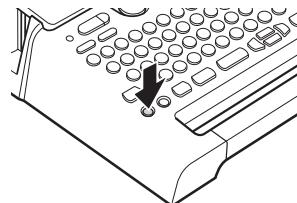
- テープカートリッジをしっかりと押し込まずにカバーを閉めると、本機やテープカートリッジが破損するおそれがあります。
- 本機では、4mm、6mm、9mm、12mm、18mm、24mmの6種類の幅のテープカートリッジを使用することができます。ただし、テープ幅によって印刷できる行数は異なります。
参照☞P.44「テープ幅と印刷できる行数」
- テープカートリッジは、直射日光、高温、多湿、ホコリを避け、冷暗所に保管してください。
- テープカートリッジ開封後はできるだけ早めにお使いください。
- テープカートリッジは奥までしっかりとセットしてください。
- 本機で使用できない幅のテープカートリッジをセットした場合や正しくセットしていない場合は、「テープ幅を確認して！」や「テープ無し！」と表示されます。本機で使用可能なテープカートリッジを正しくセットしてください。

4. 電源を入れる

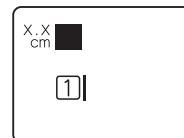
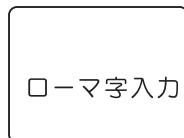
電源を入れる前にもう一度確認してください。

- ACアダプタは、本機とコンセントに正しく接続されていますか？
- 電池は正しくセットされていますか？(電池で使用する場合)

①  を押す



電源が入るとタイトル画面が表示され印刷/カットランプが点灯します。印刷/カットランプはタイトル画面が消えると消灯します。



※ 設定されている入力状態が約1秒間表示されます。

※ 行頭マーク (①) とカーソル (|) が表示されます。

すでに文章が入力されているときは、タイトル画面のあとに文章が表示され、指定されている機能のインジケーターが点灯します。

参照☞P.20「ディスプレイ（画面）の見かた」

MEMO

オート・パワーオフ

電源が入ったまま約5分間何も操作しないと、電池の消耗を防ぐため、オート・パワーオフ機能により自動的に電源が切れます（電源が切れても入力した文章はなくなりません）。 をもう一度押すと、オート・パワーオフ直前の状態に戻ります。

外字データの作成、修正をしているとき、またはPCリンクの状態では、オート・パワーオフ機能ははたらきません。

電源を切ると、オート・パワーオフよりさらに電池を節約できます。使わないときはこまめに電源を切るようにしましょう。

5. テープ送りをする

テープカートリッジをセットした直後は、テープの「たるみ」を取るため、必ず「テープ送り」または「送りカット」をしてください。

- ① **[シフト]を押しながら [印刷] (=テープ送り) を押す**

「テープ送り」メニューが表示されます。

- ② **[↑] [↓] で「テープ送り」または「送りカット」を選ぶ**

- ③ **[選択改行] を押す**

「テープ送り」の場合はテープが約18mm空送りされます。

「送りカット」の場合は、空送りされたあと、テープが自動的にカットされます。

テープ送り
テープ送り
送りカット

!! 注意 !!

「テープ送り」または「送りカット」をおこなうと、テープやインクリボンの「たるみ」が取れます。テープカートリッジをセットしたあとは、必ず「テープ送り」または「送りカット」をおこなってください。

続いて

ラベルを作る準備が整いました。それでは、実際にラベルを作ってみましょう。

参照☞P.30「手順どおりに作ってみよう」

使いかた編

～簡単なラベルを作ろう～

最初に簡単なラベルを作ってみましょう。

文字入力、印刷、改行など「テプラ」の基本操作を確認してください。

続いて文章を段落に分けるなど、レイアウトを工夫する機能を確認しましょう。

手順どおりに作ってみよう(文字入力～ラベルの完成まで)

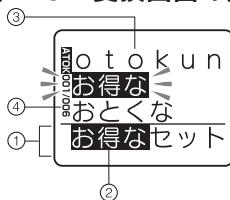
右のサンプルラベル（18mm幅）を手順どおりに作ると、文字入力からラベルの印刷までの基本的な操作がカンタンに覚えられます。

お得なセット！
初回限定版Box

文字入力をはじめる前に

本機は、日本語入力システム「ATOK」を採用しており、以下の画面とボタンで操作します。

■ ATOK 変換画面の見かた



②変換対象

仮確定文字中、ネガ表示されている部分が現在の変換対象です。
↓を押すと確定します。

③変換候補一覧

変換対象の変換候補を表示します。ネガ表示の候補は、現在選択されている候補です。

④変換候補番号/変換候補数

選択されている変換候補の順番と仮確定文字の変換候補数です。

文字の変換中に使用するボタン

ボタン名	機能
[変換スペース]	変換候補の表示、および次の変換候補の選択
[↑]	前の変換候補の選択
[シフト]+[↑]	変換候補番号001の候補の選択
[↓]	変換対象を確定し、次の文節を変換対象とする
[←]	変換対象の文節長さを短くする
[→]	変換対象の文節長さを長くする
[シフト]+[←]	左の文節を変換対象とする（確定されていない場合のみ）
[シフト]+[→]	右の文節を変換対象とする
[無変換]、[シフト]+[無変換]	ひらがな、カタカナ、英字（ローマ字入力の場合のみ）への変換
[選択改行]	仮確定文字を表示されている状態で確定し、テキスト画面へ戻る
[削除取消]	確定されていない文節を「読み」にし、テキスト画面へ戻る
[復活]	直前に変換した文節を「読み」に戻す
文字ボタン	仮確定文字を表示している状態で確定し、テキスト画面に文字を入力する

[シフト]+[○]となっている表記は、[シフト]を押しながらそのボタンを押す操作です。

1. 文字を入力する

文字は、「読み」を入力してから変換します。「読み」はひらがなで入力されます。

例：



- ① 入力切替を数回押して「ローマ字入力」または「かな入力」を選ぶ



- ② 「おとくなせっと」を入力する

ローマ字入力：① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫

⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱

かな入力：① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦

⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫

【くなせっと】

仮確定文字（ネガ表示）で入力されます。

- ③ 変換スペースを押す

【お得なセット】

変換対象の1番目の候補が表示されます。

さらに【変換スペース】を押すと変換対象が次の候補に変わり、変換候補一覧が表示されます。

- ④ 「お得な」になっている状態で【↓】を押す

【otokun】【お得な】
【otokun】【お得な】
【otokun】【お得な】

「お得な」が確定し、次に「セット」が変換対象になります。

- ⑤ 「セット」になっている状態で【↓】を押す

【得なセット】

「セット」が確定しテキスト画面に戻ります。

【得なセット】

行頭マークが①から①に変わります。

MEMO

- 文字を確定した直後なら、【復活】ボタンで変換前の状態に戻せます。
- 文字を間違えたときは、【削除取消】ボタンで文字を消して、正しい文字を入力しなおしてください。
- 一度選択した語句は、次回から優先して表示されます（学習機能）。
- 「読み」を入力した直後に【選択改行】を押すと、ひらがなのまま確定します。
- 入力した直後に【無変換】を押すと、「ローマ字入力」時は押すたびに「ひらがな→カタカナ→英字」の順に、「かな入力」時は「ひらがな→カタカナ」の順に変換します。また、【シフト】を押しながら【無変換】を押すと、「ローマ字入力」時は「英字→ひらがな→カタカナ」の順に、「かな入力」時は「カタカナ→ひらがな」の順に変換します。変換後は、【選択改行】を押して確定します。
- 2文節目以降の語句を変換しなおす操作や変換対象の文節の長さを変える操作については、下記ページを参照してください。
参照☞P.34「長い文章を変換する」
参照☞P.34「変換する「読み」の長さを変える」
- ローマ字入力のスペルは、ローマ字変換表を参考にしてください。
参照☞P.172「ローマ字変換表」
- 一度に入力できる「読み」は30文字までです。ただし、ディスプレイに表示されるのは、最大6文字です。

参考

濁音や拗音の入力について

濁音や拗音は、入力方法によって異なります。

	濁音（「ざ」「ば」） 半濁音（「ば」「ペ」）	拗音（「ゅ」「よ」） 促音（「っ」）
ローマ字入力	濁音、半濁音用のスペルで入力します。 参照☞P.172「ローマ字変換表」	次のいずれかの方法で入力します。 • 「きゅ」（❶❷❸）などのように前の文字と組み合わせたスペルで入力する。 参照☞P.172「ローマ字変換表」 • 促音「っ」は、直後の文字の子音を2つ重ねる。 例：❶❷❻❸❹…「さっか」 • ❷を押してから通常の文字ボタンを押す。 例：❶❷❻❸…「っ」 ❶❷…「う」
かな入力	清音のあとに、「^」や「。」を入力します。	❷を押しながら文字ボタンを押します。

文字ボタンに表記された記号「!」「*」「.」などは、❷を押しながら該当する文字ボタンを押して入力します。

例：



- ⑥ （入力切替）を数回押して「ローマ字入力」または「ABC入力」を選ぶ
- ローマ字入力

ABC入力
- ⑦ ❷を押しながら❶を押す
- ❶なセット！

「！」が入力されます。

MEMO

文字ボタンに表記された数字や英記号「¥」「/」は「ローマ字入力」または「ABC入力」で入力します。

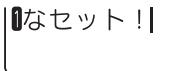
参照☞P.35「2. 英数字を入力する」

2行目を入力するには、まず、改行をします。

例：



⑧ [選択改行] を押す



① お得なセ
② |
改行され、行頭マークの②が表示されます。

⑨ 「しょかいげんていばん」を入力する

ローマ字入力：Ⓐ、Ⓑ、Ⓒ、Ⓓ、Ⓔ、Ⓕ、Ⓖ、Ⓗ、Ⓛ、
Ⓐ、Ⓑ、Ⓒ、Ⓓ、Ⓔ、Ⓕ、Ⓖ、Ⓗ、Ⓛ
Ⓐ、Ⓑ、Ⓒ、Ⓓ、Ⓔ、Ⓕ、Ⓖ、Ⓗ、Ⓛ
かな入力：Ⓐ、Ⓑ、Ⓒ、Ⓓ、Ⓔ、Ⓕ、Ⓖ、Ⓗ、Ⓛ
Ⓐ、Ⓑ、Ⓒ、Ⓓ、Ⓔ、Ⓕ、Ⓖ、Ⓗ、Ⓛ



⑩ [変換スペース] を押す

ATOK変換画面になります。

⑪ 「初回限定版」に変換されている状態で [選択改行] を押す



① お得なセット
② 初回限定版

ATOK変換画面で [選択改行] を押すと、仮確定文字は、表示されている状態で確定します。

表示されている状態が正しく変換されていない場合は、P.31の手順③と同様に [変換スペース] を押し、変換候補一覧から正しい変換候補を選びます。

MEMO

2文節目以降の語句を変換しなおす操作や変換対象の文節の長さを変える操作については、下記ページを参照してください。

参照☞ P.34「長い文章を変換する」

参照☞ P.34「変換する「読み」の長さを変える」

参考

長い文章を変換する

入力した文章が長く、思いどおりに変換できない場合は、を押して文節ごとに変換します。

例：「あすははれますか」を「明日は晴れますか」に変換する

1 「あすははれますか」を入力してを押す

ATOK変換画面になります。

2 1文節目が正しく変換されている状態でを押す



1文節目が確定し、次に2文節目が変換対象になります。

3 を押す



2文節目の変換候補が表示されます。

4 正しく変換されている状態でを押す

2文節目が確定します。

さらに長い文章の場合も、同様の操作を繰り返すことにより、文節ごとに変換することができます。

MEMO

- ATOK変換画面で文字ボタンを押すと、仮確定文字は表示されている状態で確定し、続けて次の文字が入力されます。
- 一度に入力できる「読み」は30文字までです。ただし、ディスプレイに表示されるのは、最大6文字です。
- を押して文節を確定した直後であれば、ボタンで確定前の状態に戻すことができます。

変換する「読み」の長さを変える

変換する「読み」の長さが違う、目的の漢字に変換できない場合は を押して変換対象となる「読み」の長さを変えます。

例：「きのうえをかった」を「昨日絵を買った」に変換する

1 「きのうえをかった」を入力してを押す

ATOK変換画面になります。

2 変換する変換対象の長さが適当でないときは を押す

変換対象（ネガ表示部分）はで短くで長くなります。

を押して「きのう」を文節にする



3 を押す

長さを変えた1文節目の変換候補が表示されます。

正しく変換されたらで確定し、2文節目以降を変換します。

2. 英数字を入力する

英数字は、「ローマ字入力」または「ABC入力」であれば、文字ボタンを押して入力できます。小文字の入力にはShiftボタンを使います。

例：



ここを入力します

■ ローマ字入力の場合

綴りを入力してから変換します。

① 「Box」を入力する

入力：B、Shift + O、Shift + X

❶ なセット！
❷ 限定期ぼ X |

「ぼ x」と表示されます。

② 変換スペースを押す

簿 X

ATOK変換画面になります。

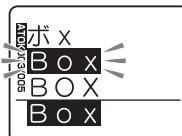
③ 変換する文節の長さが適当でないときは→を押す

ぼ X

「ぼ x」が変換対象（ネガ表示）になります。

④ 変換スペースを押して「Box」を選択する

⑤ ↓を押す



❶ セット！
❷ 限定期ぼ X |

「Box」が確定します。

■ ABC入力の場合

英数字を入力するときに「ABC入力」にすると、文字ボタンを押して、直接英字を入力できます。

① 入力切替を数回押して「ABC入力」を選ぶ

② 「Box」を入力する

入力：B、Shift + O、Shift + X

(小文字ロックをしている場合)

入力：Shift + B、D、X)

❶ セット！
❷ 限定期ぼ X |

「Box」が表示されます。

MEMO

小文字ロック

「ABC入力」時に、Shiftを押しながら入力切替を押すと、小文字入力状態に切り換わり、Shiftを押していないときに小文字入力インジケーターが点灯します。もとに戻す場合には、もう一度Shiftを押しながら入力切替を押します。

MEMO

- 「ローマ字入力」で「読み」を入力した直後に無変換を押すと、押すたびに、「ひらがな→カタカナ→英字」の順に変換します。また、Shiftを押しながら無変換を押すと「英字→ひらがな→カタカナ」の順に変換します。
- 変換対象の文節の長さを変える操作については、下記ページを参照してください。
参照☞P.34「変換する「読み」の長さを変える」
- 英数字は「ローマ字入力」または「ABC入力」にしてください。「かな入力」では入力できません。

3. スペースを入力する

スペースを入力すると、テキスト画面上に「 」(半角スペース)が表示され、印刷すると約半文字分の空白になります。

① ネガ文字がないことを確認する

② [変換スペース]を押す

【1】ト!
【2】版B〇× 】

半角スペースが入力されます。

MEMO

- ネガ文字があるときは[変換スペース]を押すと、漢字に変換されます。
- スペースには、半角スペース()のほかに、1文字分の全角スペース()があり、記号メニューで入力します。

参照☞P.36「4.記号を入力する」

4. 記号を入力する

操作パネルに表記されていない記号は、記号メニューから指定します。

例：



ここを入力します

① [記号]を押す

「記号」メニューが表示されます。

② [↑][↓]で「音楽」を選ぶ



③ [選択改行]を押す

「音楽」の記号が表示されます。

④ [←][→]で「◎」を選ぶ



⑤ [選択改行]を押す

【1】ト!
【2】版B〇× ◎】

「◎」が入力されます。

MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- 入力できる記号は、付録を参考にしてください。
参照☞P.168「記号一覧表」
- 操作を途中でやめるときは、[削除取消]または[記号]を押し、操作を戻します。
- 一度選択した記号は、次回から優先して表示されます（学習機能）。
- 記号メニューの「編集」内の記号はそれぞれ以下のたらきをします。
 - [罫]（罫入力記号）：縦罫線を入力します。
 - （全角スペース）：全角スペースを入力します。
- 半角スペースは、[変換スペース]ボタンで入力できます。

田中 慶介	半角スペース
田中 慶介	全角スペース

ただし、「文字間」で「ピッチ」が「ピッチ固定」に指定されているときは、半角スペースでも約1文字分の空白として印刷されます。
参照☞P.73「文字間」

参考**イラストを入力する**

例：イラスト「新製品」

① [記号] を押す

「記号」メニューが表示されます。

② [↑] [↓] で「イラスト」を選び、[選択改行] を押す

[選択改行]

 イラスト 「イラスト」の項目が表示されます。

③ [←] [→] で「POP」を選び、[選択改行] を押す

 「POP」の候補が点滅します。

④ [←] [→] で「新製品」を選び、[選択改行] を押す

 「新製品」が入力されます。

5. 印刷イメージを確認する（プレビュー）

印刷前に、印刷するイメージを表示して、できあがりを確認できます。印刷の失敗を防いで、テープを無駄なく使えます。

① テープカートリッジをセットしているか確認する

実際に印刷するテープカートリッジを正しくセットしてください。テープ幅が異なっていると、印刷イメージを正しく表示できません。

② [シフト] を押しながら [みえき] を押す

印刷イメージが流れるように表示されます。

プレビューが終わるとテキスト画面に戻ります。


MEMO

- ・プレビュー中に[無変換]、[変換スロー]、[←] [↑] [↓] [→] のいずれかのボタンを押すと、押している間だけ表示が止まり、内容をゆっくり確認できます。ボタンを離すとふたたび動き出します。
- ・プレビューを途中でやめるときは[削除削除]または[選択改行]を押してください。
- ・定長で指定した長さに文章がおさまらない場合は「定長→字余り 強行」と表示されます。このまま[選択改行]を押すと、定長を解除してプレビューを強行します。

!! 注意 !!

- ・プレビューが表示されるのは、テキスト画面または特殊フォーム入力画面のときだけです。
- ・テープカートリッジをセットしていない、または正しい位置にセットしていないと、「テープなし！」と表示され、プレビューは表示されません。
- ・行数が多く、セットしたテープに印刷できないときは「行数オーバー！」と表示され、プレビューは表示されません。
- ・プレビューは印刷の目安です。実際の印刷結果と完全には一致しないことがあります。

6. 印刷する

印刷する前に、テープカートリッジを正しくセットしているか、上カバーがしっかりと閉じているか、専用のACアダプタ（AC1116J）を正しく接続しているかを確認してください。

① [印刷] を押す

「準備中」と表示されたあと、ラベルの長さ、印刷枚数が表示され、

印刷が始まります。

印刷が終わるとテープは自動的にカットされます。

長さ 6.5cm
幅 18mm
1 枚

MEMO

- 印刷を途中でやめるときは [削除取消] を押してください。
- 印刷中に [ON OFF] を押すと印刷を中止し、テープをカットしたあとに電源が切れます。
- 同じラベルの印刷を繰り返すと印刷枚数表示が増加します。印刷枚数の表示は「100枚」の次は「1枚」と表示されます。印刷内容（文字や書式など）を変えたり電源を切ると、自動的に「1枚」に戻ります。
- 余白「極少、少なめ、自動少なめ」を指定すると、印刷前にテープがカットされます。4mm、6mm幅テープで余白を「自動多め」に指定した場合も、印刷前にテープがカットされます。
- 特殊印刷（連続印刷、拡大印刷、鏡文字印刷）をおこなう場合は、[ぞく²でか²]ボタンで印刷します。
参照☞P.120「特殊な印刷（ぞく²、でか²）」
- テープ排出時に動作音がしますが、異常ではありません。
- 定長で指定した長さに文章がおさまらない場合は「定長→字余り 強行」と表示されます。このまま [選択改行] を押すと、定長を解除して印刷を強行します。
- 裏紙がケバ立ってカットされることがありますが、ラベルには影響ありません。

!! 注意 !!

- 耐熱ラベル・アイロンラベル・マグネットテープ・りぼんなどは「自動カット」を「しない」で印刷してください。そのあと、テープカートリッジを本機から取り出して、カートリッジ側にテープを3mm（りぼんの場合は10mm）程度残し、市販のハサミでまっすぐにカットしてください。
参照☞P.126「「自動カット」を設定する」
- ラベルの内容が複雑な場合、印刷までの処理時間が長いことがあります。
- テープ出し口には指を入れないでください。
- 印刷が終わるまで絶対にテープを引っ張らないでください。
- ネガ文字は印刷されません。
- 印刷中に上カバーを開けると、保護回路のはたらきで電源が切れ、印刷が中断します。印刷中に上カバーを開けないでください。
- テープ出し口付近に印刷したラベルがたまらないように注意してください。
- テープカートリッジをセットしていないとき、または正しい位置にセットしていないときには、「テープ無し！」と表示され、印刷できません。
- 行数が多く、セットされたテープに印刷できないときは「行数オーバー」と表示され、印刷できません。行数を減らすか、より広い幅のテープをセットしてください。
- QRコードが大きい場合、「QRコード大！」と表示され、印刷できません。
参照☞P.118「QRコードを印刷する」
- 印刷時に表示されるラベルの長さは目安です。誤差が生じことがあります。
- 16mを超える印刷はできません。

7. ラベルを貼る

印刷されたラベルの裏紙をはがして貼ります。

① 裏紙をはがす



② しっかりとこすって貼り付ける



!!注意!!

- ラベルの種類によっては、裏紙がはがれにくいものがあります。
- ラベルにシンナーなどの溶剤をかけたり、とがったもので激しくこすると、ラベルが破れたり、はがれたり、文字がカスレたりすることがあります。
- 白インクラベルの文字の部分を金属でこすると文字が黒になりますが、消しゴムなどで軽くこするともどに戻ります。
- 凹凸のあるところに貼ると、はがれやすくなります。
- ぬれていったり、油やホコリで汚れているところには、貼れなかつたりはがれやすくなります。
- ペンなどで書き込まれた上にラベルを貼ると、ペンのインクがラベルに浸透し、表示がそこなわることがあります。
- 雨、日光が直接あたる場所など、使用環境によってはラベルの劣化を早めるおそれがあります。
- 人体、生き物、公共の場所や他人の持ち物などにはラベルを貼らないでください。
- 「テプラ」で得られるラベルについて

塩化ビニールのように可塑剤入り材料など被着体の材質、環境条件、貼り付け時の状況などによっては、ラベルの色が変わる、はがれる、文字が消える、被着体からはがれない、ノリが残る、ラベルの色が下地にうつる、下地がいたむなどの不具合が生じことがあります。使用目的や接着面の材質を十分確認してからご使用ください。なお、これらによって生じた損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

MEMO

- 印刷したラベルのカドを丸くすることができます。
参照☞P.48「カドを丸く仕上げる」
- 「テプラ」PROテープには、接着ラベル以外にも、用途に合わせてさまざまなラベルが用意されています。
参照☞P.141「テープカートリッジを使いわかる」

8. 使い終わったら〈電源を切る〉

① を押す

電源が入っている状態でを押すと、終了のメッセージが表示されたあと、電源が切れます。電源を切っても、入力した文章やファイル、外字などのデータは保存されています。再度電源を入れると、入力した文章が表示されます。

② 専用のACアダプタ（AC1116J）をはずす

ACアダプタをコンセントから抜き、本機からプラグを抜いてください。コードは巻いておいてください。

!! 注意 !!

- ・電源を切るときには終了のメッセージが表示されます。メッセージ表示中は終了処理をしていますので、ACアダプタを抜かないでください。
- ・長時間使わないときは、ACアダプタ、テープカートリッジ、乾電池を本機から取りはずしてください。

続いて

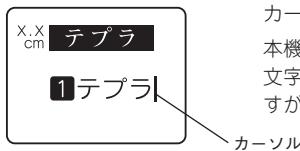
以上で基本的な操作は終了です。続いて複数行、複数段落のラベルを作りましょう。また、「機能編」では、さらにいろいろな機能が利用できるようになるので、楽しいラベルが作れます。

文章を作る

文章を入力し、文字を挿入、削除したり、全消去するなどの編集方法を説明します。

カーソルボタンの使いかた

画面に表示される縦線「|」をカーソルと呼びます。カーソルは文字を挿入、削除する位置を表します。



カーソルの移動にはカーソルボタン $\leftarrow \uparrow \downarrow \rightarrow$ を使います。

本機のディスプレイには最大6文字×4行まで表示できます。これ以上の文字を入力すると、はじめに入力した行や文字は隠れて見えなくなりますが、カーソルを移動すれば確認できます。

カーソルボタン	カーソルの移動方向
	左方向に1文字移動します。押し続けると高速で移動します。
	右方向に1文字移動します。押し続けると高速で移動します。
	前（上）の行へ移動します。押し続けると高速で移動します。
	次（下）の行へ移動します。押し続けると高速で移動します。
+	行頭へ移動します。 繰り返すと、前の行の行頭、さらに前の行頭……と移動します。
+	行末へ移動します。繰り返すと、次の行の行末、さらに次の行末……と移動します。
+	段落の先頭へ移動します。繰り返すと、前の段落の先頭へと移動します。
+	段落の終わりへ移動します。繰り返すと、次の段落の終わりへと移動します。

+ となっている表記は、を押しながらそのボタンを押す操作です。

文章を入力する



文字はキーボードの文字ボタンで入力し、を押して漢字などに変換します。

参照☞P.30「手順どおりに作ってみよう」

文字を削除/挿入する

文字の後ろ（右側）にカーソルを合わせ を押すと文字が削除されます。

文字を挿入するときは、挿入したいところにカーソルを合わせます。

例：「定期点検実施中」の「定期」を削除し、「特別」を入れて「特別点検実施中」にする

① で「期」の後ろ（右側）にカーソルを合わせる

①定期点検実施

② を2回押して「定期」を削除する

①定期点検実施

↓ × 2回

カーソル位置は行頭になります。

③ 「特別」を入力する

①特別点検

!! 注意 !!

挿入によって文字数が入力可能文字数（約175文字）をオーバーしたときは、文末にフルメモリーマーク（◀）が表示され、文末の文字からオーバーした分だけ自動的に削除されます。

MEMO

間違って削除した場合は、削除した直後なら を押すと復活できます。ただし、削除直後に , , , 以外のボタンを押した場合は、復活できません。

文字をコピーする

すでに入力した文字をコピーすることができます。

例：「定期点検実施中、特別点検実施中」で2回目の「点検実施中」をコピーで挿入する

① 1行目に「定期点検実施中」、2行目に「特別」を入力する

② で「点」の前（左側）にカーソルを合わせる

①定期点検
②特別

③ を押す

コピー範囲を指定する画面になります。

④ で範囲を指定し、 を押す

範囲指定して
選択ボタン
①点検実施中
②

指定した範囲が
ネガ表示になり、
 を押すと一
時的に記憶されま
す。

このあとの貼付け操作で文字を貼り付けま
す。

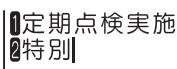
MEMO

- 一度にコピーできる文字は30文字までです。
- バーコードの数値入力時や、あて名の郵便番号、カスタマバーコード入力時には、コピーやペースト（貼付け）はできません。

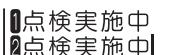
文字を貼り付ける(ペースト)

コピーした文字は、次にコピーするまで何度も貼り付ける（ペーストする）ことができます。

- ① で貼り付け先にカーソルを合わせる



- ② **シフト**を押しながら**コピー**を（＝ペースト）を押す



コピーされた文字が挿入されます。

すべての文章を消去する

入力した文章は電源を切っても消去されません。入力した文章をすべて消去したいときは「全文消去」をおこないます。

- ① **シフト**を押しながら**削除取消**（＝消去）を押す
「消去」メニューが表示されます。

- ② 「全文消去」を選び、**選択改行**を押す



全文消去され、キスト画面に戻ります。

MEMO

- 一度にコピーできる文字は30文字までです。
- バーコードの数値入力時や、あて名の郵便番号、カスタマバーコード入力時には、コピーやペースト（貼り付け）はできません。

!! 注意 !!

全文消去は、入力したすべての文章が消去されます。文章の書体や外枠など各機能の指定内容も消去されます。消去をおこなう前に、十分に確認してください。

MEMO

- 全文消去では、以下の内容は消去されません。
ファイル・あて名・辞書・外字データ、保存値、漢字や記号などの学習内容、文字の入力状態、「みえ²」の状態
- すべてを購入時の設定に戻したいときは、本機を初期化してください。
参照☞P.132「本機を初期化する」
- カーソルのある段落のみを消去したいときは「段落消去」を選びます。
参照☞P.47「特定の段落を消去する」
- 操作を途中でやめるときは、**削除取消**を押し、操作を戻します。
- 削除した直後なら**復活**を押すと復活できます。

行を増やす(改行)

2行以上の文章を入力するときは「改行」をおこないます (選択改行)を押します。

■テープ幅と印刷できる行数

本機では4mmから24mmまでの幅のテープを使うことができます。

セットされたテープカートリッジ幅によって、印刷できる文章の行数に制限があります。

テープ幅	4mm	6mm	9mm	12mm	18mm	24mm
印刷可能な行数	1行まで	2行まで	3行まで	4行まで	6行まで	8行まで

MEMO

- 表示されている文章が何行目にあるかは行頭マークで確認できます。行頭マークには空白行頭マーク①②…☒、①②…⓪と、実質行頭マーク①②…☒、①②…⓪の2種類があります。空白行頭マークは文字が何も入力されていないことを表し、その行は印刷されません。
- ☒はこれ以上行数を増やせないことを表示しています。☒の表示があるときに印刷を押しても「行数オーバー」が表示されます。☒のある行を削除してから印刷をおこなってください。
参照☞P.151「エラーメッセージが表示されたときは一行数オーバー」

新しい行を作る

行の終わりで選択改行を押すと、新しい行に入力することができます（改行）。

例：3行の文章を入力する

営業1課
営業2課
営業3課

① 「営業1課」を入力し、選択改行を押す

1 営業 1 課 |



選択改行

1 営業 1 課
2 |

2行目に行頭マークが表示されます。

② 「営業2課」を入力し、選択改行を押す

1 営業 1 課
2 営業 2 課 |



選択改行

1 営業 1 課
2 営業 2 課
3 |

3行目に行頭マークが表示されます。3行目を入力します。

MEMO

ネガ文字があるときは、選択改行を押しても改行できず、文字が確定します。

文字を次行に移動する

行の途中で改行すると、カーソルより後ろ（右側）の文字は次の行に移ります。

例：「営業1課田中慶介」を2行にする

営業1課田中慶介



途中で改行すると

**営業1課
田中慶介**

- ① で「課」の後ろ（右側）にカーソルを合わせる

X.X
cm 営業1課田中
1 課田中慶介

- ② を押す

X.X
cm 営業1課
1 営業 1 課
2 田中慶介

2行目に行頭マークが表示され、「田中慶介」は2行目に移動します。

MEMO

ネガ文字があるときは、 を押しても改行できず、文字が確定します。

改行を取り消す

行頭マークにカーソルを合わせて を押すと、その行の文章は前の行に移動し、連結されます。

例：2行目での改行を取り消す

株式会社 ○×商事
営業部
営業1課
田中慶介



途中の改行を取り消すと

株式会社 ○×商事
営業部**営業1課**
田中慶介

- ① 3行目の行頭マーク③の後ろ（右側）にカーソルを合わせる

1 株式会社
2 営業部
3 営業 1 課
4 田中慶介

- ② を押す

1 株式会社
2 営業部**営業1課**
3 田中慶介

3行目の「営業1課」が2行目に連結されます。

4行目の「田中慶介」が3行目になります。

MEMO

- 最終行の先頭にカーソルを合わせ、 を押すと4行目の文章が3行目に連結され、4行目は自動的に削除されます。
- 第1段落の1行目の行頭マーク① ①は削除できません。

段落を増やす（改段落）

左下のラベルは2つのブロックからできています。本機ではこのブロックを「段落」と呼びます。段落とはブロックで印刷される「行の集まり（または1行）」のことです。1つのラベルの中に2つの段落を設けることで、いろいろな行数を混在させたり、デザインを段落ごとに変えたりすることができます。

本機では、段落は1つのラベル（文章）の中に10段落まで作ることができます。

■段落が2つのラベル

印刷すると各段落は横につながって印刷されますが、画面上では各段落が縦に並んだ形になります。

【ラベルは】

内線	営業1課	131
営業部	営業2課	132
	営業3課	133
段落1	段落2	

【画面上では】

内線	1	内線
営業部	2	営業部
	1	営業1課 ↘ 131
	2	営業2課 ↘ 132
	3	営業3課 ↘ 133

新しい段落を作る

〔シフト〕を押しながら〔選択改行〕（＝改段落）を押すと、新しい段落ができます。

例：2段落の文章を入力する

内線	営業1課	131
営業部	営業2課	132
	営業3課	133
段落1	段落2	

① 段落1を入力する

1	内線
2	営業部

1行目「内線」
2行目「営業部」
と入力します。

② 文末にカーソルを合わせ、〔シフト〕を押しながら〔選択改行〕（＝改段落）を押す

1	内線
2	営業部
1	

新しい段落が発生し、①が表示されます。

③ 段落2を入力する

2	
1	課 ↘ 131
2	課 ↘ 132
3	課 ↘ 133

1行目
「営業1課 ↘ 131」
2行目
「営業2課 ↘ 132」
3行目
「営業3課 ↘ 133」
と入力します。

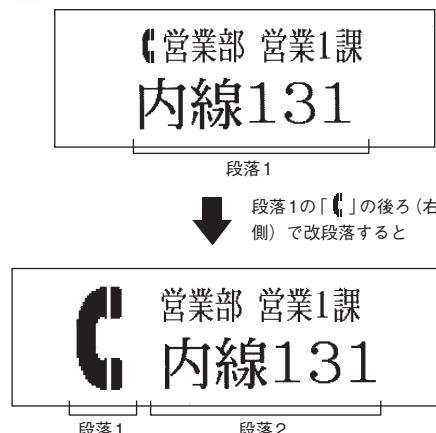
MEMO

- ネガ文字があるときは、改段落できず、文字が確定します。
- すでに10段落目があるときは、改段落できません。

段落を分割する

段落の途中で改段落すると、カーソル位置より後ろ（右側）の文字は新しい段落に移ります。

例：新しい段落を増やす



- ① 1行目「C」の後ろ（右側）にカーソルを合わせる



- ② [Shift]を押しながら[選択改行]（＝改段落）を押す



カーソルより後ろ（右側）が改段落され新しい段落になります。

MEMO

- ネガ文字があるときは、改段落できず、文字が確定します。
- すでに10段落目があるときは、改段落できません。
- 段落分割によって新しくできた段落の段落スタイルの内容は、もとの段落と同じです。
- 段落スタイルの文字サイズが行数で指定されている場合は、段落分割によって各段落の行数が変わり、指定した行数と一致しなくなります。このとき、文字サイズは「均等」で印刷されます。

参照☞P.68「段落スタイル」

特定の段落を消去する

不要な段落を消去します。

例：段落1を消去する

C	内線	営業1課	131
		営業2課	132
		営業3課	133

段落1

段落2

↓ 段落1を消去すると

営業1課	131
営業2課	132
営業3課	133

段落1

- ① 消去する段落1にカーソルを合わせる



カーソルは消去する段落内ならどこでもかまいません。

- ② [Shift]を押しながら[削除取消]（＝消去）を押す
「消去」メニューが表示されます。

- ③ [↑] [↓] で「段落消去」を選び、[選択改行]を押す



段落が消去され、テキスト画面に戻ります。

!! 注意 !!

- 「全文消去」を選択すると、入力したすべての文章が消去されます。
- 段落消去は、カーソル位置の段落内容がすべて消去されます。段落の書体や外枠など各機能の指定内容も消去されます。消去をおこなう前に、十分に確認してください。

MEMO

- 操作を途中でやめるときは、[削除取消]を押し、操作を戻します。
- 削除した直後なら[復活]を押すと復活できます。

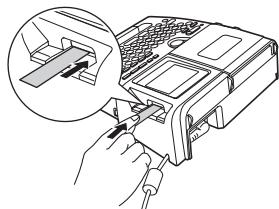
カドを丸く仕上げる

ラベルをトリマー差込み口に挿入すると、ラベルのカドを丸く仕上げることができます。「カド丸仕上げ」にすると、見栄えがよいばかりでなく、ラベルがカドからはがれにくくなります。

9mm、12mm、18mm幅テープのとき

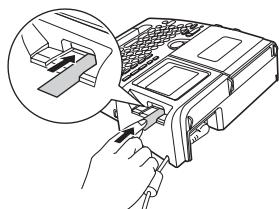
ラベルのカドを片側ずつ仕上げます。

- 1 ラベルの片側をトリマー差込み口の左右どちらかのガイドに沿わせ、つき当たるまで差し込む



- 2 数回カット音がしたら、ラベルを抜く

- 3 ラベルの反対側をガイドに沿わせ、同様にカットする

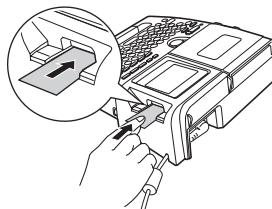


お得なセット！ 初回限定版Box

24mm幅テープのとき

左右のカドが同時にカットされます。

- 1 ラベルの左右をトリマー差込み口のガイドに沿わせ、つき当たるまで差し込む



- 2 数回カット音がしたら、ラベルを抜く

MEMO

- ラベルはトリマーガイドに沿わせてまっすぐ差し込んでください。
- ラベルはつき当たるまでしっかりと差し込んでください。
- 4mm、6mm幅ラベルは、オートトリマーを使用できません。トリマー(RT36W)を使ってカットしてください。

参照☞P.11「別売品のご案内」

!!注意!!

- 印刷中および上カバーが開いているときはオートトリマーが作動しません。
- オートトリマーにラベルを差し込んだままラベルを左右に動かさないでください。途中で引っかかり、カドがきれいにカットされないことがあります。
- トリマー差込み口には、シャーペンシルやクリップなどラベル以外のものを入れないでください。オートトリマーが故障する原因となります。
- 耐熱ラベル・アイロンラベル・マグネットテープ・熱収縮チューブ・上質紙ラベル・マスキングテープ「mt」ラベル・りぼんはカットできませんので、トリマーに差し込まないでください。
参照☞P.141「テープカートリッジを使いわかる」
- 別売品のハーフカッター（RH24）でハーフカットしたラベルのスリット部分を折り曲げた状態でオートトリマーに差し込まないでください。

オートトリマーのお手入れ

「トリマーカバー」にはオートトリマーの切りクズがたまります。ときどき「トリマーカバー」をはずして掃除してください。

① を押して電源を切る



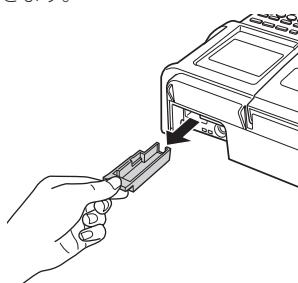
⚠ 警告



「トリマーカバー」をはずすときは、必ず電源を切ってください。「トリマーカバー」をはずしたまま作動させると刃で指を切ったりするなど、大変危険です。
また、オートトリマーを掃除するときにはオートトリマー内部に絶対、指を入れないでください。指を切るおそれがあります。

② 「トリマーカバー」をはずす

「トリマーカバー」の下側に指を入れ手前に引きます。



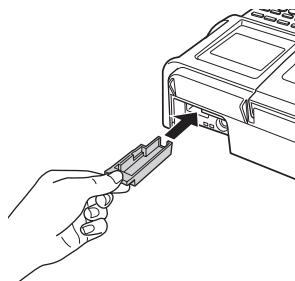
③ 切りクズを取り除く

「トリマーカバー」内にたまつた切りクズを市販の綿棒などで取り除きます。



④ 「トリマーカバー」をはめる

「トリマーカバー」をもとのように取り付けます。



MEMO

- ご購入時、「トリマーカバー」に製造工程での切断検査の切りクズが残っていることがあります。
- オートトリマーは刃物ですので、長期間使い続けると磨耗し、切れにくくなります。オートトリマーの刃の交換は有償で承ります。お買い上げ販売店または当社お客様相談室までご相談ください。

参照☞卷末「アフターサービスについて」

機能編

～「テプラ」の機能を使いこなそう～

「ラベルの向きを変えたい」

「ラベルを見栄えよくしたい」

こんなときは各機能のボタンでレイアウトの変更や各種指定をおこないます。

ラベルの向きを変える(縦・横)

縦
・
横

縦・横ボタンを使う

縦・横ボタンを使うと、ラベルの向きを「縦」または「横」に切り換えられます。

よこ書きラベル

千代田区東神田* - *
石原 大輔

たて書きラベル

千代田区東神田* - *
石原 大輔



① 縦・横ボタンを押す

「たて書き」と表示された場合は、たて書きになります。

「よこ書き」と表示された場合は、よこ書きになります。

たて書き・よこ書きは、ディスプレイのインジケーターで確認できます。

参照☞P.20「ディスプレイ（画面）の見かた」

たて書き

左端ナビ

よこ書き

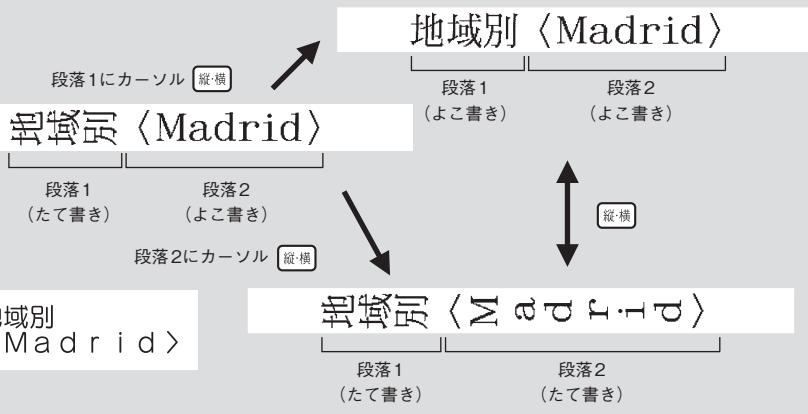
右端ナビ

MEMO

- ネガ文字があるときは、「たて書き」「よこ書き」を変更できません。
 - 段落スタイル機能の「縦・横」では文章単位または段落単位で指定できます。
- 参照☞P.55「指定範囲とカーソルの位置について」
- 記号のイラストは縦書きには対応していません。
- 参照☞P.168「記号一覧表—イラスト」

!!注意!!

縦・横ボタンは文章全体のラベルの向きを変えます。「たて書き」と「よこ書き」の段落が混在している文章の場合は、カーソルのある段落に対する変更が、文章全体に反映されます。



参考

たて書きで2桁の数字を印刷する

「2桁数字」は2桁の数字を1文字として扱うものです。たて書きのラベルで日付や住所の番地などに「2桁数字」を使うと、きれいに揃えて印刷できます。

例：「14回大会記録」を入力する

14回大会記録

- ① [縦・横]を押して、「たて書き」を指定する

たて書き

- ② [記号]を押す

記号

記述

「記号」メニューが表示されます。

- ③ [←] [↑] [↓] [→]で「2桁数字」を選び、

[選択改行]を押す

記号

2桁数字

2桁数字の候補が表示されます。

- ④ 選択肢から「10」を選び [選択改行]を押す

記号

2桁数字

ここでは「十の位」は10番台なので「10」を選びます。

記号

10番台

10番台の選択肢が表示されます。

- ⑤ 10番台の選択肢から「14」を選び、

[選択改行]を押す

記号 10番台
10111234567890

X.X cm
14

1 14 |

カーソル位置に「14」が表示されます。

- ⑥ 続けて文章を入力する

MEMO

- 操作を途中でやめるときは[削除取消]または[記号]を押し、操作を戻します。
- 2桁の数字は、[記号]を押して「2桁数字」を選んで入力します。文字ボタンでの入力では2桁数字にはなりません。
- ネガ文字があるときは、[記号]ボタンで2桁数字は入力できません。

ラベルの長さを整える(らく²)

らく²ボタンを使うと、文字サイズを「均等」または「らく²」に切り換えられます。

「らく²」を選ぶと、すべての行ができるだけ同じ長さになるように文字サイズを自動調整します。1行の場合でも、文字数が多い場合は全体が長くなりすぎないように文字サイズを調整します。
「均等」を選ぶとすべての行を同じ文字サイズにします。

らく²

2行で「均等」を指定

鈴木商店
03-13XX-13XX



2行で「らく²」を指定

鈴木商店
03-13XX-13XX

機能編

① ラベルの文章を入力する

参照☞P.31「1. 文字を入力する」

② **らく²**を押す

「均等」または「らく²」は、ディスプレイのインジケーターで確認できます。

「らく²」の場合は、文字サイズを自動調整します。「均等」の場合は、すべての行を同じ文字サイズにします。



MEMO

- ネガ文字があるときは、「均等」「らく²」を変更できません。
- 「均等」、「らく²」は段落スタイル機能の「文字サイズ」でも指定できます。
参照☞P.68「文字サイズ」
- らく²**ボタンは段落スタイル機能の「文字サイズ」が「均等」または「らく²」に指定されているときのみ有効です。「おまかせフォーマット」で文字サイズを行ごとに指定している場合は、変更できません。
参照☞P.68「文字サイズ」

ラベルの見栄えをよくする～装飾機能を使おう～

文字の書体や大きさを変えて、見栄えの良いラベルにすることができます。

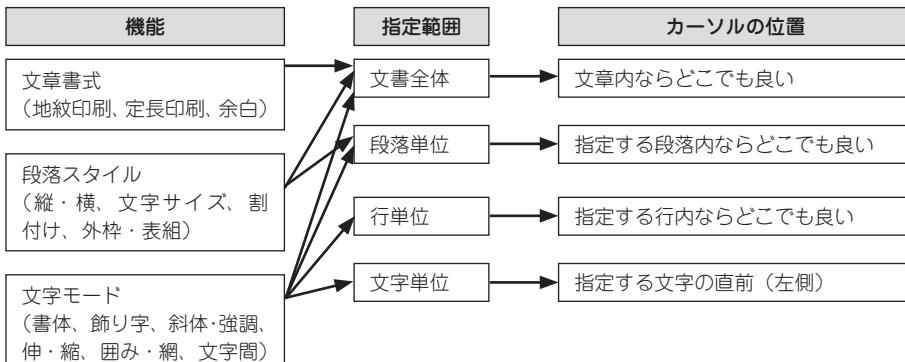
ラベルの見た目を変えるには、[書式]や[スタイル]、[モード]を押して表示されるメニューから機能を選択します。機能は、指定可能な範囲の違いによって、「文章書式」・「段落スタイル」・「文字モード」にボタン別に分類されています。

各ボタンの機能

機能の分類	指定範囲	機能	内容
書式	文章全体	地紋印刷	背景全体に地紋を入れます。
		定長印刷	できあがるラベルの長さを指定します。
		余白	ラベル前後の余白の長さを指定します。
スタイル	段落単位 文章全体	縦・横	たて書きや、よこ書きにします。
		文字サイズ	行ごとの文字サイズを指定します。
		割付け	各行の割り付け位置を指定できます。
		外枠・表組	飾り枠、表組みを指定します。
モード	文字単位 行単位 段落単位 文章全体	書体	漢字、かな、英数字の書体を指定します。
		飾り字	白抜き、影文字、白抜影の装飾をします。
		斜体・強調	斜体、強調、斜強調の装飾をします。
		伸・縮	文字を伸縮して変形します。
		囲み・網	訂正線、下線、網かけ、囲みの装飾をします。
		文字間	文字の間隔を変更します。

指定範囲とカーソルの位置について

機能を選択する場合、機能のボタンを押す前に、指定範囲に合わせてカーソルの位置を移動しておく必要があります。このカーソル位置を基準にして、メニュー操作の途中で有効範囲の指定をおこないます。カーソル位置は、指定する機能や範囲によって異なります。次の図を参考にカーソルの位置を確認してください。



書式

スタイル

モード

機能
編

機能を指定する

機能は以下の流れで指定します。

① カーソルを合わせる

文字に指定するときは、指定する文字の直前（左側）にカーソルを合わせます。

行全体に指定するときはその行に、段落に指定するときはその段落内にカーソルを合わせます。

文章全体に指定するときは、カーソル位置はどこでもかまいません。

参照☞P.55「指定範囲とカーソルの位置について」

書式

スタイル

モード

機能
編

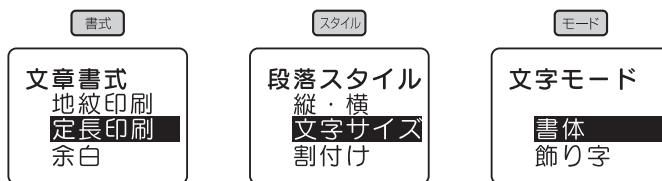
② 機能のボタン（書式またはスタイル、モード）を押す

!! 注意 !!

ネガ文字があるときは、機能を指定できません。

③ 機能を選ぶ

↑ ↓ で目的の機能を選び、選択改行を押します。



④ 各機能の選択肢を指定する

↑ ↓ で目的の選択肢を選び、選択改行を押します。

例：文字モードの「書体」の選択肢



⑤ 「終わり？」を選ぶ

1つの機能の指定が終わると、同じ分類の次の機能が表示されます。

同じ分類の機能（この場合「文字モード」）であれば、続けて指定することができます。↑ ↓ で目的の機能を選び、選択改行を押します。

以降の手順は④ ⑤と同様です。



指定を終了する場合は、「終わり？」を選び、選択改行を押します。
手順⑥へ進みます。

MEMO

他の機能（この場合「段落スタイル」「文章書式」）を指定したい場合は、手順⑥のあと、テキスト画面に戻ってから他の各機能のボタンを押します。

⑥ 指定した機能の有効範囲を決める

指定した機能の有効範囲を指定します。

下表を参考に、 で指定する範囲を選び、を押します。

指定が終了し、テキスト画面に戻ります。

(「文章書式」の機能を選択した場合は、有効範囲の画面は表示されず、手順⑤でテキスト画面に戻ります。)

有効範囲は?
この文章
この字から
この行

● 「文字モード」の機能を指定した場合

この文章	文章全体に、指定した文字モードを反映します(テキスト画面上は何も変わりません)。
この字から	カーソルを合わせた位置に「▶(文字モード指定マーク)」が表示され、「▶」直後の文字から行末(または、次の「▶」)まで、指定した文字モードを反映します。
この行	カーソルを合わせた行の行頭に「▶(文字モード指定マーク)」が表示され、「▶」直後の文字から行末まで、指定した文字モードを反映します。
この段落	カーソルを合わせた段落の行の先頭すべてに「▶(文字モード指定マーク)」が表示され、「▶」直後の文字から行末まで、指定した文字モードを反映します。

● 「段落スタイル」の機能を指定した場合

この文章	文章全体に、指定した段落スタイルを反映します(テキスト画面上は何も変わりません)。
この段落	カーソルを合わせた段落に、指定した段落スタイルを反映します(テキスト画面上は何も変わりません)。

● 「文章書式」の機能を指定した場合

有効範囲の画面は表示されません。

手順⑤で「終わり?」を選択した時点で、文章全体に指定した文章書式を反映します(テキスト画面上は何も変わりません)。

MEMO

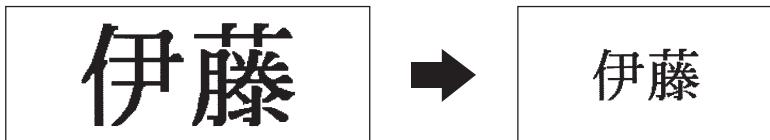
- 「▶(文字モード指定マーク)」は印刷されません。
- 「▶」は削除できます。「▶」を削除すると、その前にある「▶」の指定を反映します。「▶」がない場合は、「この文章」で指定した内容、または保存値を反映します。
- 各機能のご購入時の状態(初期設定値)はP.59「メニュー一覧」で確認できます。また、この設定はP.130「各種の初期値(保存値)を設定する」で変更することもできます。
- 操作を途中でやめるときは、指定の途中でまたは各機能のボタンを押し、操作を戻します。
- 一部の指定内容は、インジケーターの点灯で確認できます。
参照☞P.20「ディスプレイ(画面)の見かた」
- また、各機能のボタンを押して、機能の選択肢を表示させても確認できます。ネガ表示になっている選択肢が現在の指定内容です。
- 装飾、文字サイズ、または画数の多い文字によっては、文字がツブレることがあります。
- 機能を指定した場合には、プレビューなどでイメージを確認することをおすすめします。

参考

■操作例：文字サイズを変更する

段落スタイルー文字サイズの場合、具体的な操作は次のようになります。

例：1行の文字サイズを小さくする



- ① [スタイル]を押す

段落スタイル
縦・横
文字サイズ
割付け

「段落スタイル」メニューが表示されます。

- ② 機能選び、[選択改行]を押す

段落スタイル
縦・横
文字サイズ
割付け

ここでは「文字サイズ」を選択します。

機能の選択は
↑ ↓ ポタン
ンを使います。

- ③ 最初の選択肢を選び、[選択改行]を押す

文字サイズ
自動
1行
2行

ここではラベルの
行数として「1行」
を選択します。

MEMO

入力した文章の行数を指定してください。
指定した行数と実際に入力された
行数が異なる場合は、「均等」の指定
で印刷されます。

- ④ 2階層目の選択肢（設定値）を選び、
[選択改行]を押す

1行
大 1b
中 1c
小 1d

ここでは文字サイズとして「中1c」
を選択します。

- ⑤ 「終わり？」を選び、[選択改行]を押す

段落スタイル
外枠・表組
終わり？

- ⑥ 設定範囲を選び、[選択改行]を押す

有効範囲は？
この文章
この段落

ここではラベル全
体に指定するので
「この文章」を選
択します。

X.X
cm
1 伊藤

文字の大きさが変
更されます。

メニュー一覧

文章書式

太字は購入時の初期設定値です。

メニュー

最初の選択肢

次の選択肢

文章書式

地紋印刷

地紋印刷
定型地紋の入ったラベルを作ります。ピクトグラフを参考に地紋の柄を選びます。
参照☞ P.65

なし 00



菱形 02



桜 03



唐草 05

カド 04



点綱 06



切抜 07

定長印刷

定長印刷
決まった長さのラベルを作ります。
参照☞ P.65

音楽テープ MD

ミニ DV 8mmビデオ

VHS FD・MO

CDケース B5ファイル

A4ファイル しない

1.0cm~50cm



前寄せ



中寄せ



割付け



後寄せ

余白

余白
ラベルの前後の余白を調整します。
参照☞ P.67

極少 少なめ

ふつう 多め

自動少なめ 自動多め

終わり？

終わり？
参照☞ P.56

書式

機能編

段落スタイル

太字は購入時の初期設定値です。

メニュー

最初の選択肢

次の選択肢

スタイル

機能編

段落スタイル

縦・横

文字の向きを指定します。

参照☞P.68

よこ書き

たて書き

文字サイズ

均等

各行同じ文字サイズにします。

らく²

入力文字数に応じて文字サイズを自動調整します。

おまかせフォーマット

各行の文字サイズを、ピクトグラフで表示される組み合わせのように指定します。

参照☞P.68

自動

らく²

均等

1行

(おまかせフォーマット)

1行

特大1a

中 1c

大 1b

小 1d

2行

2行

大大2a

大細2c

中小2e

小大2g

中中2b

大小2d

小中2f

細大2h

3行

3行

同大3a

1大3c

3小3e

2中3g

3大3i

2小3k

同小3b

1中3d

2大3f

1小3h

3中3j

4行

4行

均等4a

2大4c

4大4e

1大4b

3大4d

5-8行

段落スタイル

割付け

割付け
各行の文字の配置を指定します。
参照 P.69

外枠・表組

表組み

図のような表組みのラベルを作ります。
参照 P.70

外枠

図のような飾り枠がつけられます。
参照 P.70

表組み

なし

外枠

前揃え

割付け

中揃え

後揃え

01

02

03

04

01

02

03

04

05

06

07

08

09

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

45

46

47

48

49

50

51

52

53

54

55

56

57

58

59

60

61

62

63

64

65

66

67

68

69

70

71

72

73

74

75

76

77

78

79

80

81

82

83

84

85

メニュー

最初の選択肢

次の選択肢

スタイル

段落スタイル

終わり？

終わり？
参照 P.56

有効範囲は？

この文章
この段落

お店 ► 01 02 03 ¥ ¥ 04
05 06 07

学校 ► 01 02 03 04
05 06 07 08
09 10

建設 ► 01 02 03 04
05 06 07 08
09 10

病院 ► 01 02 03 04
05 06 07 08
09 10

文字モード

太字は購入時の初期設定値です。

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢	次の選択肢
------	--------	-------	-------

文字モード

書体

書体
漢字書体とかな書体、英数書体をそれぞれ選択します。
参照☞P.71

飾り字

飾り字
文字の装飾を指定します。
参照☞P.72

斜体・強調

斜体・強調
文字を斜体または強調します。
参照☞P.72

伸・縮

伸・縮
行中の基本文字サイズに対し、どれだけ大きく（小さく）するかを指定します。
参照☞P.72

囲み・網

囲み・網
下線や文字囲み、網かけなどを指定します。
参照☞P.73

漢字書体

明朝体
ゴシック
太ゴシック
行書体
隸書体

A 白抜き
A ふつう
A 影文字
A 白抜影

A 斜体
A 正体
A 強調
A 斜強調

A 細かく
A ふつう

A 訂正線
A 角囲み
A 角囲網

かな書体

自動
明朝体
ゴシック
太ゴシック
行書体
隸書体
えれん
ハッピ
あしひ
てまり

A 小さく
A 伸ばす

A 下線
A 丸囲み
A 丸囲網

英数書体

自動
明朝体
ゴシック
太ゴシック
行書体
隸書体
HV体
CR体
BR体
PL体
ST体
CB体

メニュー

最初の選択肢

次の選択肢

モード

文字モード

文字間

文字間隔を調整します。「ピッチ自動」は英数字にプロポーショナルがかかり、「ピッチ固定」は英数字も全角扱いになります。
参照☞P.73

密着

狭い

ふつう

広い

ピッチ

ピッチ自動

ピッチ固定

終わり？

終わり？
参照☞P.56

有効範囲は？

この文章
この字から
この行
この段落

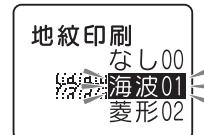
機能編

機能の説明

文章書式

●地紋印刷

ラベルの背景全体に地紋をつけます。表示されるピクトグラフで地紋の柄を確認できます。



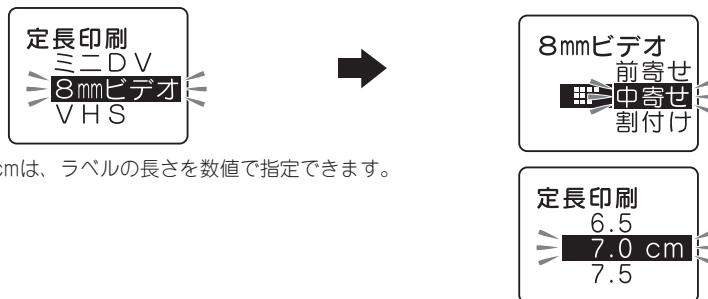
MEMO

地紋を指定した場合、プレビューで地紋が判読できない、文字が表示されないことがあります、印刷に影響はありません。

●定長印刷

印刷するラベルの長さを指定します。

長さを指定したあと、ラベル全体に対する文字の印刷位置を選びます。表示されるピクトグラフで位置のイメージを確認できます。



1.0cm～50cmは、ラベルの長さを数値で指定できます。

用途別の定長を選ぶとラベルの長さが自動的に指定されます。お使いになるテープは、下表の「推奨テープ幅」をおすすめします。

用途	長さ	推奨テープ幅
音楽テープ	9.5cm	9mm
MD	5.5cm	4mm
ミニDV	4.0cm	9mm
8mmビデオ	7.0cm	9mm
VHS	14cm	18mm

用途	長さ	推奨テープ幅
FD・MO	7.0cm	18mm, 24mm
CDケース	11cm	4mm
B5ファイル	15cm	12mm
A4ファイル	20cm	12mm

MEMO

- 文字数が多く、指定した長さに文章がおさまらないときは、「定長→字余り」と表示され、指定した長さで印刷することができません。文字数を減らしたり、文字サイズの指定で文字の大きさを小さくしてください。
- 定長印刷で指定するラベルの長さは一応の目安です。実際のできあがり長さと完全には一致しません。

参考

定長内に文字をおさめる「つめ²」機能

「文字サイズ」で「らく²」を指定すると、入力文字数に応じて自動的に文字サイズを調整します。この「らく²」と「定長」を指定し、定長内に段落をいくつか作って文字を入力した場合、定長で指定した長さに文字がおさまらない場合があります。

そんなとき本機では、定長で指定した長さにおさまるよう文字サイズを自動的に計算し、「らく²」を指定した段落の中で、後ろから順に段落単位で文字サイズを小さくする「つめ²」機能がはたらきます。

書式

① 最後の段落の文字を小さくする (図A→B)

定長に入らない場合はまず、「らく²」を指定した段落の中で最後の段落(⑤)の文字サイズを1段階小さいサイズに置き換えます。これで定長におさまれば自動計算は終わります。

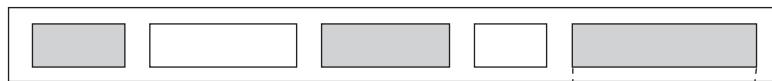
② 最後から2番目の段落の文字を小さくする (図B→C)

それでも定長に入らない場合は、「らく²」を指定した段落の中で最後から2番目の段落(③)の文字サイズを1段階小さくします。

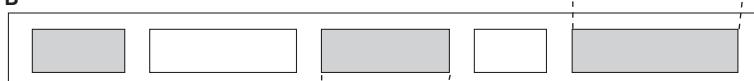
定長で指定した長さにおさまるまで、上記の処理をおこないます。

この処理を繰り返しても定長で指定した長さにおさまらない場合は「入力した文章が長すぎます」と表示されます。定長を指定しなおすか、文字を少なくするなどの操作をおこなってください。

A



B



C



※ 段落②、④が「らく²」を指定していない段落です。

MEMO

- 「らく²」を指定していない段落は「つめ²」機能ははたらきません。
- 「らく²」以外の指定をしても実際の行数が指定と合わず結果的に「均等」になった段落については、「つめ²」機能による処理はおこなわれません。

●余白

ラベルの前後の余白の長さを指定します。

極少（余白：前後約1mm）



極少

少なめ（余白：前後約3mm）



少なめ

ふつう（余白：前後約10mm、購入時の初期設定値）



ふつう

多め（余白：前後約18mm）



多め

自動少なめ

テープ幅に応じて余白の長さが自動的に少なめに調整されます。印刷するテープの幅の約1/3が前後の余白になります（12mm幅テープであれば余白は前後約4mm）。



自動少なめ

自動多め

テープ幅に応じて余白の長さが自動的に多めに調整されます。印刷するテープの幅相当が前後の余白になります（12mm幅テープであれば余白は前後約12mm）



自動多め

MEMO

余白「極少」「少なめ」「自動少なめ」を指定すると、印刷前にテープがカットされます。4mm、6mm幅テープで余白を「自動多め」に指定した場合も、印刷前にテープがカットされます。

段落スタイル

●縦・横

文字をたて書きにするか、よこ書きにするかを指定します。

たて書き／よこ書きの変更は[縦横]ボタンでも指定できます。

参照☞ P.52「ラベルの向きを変える（縦・横）」

よこ書き（購入時の初期設定値）



たて書き



●文字サイズ

文字サイズの指定は「均等」「らく²」「おまかせフォーマット」で指定してください。

「均等」、「らく²」の変更は[らく²]ボタンでも指定できます。

らく²
(購入時の
初期設定値)

入力文字数に応じて、文字サイズを自動調整します（フルオート）。
1行のとき：文字数が多くなると自動的に文字サイズを小さくします。



簡単・綺麗なラベルが作れる「テプラ」PRO

2行以上のとき：各行の長さがバランスよくなるように文字サイズを自動調整します。



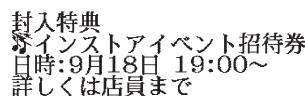
テープ幅や行数、文字数の割合に応じて、各行のできあがりの長さができるだけ揃うようにします。また、文字数が多くなってもラベル全体が長くなりすぎないように、文字サイズを自動調整します。

均等

各行を同じ文字サイズにします。

12mm幅テープ

18mm幅テープ



おまかせ
フォーマット

各行の文字サイズ（行の大小）を、あらかじめ用意された組み合わせの中から選びます（セミオート）。

参照☞ P.69「おまかせフォーマット」

おまかせフォーマット（1行～8行）

選択肢から文字サイズ（行の大小）を選びます。表示されるピクトグラフで各行の文字のバランスなど、レイアウトを確認できます。

1行

特大1a
大 1b
中 1c

おまかせフォーマット 1行の文字サイズ

□ 特大1a・□ 大1b・□ 中1c・□ 小1dと選んだ場合、テープ幅により次のような文字の大きさで印刷されます。

印刷サンプル	美	美	美	美	美	美	美
文字サイズ [pt]	H [48]	U [38]	G [26]	L [19]	M [13]	S [10]	P [6]
24mm	特大	大	中	小	—	—	—
18mm	—	特大	大	中	小	—	—
12mm	—	—	特大	大	中	小	—
9mm	—	—	—	特大	大	中	小
6mm	—	—	—	—	特大	大	中、小
4mm	—	—	—	—	—	—	特大、大、中、小

!! 注意 !!

テープに印刷できる文字の大きさに制限があるため、テープ幅や印刷する行数によっては、おまかせフォーマットの一部が機能しないことがあります。

MEMO

- おまかせフォーマットは、ピクトグラフで表現しています。
- 各行の文字サイズはテープ幅によって異なり、文字サイズインジケーターで確認できます。
- 指定した行数と実際に入力された行数が異なる場合は、「均等」で印刷されます。

●割付け

複数行のとき、各行の「揃え」を指定します。

前揃え（購入時の初期設定値）	行頭を揃えます。
中揃え	各行の中心を揃えます。
割付け	一番長い行の長さに揃えて他の行を均等に割り付けます。
後揃え	行末を揃えます。

MEMO

文字間「密着」が指定されている場合、割付け「割付け」を指定しても、文字間「密着」が優先されます。

スタイル

機能編

●外枠・表組

文章（段落）のまわりに外枠や表組みをつけます。

なし（購入時の初期設定値）

外枠・表組みをつけません。

表組み

文章（段落）を枠で囲み、行間に横罫線を引きます。

複数の段落に同じ表組みを指定すると、前後に区切られた表ができます。

表示されるピクトグラフで表組みの種類を確認できます。

参照☞P.46「段落を増やす（改段落）」

表組み

	01
	02

備品名	RDS
管理番号	1103-U

MEMO

表組みのラベルの行中にさらに縦罫線を入れたいときは、[記号]を押して表示される記号メニューから「編集」を選択し、その中の[罫]を入力します。

ラベルの行中に縦罫線が入る

備品名	RDS	本館
管理番号	1103-U	

段落1

段落2

[シフト]+[選択改行]で改段落をして、このよう
うに段落2を入力します

テキスト画面に[罫]を入力する

1	RDS	本館
2	1103-U	

外枠

文章（段落）のまわりに外枠をつけます。

表示される図で外枠の種類を確認できます。



Merry Christmas

MEMO

表組み・外枠の種類は、番号を数字ボタンで指定することもできます。

参照☞P.61「メニュー一覧一段落スタイル」

文字モード

●書体

文字の書体を選びます。かな書体と英数書体で「自動」を選ぶと、漢字書体と同じ書体が選択されます。



明朝体（購入時の初期設定値）	ゴシック
美しい文字	美しい文字
太ゴシック	行書体
美しい文字	美しい文字
隸書体	
美しい文字	
えれん	ハッピ
うつくシイ	うつくシイ
あしひ	てまり
うつくシイ	うつくシイ
HV体	CR体
Beautiful	Beautiful
BR体	PL体
Beautiful	Beautiful
ST体	CB体
Beautiful	Beautiful

●飾り字

文字の装飾を選択します。

白抜き	ふつう（購入時の初期設定値）	影文字	白抜影
白抜き	ふつう	影文字	白抜影

MEMO

文字サイズ、または画数の多い文字によっては、文字がツブレることができます。

●斜体・強調

文字の斜体、強調を選択します。

斜体	正体（購入時の初期設定値）	強調	斜強調
斜体	正体	強調	斜強調

MEMO

文字サイズ、または画数の多い文字によっては、文字がツブレることができます。

●伸・縮

各行の基本文字サイズ（行の大小）は、テープ幅・入力行数・文字サイズの段落スタイル指定によって決まります。伸・縮はこの基本文字サイズに対して相対的な大きさを指定します。

細かく	基本サイズより、2段階小さい文字になります。
小さく	基本サイズより、1段階小さい文字になります。
縮める	横の長さを基本サイズの約0.75倍にします。
ふつう（購入時の初期設定値）	これを選ぶと、基本文字サイズになります。
伸ばす	横の長さを基本サイズの約1.5倍にします。

MEMO

- 基本文字に対して、よこ書きのラベルでは「下並び」（文字のベースライン揃え）、たて書きのラベルでは「中並び」（センター揃え）となります。
- 英数専用書体（HV体・CR体・BR体・PL体・ST体・CB体）はベースラインが漢字書体や、かな書体と異なるため、かな書体とベースラインが揃いません。
- 基本文字サイズがすでに小さい場合は、「小さく」「細かく」を指定しても、文字の大きさが変わらない場合があります。
- 各行の基本文字サイズは段落スタイルの指定で変えられます。
参照☞P.68「文字サイズ」
- 装飾、文字サイズ、または画数の多い文字によっては、文字がツブレることができます。
- 細いテープを使っている場合など大きな文字サイズを使えないときに「伸ばす」を指定すると、文字の大きさが少し大きく見え、より目立つラベルになります。

●囲み・網

文字につける囲みや下線、網などを選びます。

表示されるピクトグラフの画面に「囲み・網」の種類を確認できます。

囲み・網

なし
角囲み
丸囲み

●文字間

文字の間隔を選びます。

密着	ふつう（購入時の初期設定値）
	
狭い	広い
	

さらに文字間「ピッチ自動」、「ピッチ固定」を選びます。

ピッチ自動	世界選抜 UEHA選抜	1-1 0-2	キングFC キングFC
ピッチ固定	世界選抜 UEHA選抜	1 - 1 0 - 2	キングFC キングFC

「ピッチ自動」にすると、英数字にプロポーショナルがかかり、文字間を美しく調整して並べます。プロポーショナルとは英数字が美しく見えるように文字間を自動的に調整する機能です。

「ピッチ固定」にすると、プロポーショナル機能が解除され、英数字（半角スペースを含む）をすべて全角文字として扱います。複数行で上下の文字の並びをきちんと揃えたいときは、「ピッチ固定」を選んでください。

MEMO

文字間の指定について

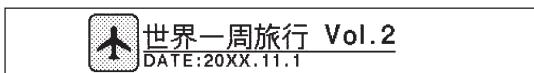
- あらかじめ小さくデザインされている文字に「密着」を指定しても、密着しているように見えないことがあります。
- 複数個の外字をつなげたロゴを作るときは、「密着」を指定すると完全につながったロゴが印刷できます。
参照☞P.104「外字を使う」
- 大きい文字では文字間を狭く、小さい文字では文字間を広くとると、美しいラベルになります。

デザインされたラベルを呼び出す(フォーム)

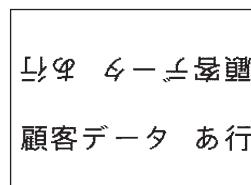
シフト + ファイル [フォーム]

本機には名前ラベルやビデオラベルなどデザインされたフォームが登録されています。また特殊フォームとして通常の文章書式や段落スタイル、文字モードの指定では作ることのできない、特殊なデザインのラベルも用意されています。

例：「8mm ビデオ」のラベル
(デザインフォーム)



例：「見出し（横）」
長さ 3.2cm のラベル
(特殊フォーム)



ラベルの作りかた

機能編

フォームを使ったラベルは以下の流れで作成します。

① 使用するフォームを決める

使いたいフォームを選んでください。

② [シフト]を押しながら[ファイル] (=フォーム) を押す

「フォーム」メニューが表示されます。

③ 「フォーム」または「特殊フォーム」を選ぶ

[↑] [↓] で目的のフォームが含まれる項目（「フォーム」または「特殊フォーム」）を選び、[選択改行] を押します。

それぞれのメニューが選択され、選択肢を指定する画面になります。



④ 使用するフォームを指定する

[↑] [↓] で目的のフォーム名を選び、[選択改行] を押します。

特殊フォームの見出し(縦)、見出し(横)、ケーブル用の場合は、ここでラベルの長さを選択します。



!!注意!!

フォームを呼び出すと、テキスト画面に入力した文章は消えてしまいます。フォームを呼び出す前に、必要な文章はファイルに登録してください。

参照☞P.89「ファイルを登録する」

MEMO

操作を途中でやめるときは、[削除取消]または[ファイル]を押し、操作を戻します。

⑤ 文字を入力する

フォームの場合は、テキスト画面にデザインされたフォームの内容が表示されます。次のようにはじめから入力されていますので、文字や記号を削除して内容を変更します。

例： 1 ►

1 ► 世界一周旅行 Vol.2

2 D A T E : 20XX.11.1

特殊フォームの場合は、入力画面になります。入力ガイドの後ろ（右側）にカーソルを合わせ、通常のテキスト画面と同じように文字を入力します。



複数行の特殊フォームのときは、[↓]を押すと次の行にカーソルが移ります。

見出し（縦）と見出し（横）では、「おもて」の行で[選択改行]を押すと、「おもて」の行に入力した内容が「うら」の行に自動的にコピーされます。

複数ラベルでは、1枚目入力後に[選択改行]を押すと2枚目の行が表示されます。

MEMO

- 操作を途中でやめるときは、[削除取消]または[ファイル]を押し、操作を戻します。
- 文章書式、段落スタイル、文字モードの指定内容は、インジケーターで確認できます。
- デザインフォームで指定されている文章書式、段落スタイル、文字モードの指定は変更できますが、特殊フォームで指定できる機能には制限があります。

参照☞P.83「特殊フォーム」

⑥ 印刷する

参照☞P.38「6.印刷する」

MEMO

特殊フォームの印刷をしたあとは、特殊フォームの画面に戻ります。テキスト画面に戻るときは[ファイル]を押して1画面ずつ操作を戻します。

フォーム/特殊フォーム メニュー一覧

太字は購入時の初期設定値です。

メニュー

最初の選択肢

次の選択肢

シフト + ファイル [フォーム]

機能編

文章書式

フォーム ►

フォーム
あらかじめ作られたフォームに文字や記号を入力するだけで、いろいろなデザインのラベルを簡単に作ることができます。
参照☞P.77

A4ファイル

フォルダー山	B5ファイル
税込値札	回覧の捺印
CDケース	備品管理票
VHS(縦)	FD・MO
8mmビデオ	VHS(横)
MD	ミニDV
DAT	音楽テープ
注意!	ケーブル
メッセージ	禁止!
住所&氏名	誕生日
なまえ(横)	なまえ(縦)
お祝い	学校持ち物
QR携帯1	銘板
QR携帯3	QR携帯2
	QR備品管理

特殊フォーム

特殊フォーム
通常のテキスト画面からでは作ることのできない特殊なデザインのラベルを作ることができます
参照☞P.83

見出し(縦) ►

見出し(横)

見出し(縦/横)長さ

1.8cm
3.2cm
6.0cm
8.0cm
11cm

ケーブル用 ►

複数ラベル

ケーブル用

2.6cm
5.0cm

MEMO

「回覧の捺印」は上質紙ラベル、マットラベルで印刷することをおすすめします。

フォーム見本

●デザインフォーム

- A4ファイル/B5ファイル A4判/B5判ファイルの背見出しラベルとしておすすめです。
(推奨テープ幅：12mm)

1段落目

記号: 2桁数字

2段落目

- フォルダー山 フォルダーの山の部分におすすめです。(推奨テープ幅：12mm)

TITLE

出張ホテルデータ

1段落のみ

- 回覧の捺印 回覧文書におすすめです。(推奨テープ幅：12～24mm)

回覧

1段落目

2～8段落目

MEMO

段落を増やすと捺印の枠が増えます。捺印の枠は9枠（合計10段落）まで増やせます。

- 税込価格 値札におすすめです。(推奨テープ幅：18～24mm)

キングジム XXXXX

¥1,050

(税込価格)

1段落のみ

- 備品管理票 備品管理の表示におすすめです。(推奨テープ幅：18～24mm)

備品名	デジタルPBX
管理番号	0512-S
購入年月	20XX年10月
管理部署	営業部

1段落目

2段落目

■ CDケース CDケースの背ラベルにおすすめです。(推奨テープ幅: 4mm)

■■■ 販売管理データ(20XX.10.1~10.31) | 管理部門: 営業3 ■■■

記号: [置]

1段落のみ

■ FD・MO FDやMOのラベルにおすすめです。(推奨テープ幅: 18~24mm)



販売管理

20XX.10.01~20XX.10.31

10 管理部門: 営業3

管理者 :

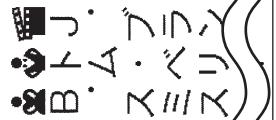
1段落目

2段落目

■ VHS(縦) VHSビデオテープのたて書きラベルにおすすめです。(推奨テープ幅: 18mm)



監視カメラ



1段落目

2段落目

3段落目

■ VHS(横) VHSビデオテープのよこ書きラベルにおすすめです。(推奨テープ幅: 18mm)



南極大紀行2～生命の躍動

DATE:20XX.11.1 TIME:125min

1段落目

2段落目

■ 8mmビデオ 8mmビデオのラベルにおすすめです。(推奨テープ幅: 9mm)



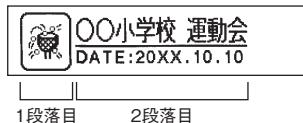
世界一周旅行 Vol.2

DATE:20XX.11.1

1段落目

2段落目

- ミニDV ミニDV(デジタルビデオ)のラベルにおすすめです。(推奨テープ幅: 9mm)



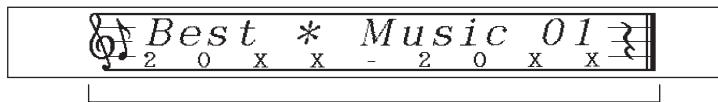
1段落目 2段落目

- MD MDのタイトルラベルにおすすめです。(推奨テープ幅: 4mm)



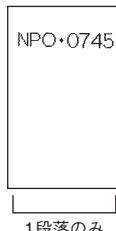
1段落のみ

- 音楽テープ/DAT 音楽テープやDATのタイトルラベルにおすすめです。(推奨テープ幅: 9mm)



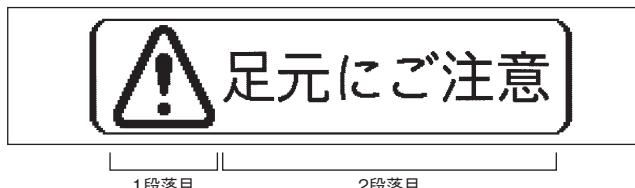
1段落のみ

- ケーブル 24mm幅ケーブル表示ラベル専用のフォームです。(推奨テープ幅: 24mm)



1段落のみ

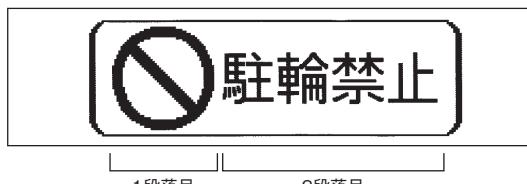
- 注意! 注意喚起表示、警告表示におすすめです。(推奨テープ幅: 9~24mm)



1段落目

2段落目

- 禁止! 禁止表示におすすめです。(推奨テープ幅: 9~24mm)



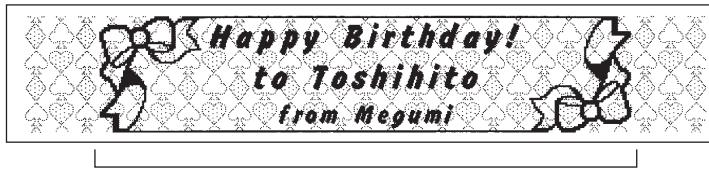
1段落目

2段落目

■ メッセージ インパクトのあるメッセージにおすすめです。(推奨テープ幅: 9~24mm)



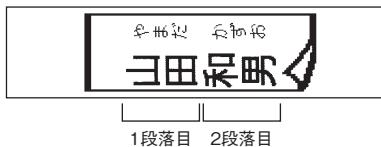
■ 誕生日 誕生日祝いの表示におすすめです。(推奨テープ幅: 9~24mm)



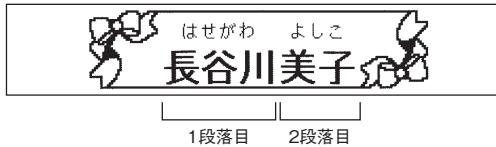
■ 住所&氏名 住所、氏名の表示におすすめです。(推奨テープ幅: 12~24mm)



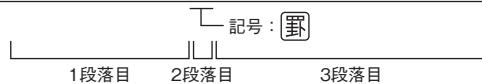
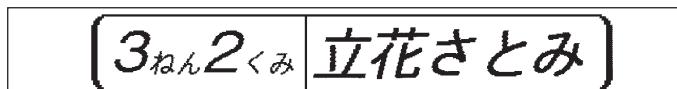
■ なまえ (縦) 名札や表札におすすめです。(推奨テープ幅: 6~24mm)



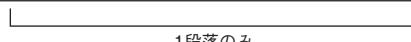
■ なまえ (横) 名札や表札におすすめです。(推奨テープ幅: 6~24mm)



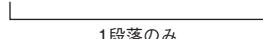
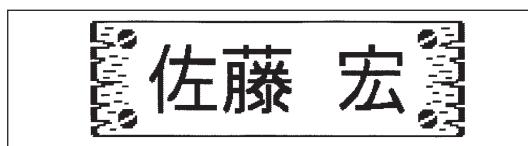
■ 学校持ち物 持ち物表示におすすめです。(推奨テープ幅: 4~24mm)



■ お祝い お祝いのラベルにおすすめです。(推奨テープ幅: 9~24mm)



■ 銘板 名札や表札におすすめです。(推奨テープ幅: 4~24mm)



■ QR携帯1 携帯電話で読取ると電話帳に登録できるQRコードです。(推奨テープ幅: 24mm)



■ QR携帯2 携帯電話で読取ると電話帳に登録できるQRコードです。(推奨テープ幅: 24mm)



■ QR携帯3 携帯電話で読み取ると電話帳に登録できるQRコードです。(推奨テープ幅: 24mm)



MEMO

- QRコードを含むフォームは、QRコードの内容も合わせて変更してください。
- 「QR携帯1」、「QR携帯2」、「QR携帯3」のQRコードは、それぞれDoCoMo、au、Vodafoneの携帯電話での読み取り、登録に対応しています(2006年7月現在)。QRコードの読み取り、登録については、携帯電話の取扱説明書などを参照してください。
- QRコードの内容や誤り訂正レベルを変更する場合は、QRコードマーク(□)の直後(右側)にカーソルを合わせ、[シフト]を押しながら[←] (=連番・QR・バーコード) を押してください。
参照☞P.118「QRコードを印刷する」

■ QR備品管理... 備品管理の表示におすすめです。(推奨テープ幅: 18~24mm)



●特殊フォーム

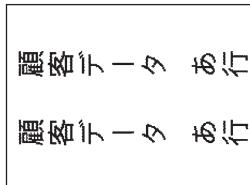
!!注意!!

- 特殊フォームを呼び出すと、テキスト画面に入力した文章は消えてしまいます。特殊フォームを呼び出す前に、必要な文章はファイルに登録してください。
参照☞P.89「ファイルを登録する」
- 入力内容にある「おもて」「うら」や「入力」、「1枚目」、「2枚目」は入力の案内をするためのガイドであり、画面上に表示されるだけで印刷はされません。
- 特殊フォームで作成した文章は、ファイル登録できません。

MEMO

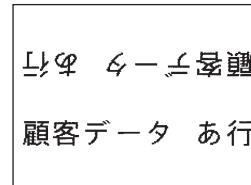
特殊フォームでも[シフト]を押しながら[削除取消] (=消去)を押すと、入力した内容の全文消去ができます。

■ 見出し(縦)...たて書きのインデックスにおすすめです。



24mm幅テープ（長さ3.2cm）の印刷見本

■ 見出し(横)...よこ書きのインデックスにおすすめです。



24mm幅テープ（長さ3.2cm）の印刷見本

入力内容

おもて [顧客データ] あ行
うら [顧客データ] あ行

指定可能な機能		文字モードのすべての機能	
入力条件	入力可能な行数	2行（おもて1行、うら1行）	
	入力可能な文字数	各行27文字	
印刷可能な文字数	長さ1.8cm	各行4文字	
	長さ3.2cm	各行8文字	
	長さ6.0cm	各行17文字	
	長さ8.0cm	各行23文字	
	長さ11cm	各行27文字	

!!注意!!

- 印刷可能な文字数は、文字モードを指定しない状態での文字数です。「飾り字」や「伸・縮」などを指定すると、印刷可能な文字数は変わります。また英数字のプロポーショナル対応文字を含む場合も印刷可能な文字数は変わります。ただし、入力可能な文字数は27文字までです。
- 文字間で「密着」を選ぶと「中寄せ」の状態で印刷されます。
- 文字数が多く、指定した長さに文章がおさまらないときは「定長→字余り」が表示されます。
[選択改行] または [印刷] 以外のボタンを押して印刷を中止し、文字数を減らすか、「伸・縮」で文字を小さくしてください。そのまま [選択改行] または [印刷] を押すと、定長を解除して印刷します。
- 4mm幅、6mm幅のテープには印刷できません。

MEMO

「おもて」の行で[選択改行]を押すと、「おもて」の行に入力した内容が「うら」の行に自動的にコピーされます。

■ ケーブル用ケーブル表示ラベル用の特殊フォームです。24mm幅テープに対応しています。



24mm幅テープ
(長さ 2.6cm) 1行
の印刷見本

入力内容
入力 [本館] 5F

指定可能な機能		文字モードのすべての機能	
入力条件	入力可能な行数	1行	
	入力可能な文字数	20文字	
印刷条件	印刷可能な行数	1行 (24mm幅テープ時)	
	印刷可能な文字数	長さ 2.6cm	10文字
		長さ 5.0cm	20文字

!! 注意 !!

印刷可能な文字数は、文字モードを指定しない状態での文字数です。「飾り字」や「伸・縮」などを指定すると、印刷可能な文字数は変わります。また、英数字のプロポーショナル対応文字を含む場合も、印刷可能な文字数が変わります。ただし、入力可能な文字数は 20 文字までです。

MEMO

文字数が多く、指定した長さに文章がおさまらないときは「定長→字余り」が表示されます。
(選択改行) または [印刷] 以外のボタンを押して印刷を中止し、文字数を減らすか、「伸・縮」で文字を小さくしてください。そのまま (選択改行) または [印刷] を押すと、定長を解除して印刷します。

参考

「ケーブル用」には、ケーブル表示ラベル

印刷部分を汚れなどから保護する「セルフラミネット」タイプ。

白エリアに印刷し、透明エリアを巻きつけることによりラミネートできます。

SV24KN: 24mm幅 (ケーブル径 ϕ 2.1mm~ ϕ 5.4mm用)

「見出し（縦/横）」には、インデックスラベル

キングファイルのインデックス表示におすすめ。

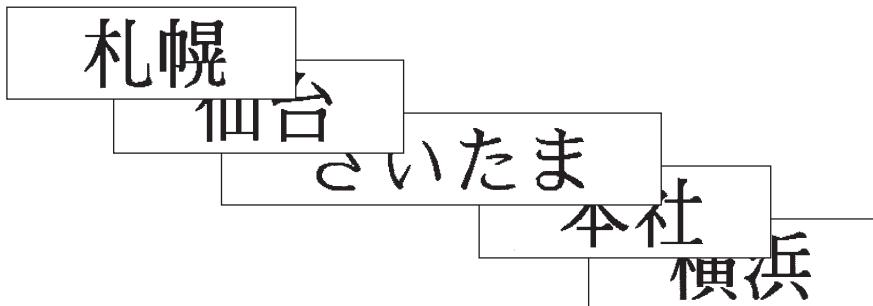
ミシン目入りラベルなので、折りやすくキレイに貼れます。

STY24KM : インデックス山に貼り付けるタイプです (24mm幅 透明つや消し)。

SSY24K · SCY24R · SCY24Y · SCY24G · SCY24B :

書類などに直接貼り付けるタイプです (24mm幅 白、赤、黄、緑、青)。

- 複数ラベル 1行のラベルを複数枚同時に印刷します。



12mm幅テープの印刷見本

入力内容

- 1枚目 [札幌]
- 2枚目 [仙台]
- 3枚目 [さいたま]
- 4枚目 [本社]
- 5枚目 [横浜]

指定可能な機能		文字モードのすべての機能
入力・印刷条件	ラベル数	最大 10枚
	行数	1行
	文字数	文章全体で約175文字

MEMO

- 入力した各行が、それぞれ印刷するラベルに対応しています。行の終わりで [選択次行] を押すと、新しいラベルに入力できます。
- 段落スタイルと文章書式、文字モードは保存値の設定で印刷します。

活用編

～「テプラ」をさらに活用しよう～

「入力した文章を保存しておきたい」
「あて名や名前のラベルを作りたい」
「外字を登録したい」
こんなときは、ファイル機能や外字機能を活用します。

文章を呼び出す・登録する(ファイル)

作成した文章をファイルとして登録しておけば、必要に応じて呼び出し、変更や印刷ができます。ファイルには、文字とレイアウトなどラベルの状態がそのまま登録されます。

(ファイル)メニュー

(ファイル)ボタンのメニュー一覧 (太字は購入時の初期設定値です。)

メニュー	最初の選択肢	機能	参照ページ
ファイル	登録	作成した文章を保存します	P.89
	呼出	登録した文章を呼び出します	P.90
	消去	登録した文章を消去します	P.91
	複写	登録した文章を別のファイルに複写します	P.91
印刷履歴	呼出	最近印刷した文章を呼び出します	P.92
	消去	印刷履歴を消去します	P.92
あて名	登録	あて名を登録します	P.94
	修正	登録したあて名を修正します	P.95
	消去	登録したあて名を消去します	P.95
	複写	登録したあて名を複写します	P.96
	印刷	登録したあて名ラベルを印刷します	P.96
名前	登録	名前を登録します	P.99
	修正	登録した名前を修正します	P.100
	消去	登録した名前を消去します	P.100
	印刷	登録した名前ラベルを印刷します	P.101
辞書	登録	辞書を登録します	P.102
	消去	登録した辞書を消去します	P.103

MEMO

- ・ファイルとあて名、名前は、同じエリアに保管されています。本機には、約5,000文字（最大で99個のファイル、ファイル名を含む）を登録することができますが、たくさんの文章をファイルしていたり、あて名を登録していると、登録できるファイルの件数が少くなります。
- ・データがいっぱいで登録できない場合は「メモリー満員」と表示されます。不要なファイルやあて名、名前を削除してください。

!!注意!!

大切なファイルやあて名、外字のデータは、データ転送ソフト「DATAメモリーシステムSDM9」を利用し、パソコンにバックアップすることをおすすめします。

ファイルを登録する

① [ファイル] を押す

「ファイル」メニューが表示されます。

②

ファイル

ファイル
印刷履歴

「ファイル」を選び、

[選択改行] を押す

③

ファイル

登録
呼出

「登録」を選び、

[選択改行] を押す

④

ファイル登録

ファイル②

で番号を選び、

[選択改行] を押す

⑤

ファイル名登録

ファイル名 []

ファイル名を入力し、[選択改行] を押す

15文字まで入力できます。入力しなくても登録できます。

⑥

登録確認②

ラベルライタ
「テプラ」P

内容を確認し、

[選択改行] を押す

「登録実行」と表示されます。

!! 注意 !!

- 登録実行中にACアダプタや電池を抜かないでください。ファイル内容がこわれる可能性があります。
- ファイル登録の際、既存のファイルを上書きして登録することはできません。

MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- ファイル番号は数字ボタンでも選択できます（手順④）。
- 操作を途中でやめるときは、[削除取消] または [ファイル] を押し、操作を戻します。
- ファイルは99件まで登録できます。
- データがいっぱい登録できない場合は「メモリー満員」と表示されます。不要なファイルやあて名、名前を削除してください。
- 本機には、約5,000文字（最大で99個のファイル、ファイル名を含む）を登録することができますが、ファイル、あて名、名前は登録エリアが共有のため、たくさんあて名や名前を登録していると、登録できるファイルの件数が少くなります。
- 特殊フォームの文章は登録できません。

ファイルを呼び出す

現在のテキスト画面の文章を置き換える「上書き呼出」と、現在の文章に別段落で挿入する「連結呼出」があります。

「上書き呼出」を選ぶと、テキスト画面の文章は全消去され、呼び出したファイルの文章と置き換わります。「連結呼出」を選ぶと、カーソルのある段落の直後に新しい段落として呼び出したファイルの文章が挿入されます。ただし、カーソルが段落1の1行目の行頭マークにある場合は、カーソルのある段落の前に、新しい段落として呼び出したファイルの文章が挿入されます。

① [ファイル]を押す

「ファイル」メニューが表示されます。

②



③ 「ファイル」を選び、 [選択改行]を押す

③



「呼出」を選び、 [選択改行]を押す

④



で番号を選び、 [選択改行]を押す

⑤

呼出確認 02

1ラベルライタ
2「テプラ」P

内容を確認し、

[選択改行]を押す

⑥

上書き／連結

上書き呼出
連結呼出

「上書き呼出」「連結呼出」のいずれかを選び、

[選択改行]を押す

文章が呼び出され、テキスト画面に表示されます。

!! 注意 !!

- 「上書き呼出」を選ぶと、テキスト画面で作成していた文章は失われ、復活できません。必要な文章は先にファイルに登録してください。
- 「連結呼出」の場合は、連結によって入力できる文章の制限をオーバーしても、そのまま呼び出します。オーバーした部分は自動的に文末から削除されます。
- 入力できる文章は約175文字です。

MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- ファイル番号は数字ボタンでも選択できます（手順④）。
- 操作を途中でやめるときは、[削除取消]または[ファイル]を押し、操作を戻します。
- テキスト画面に文章がない状態で呼び出した場合は、手順⑤で文章が呼び出されます。

ファイルを消去する

① [ファイル] を押す

「ファイル」メニューが表示されます。

②

ファイル

ファイル
印刷履歴

「ファイル」を選び、

[選択改行] を押す

③

ファイル

呼出
消去
複写

「消去」を選び、

[選択改行] を押す

④

消去？ 02

1ラベルライタ
2「テプラ」P

で番号を選び、

[選択改行] を押す

⑤

消去確認 02

1ラベルライタ
2「テプラ」P

内容を確認し、

[選択改行] を押す

で文章を確認できます。

⑥

消去？ 02

[選択改行] を押す

ファイルが消去されます。

!! 注意 !!

消去したファイルは復活できません。

MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- ファイル番号は数字ボタンでも選択できます（手順④、複写操作の手順⑥）。
- 操作を途中でやめるときは、[削除取消] または [ファイル] を押し、操作を戻します。

ファイルを複写する

① [ファイル] を押す

「ファイル」メニューが表示されます。

②

ファイル

ファイル
印刷履歴

「ファイル」を選び、

[選択改行] を押す

③

ファイル

消去
複写

「複写」を選び、

[選択改行] を押す

④

複写元？ 02

1ラベルライタ
2「テプラ」P

で複写元の番号を選

び、[選択改行] を押す

⑤

複写確認 02

1ラベルライタ
2「テプラ」P

内容を確認し、

[選択改行] を押す

で文章を確認できます。

⑥

複写先？

1ファイル 03

で複写先の番号を選

び、[選択改行] を押す

⑦

複写実行？

02 → 03

内容を確認し、

[選択改行] を押す

文章とファイル名が複写されます。

最近印刷した文章を呼び出す

本機は、最近印刷した文章を最大5つまで記憶しており、ファイル登録をし忘れた場合でも呼び出せます。

印刷履歴を呼び出す

① [ファイル]を押す

「ファイル」メニューが表示されます。

②

ファイル
ファイル
印刷履歴
あて名

「印刷履歴」を選び、

[選択改行]を押す

③

印刷履歴
呼出
消去

「呼出」を選び、

[選択改行]を押す

④

呼出し？
1ラベルライタ
2「テプラ」P

で文章を選択、

[選択改行]を押す

⑤

呼出確認 2
1ラベルライタ
2「テプラ」P

内容を確認し、

[選択改行]を押す

文章が呼び出され、
テキスト画面に表示されます。

!! 注意 !!

- 印刷履歴を呼び出すと、直前まで作成していた文章は失われ、復活できません。必要な文章は先にファイルに登録してください。
- 特殊印刷や特殊フォーム印刷などは印刷履歴の対象になりません。
- 文字数の多い文章の場合、履歴件数が5件にならないことがあります。また、QRコードを含むなど、ラベルの情報量によっては印刷履歴に記録されないことがあります。

MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- ファイル番号は数字ボタンでも選択できます（手順④）。
- 操作を途中でやめるときは、[削除取消]または[ファイル]を押し、操作を戻します。

印刷履歴を消去する

① [ファイル]を押す

「ファイル」メニューが表示されます。

②

ファイル
ファイル
印刷履歴
あて名

「印刷履歴」を選び、

[選択改行]を押す

③

印刷履歴
呼出
消去

「消去」を選び、

[選択改行]を押す

④

消去？
1ラベルライタ
2「テプラ」P

で文章番号を選び、

[選択改行]を押す

⑤

消去確認
1ラベルライタ
2「テプラ」P

内容を確認し、

[選択改行]を押す

⑥

消去？
2

[選択改行]を押す

印刷履歴が消去されます。

!! 注意 !!

消去した印刷履歴は復活できません。

名前や語句を登録する(あて名/名前/辞書)

あて名ラベルを作る

あて名として郵便番号や住所、名前などを登録しておくと、決められたレイアウトのあて名ラベルをまとめて印刷できます。

■ 登録できる項目とあて名ラベル

101-0031
東京都千代田区東神田二丁目10番18号
株式会社キングジム 開発部
山岸 正樹 様

項目	入力内容	入力可能文字
〒番号（郵便番号）	[101-0031]	8文字
住所1	[東京都千代田区東神田二丁目10番18号]	20文字
住所2	[]	20文字
会社	[株式会社キングジム]	20文字
部署	[開発部]	20文字
氏名	[山岸 正樹]	20文字
〒[■■■■]（カスタマバーコード）	[10100312-10-18]	20文字

バーコード^{*}に入力した内容は、カスタマバーコードとして印刷されます。

参照 P.97「カスタマバーコードについて」

本機内に登録できるあて名は約5,000文字（最大99件のあて名）です。

!!注意!!

郵便番号に入力した先頭の5桁に対応する住所を、「住所1」に自動的に入力できます。郵便番号変換は、2006年3月時点のデータをもとにおこなっています。そのため、お客様が入力したい住所が候補として表示される場合もありますのであらかじめご了承ください。

MEMO

あて名印刷時は、「御中」または「様」が自動的に付きます。あて名登録時に氏名を入力しないと、会社名または部署名の後ろに「御中」、氏名まで入力すると氏名の後ろに「様」が付きます。

氏名入力あり：「様」が付きます

氏名入力なし：「御中」が付きます

101-0031
東京都千代田区2

株式会社キングジム
開発部
山岸 正樹 様

101-0031
東京都千代田区2

株式会社キングジム
開発部 御中

あて名を登録する

① [ファイル]を押す

「ファイル」メニューが表示されます。

②



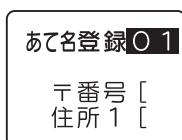
「あて名」を選び、
[選択改行]を押す

③



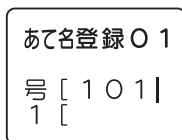
「登録」を選び、
[選択改行]を押す

④



で番号を選び、
[選択改行]を押す

⑤



郵便番号を入力する
4桁目を入力すると、自動的にハイフン（-）が挿入されます。

⑥

[変換スペース]を押す

郵便番号に対応する都道府県と市区町村名の候補が表示されます。

⑦

「あて名登録 O 1」

京都千代田区
101-00

地名が正しいときは、[選択改行]を押す

地名が違うときは、
[←] [↑] [↓] [→]

で適切な地名を選びます。

⑧ 住所1を入力し、[選択改行]を押す

⑨ 住所2、会社名、部署名、氏名を入力し、 [選択改行]を押す

⑩

「あて名登録 O 1」

10-18|

必要に応じてカス
タマバーコードを
入力する

カスタマバーコードの項目で[変換スペース]を押す
と、郵便番号が自動的に入力されます。続けて住所部分を入力します。

参照☞P.97「カスタマバーコードについて」

⑪ 全項目入力後、[選択改行]を押す

「登録実行」と表示されます。

!!注意!!

登録実行中にACアダプタや電池を抜かないでください。あて名の内容がこわれる可能性があります。

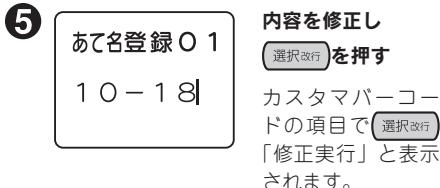
MEMO

- 未入力の項目があっても登録できます。
- ネガ文字があるときは操作できません。
- 番号は数字ボタンでも選択できます（手順④）。
- 項目入力中に[選択改行]を押すと、カーソルが次の項目へ移動します。カスタマバーコードの項目で[選択改行]を押すと、あて名を登録できます。
- 操作を途中でやめるときは[削除取消]または[ファイル]を押し、操作を戻します。
- たくさんの文章をファイルしていたり、あて名を登録していると、登録できるあて名の件数が少なくなります。データがいっぱい登録できない場合は「メモリー満員」と表示されます。不要なファイルやあて名、名前を削除してください。

あて名を修正する

① [ファイル] を押す

② 「あて名」を選び [選択改行] を押す



MEMO

項目入力中に [選択改行] を押すと、カーソルが次の項目へ移動します。カスタマバーコードの項目で [選択改行] を押すと、あて名を登録できます。

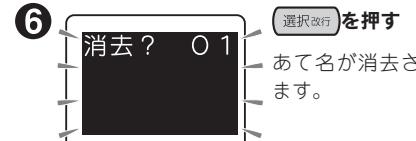
MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- 番号は数字ボタンでも選択できます（手順④）。
- 操作を途中でやめるときは、[削除取消] または [ファイル] を押し、操作を戻します。

あて名を消去する

① [ファイル] を押す

② 「あて名」を選び [選択改行] を押す

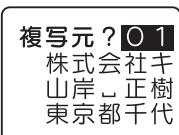


!! 注意 !!

消去したあて名は復活できません。

あて名を複写する

- ① [ファイル]を押す
- ② 「あて名」を選び、[選択改行]を押す
- ③ 

「複写」を選び、
[選択改行]を押す
- ④ 

複写元？ O 1
株式会社ヰ
山岸正樹
東京都千代

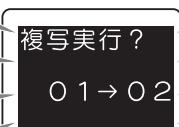
← ↑ ↓ →
で複写元の番号を選
び、[選択改行]を押す
- ⑤ 

複写確認 O 1
株式会社ヰ
山岸正樹
東京都千代

← ↑ ↓ →
内容を確認し、
[選択改行]を押す

← ↑ ↓ →
で文章を確認
できます。
- ⑥ 

複写先？ O 2

← ↑ ↓ →
で複写先の番号を選
び、[選択改行]を押す
- ⑦ 

複写実行？
O 1 → O 2

← ↑ ↓ →
内容を確認し、
[選択改行]を押す

← ↑ ↓ →
あて名が複写され
ます。

ファイル
[あて名]

活
用
編

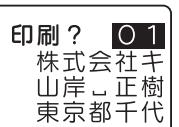
あて名ラベルを印刷する

- ① [ファイル]を押す
- ② 「あて名」を選び、[選択改行]を押す
- ③ 

「印刷」を選び、
[選択改行]を押す
- ④ 

あて名印刷
一部
全部

← ↑ ↓ →
印刷する範囲を選
び、[選択改行]を押す

一部：1件のみ印刷
全部：すべてを印刷
- ⑤ 

印刷？ O 1
株式会社ヰ
山岸正樹
東京都千代

← ↑ ↓ →
で番号を選び
[選択改行]を押す

あて名が印刷され
ます。

!! 注意 !!

カスタマバーコード付きのあて名ラベルを印
刷するときは、バーコードリーダーで読み取
りやすい白ラベルに黒文字のテープで作成す
ることをおすすめします。

MEMO

あて名印刷時は、「御中」または「様」が自
動的に付きます。あて名登録時に氏名を入力
しないと、会社名または部署名の後ろに「御
中」が、氏名まで入力すると氏名の後ろに「様」
が付きます。

MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- 番号は数字ボタンでも選択できます（手順④）。
- 操作を途中でやめるときは[削除取消]または[ファイル]を押し、操作を戻します。

カスタマバーコードについて

郵便局では、郵便番号とあて名を合わせた情報からバーコードを作成し、処理していますが、差出し側があらかじめバーコードを印刷することもできます。このバーコードを「カスタマバーコード」といいます。

本機では、郵便番号と住所表示番号を入力するだけで、「カスタマバーコード」を印刷することができます。

MEMO

- ・「カスタマバーコード」は印刷する義務はありません。
- ・「カスタマバーコード」は7桁郵便番号時のご利用いただけます。
- ・「カスタマバーコード」、「カスタマバーコード割引き制度」などの利用についての詳細は、お客様の配達を受け持つ郵便局におたずねください。

カスタマバーコード指定の基本ルール

カスタマバーコードを印刷する場合、「あて名登録」の「カスタマバーコード（）」欄に「郵便番号」+「住所表示番号」を入力します。基本ルールを以下に示します。

例：千葉県鎌ヶ谷市右京塚

東3丁目20-5 鈴木・A&b コーポB604号

① 住所データを次のAとBの部分に分割する

住所A：「郵便番号」で指定される町域名まで
住所B：町域名以降の住所

② 住所Aを郵便番号に置き換える

（「-」（ハイフン）は省略）

③ 住所Bにあるアルファベットの小文字は大文字に置き換える

④ データ内にある以下の文字は取り除き、後ろのデータを詰める

「&」（アンパサンド）「/」（スラッシュ）「・」（中黒）「.」（ピリオド）

⑤ ③および④で処理したデータから、算用数字、ハイフンおよび連続していないアルファベットを抜き出す

⑥ 抜き出された文字の前にある下記の文字等は、ハイフン1文字に置き換える

「漢字」、「かな文字」、「カナ文字」、「漢数字」、「空白」、「2文字以上連続したアルファベット文字」

⑦ ⑥の置き換えで、ハイフンが連続する場合は1つにまとめる

⑧ 先頭がハイフンの場合は取り除く

⑨ アルファベットの前後にある（-）を取り除く

⑩ ②で処理したデータに⑨で処理したデータをつなげる

郵便番号	_____	住所B
XXX-XXXX	東3丁目-20-5 鈴木・A&b コーポB604号	
(②の処理)	XXXXXX	
(③の処理)	東3丁目-20-5 鈴木・A&b コーポB604号	
(④の処理)	東3丁目-20-5 鈴木ABコ-ボB604号	
(⑤の処理)	3 -20-5	B604
(⑥の処理)	東 丁目	鈴木ABコ-ボ
	「-」に置き換え	
(⑥の処理後)	-3-20-5-B604	
(⑦の処理)	-3-20-5-B604	
(⑧の処理)	3-20-5-B604	
(⑨の処理)	3-20-5-B604	
(⑩の処理)	XXXXXX3-20-5B604	

カスタマバーコードの記入例

- 漢数字が「丁目」「丁」「番地」「号」「地割」「線」「の」「ノ」の前にある場合は、住所Bとし、算用数字に変換して指定します。

例： 東京都青梅市河辺町十一丁目六番地一号 **例**： 北海道帯広市稻田町南七線西28

永井タワー601

郵便番号：xxx-xxxx

住所B：十一丁目六番地一号永井タワー601

バーコード [xxxxxxxx11-6-1-601]

郵便番号：xxx-xxxx

住所B：七線西28

バーコード [xxxxxxxx7-28]

- 連続していないアルファベットは指定しますが、算用数字に続くアルファベット1文字「F」（ビル等の階数表示の略）については指定しません。

もし、「F」以降に指定対象となるデータがある場合は、「F」はハイフンに置き換えます。

例： 茨城県日立市宮田町6丁目7-14

ABCビル2F

郵便番号：xxx-xxxx

住所B：6丁目7-14ABCビル2F

バーコード [xxxxxxxx6-7-14-2]

例： 茨城県日立市宮田町6丁目7-14

ABCビル2F201号室

郵便番号：xxx-xxxx

住所B：6丁目7-14ABCビル2F201号室

バーコード [xxxxxxxx6-7-14-2-201]

- アルファベットの前後にあるハイフンは取り除きます。また、アルファベットの前後にあるハイフンを取り除いた結果、アルファベットが2文字以上連続してもアルファベットは取り除きません。

例： 神戸市中央区港島中町9丁目7-6

南シティA棟1F1号

郵便番号：xxx-xxxx

住所B：9丁目7-6南シティA棟1F1号

バーコード [xxxxxxxx9-7-6A1-1]

例： 京都府綾部市青野町綾部6-7

LプラザB106

郵便番号：xxx-xxxx

住所B：6-7 LプラザB106

バーコード [xxxxxxxx6-7LB106]

- バーコードの合計桁数が20文字を超えた場合、以降の文字については切り捨てます。

例： 札幌市中央区南四条西29丁目1524-23

第2山瀬ハウス501

郵便番号：xxx-xxxx

住所B：29丁目1524-23第2山瀬ハウス
501

バーコード [xxxxxxxx29-1524-23-2-

MEMO

本機ではバーコードは20文字まで入力できます。

名前を登録する

名前データを登録します。名前は名前番号01～40(40件)の番号に順に登録します。

名前は、グループに登録し、1件だけで印刷することも、グループでまとめて印刷することもできます。

わたなべのりひろ
渡辺了洋

① [ファイル]を押す

「ファイル」メニューが表示されます。

②



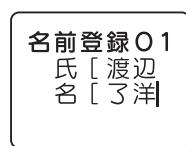
「名前」を選び、
[選択改行]を押す

③



「登録」を選び、
[選択改行]を押す

④



名前(氏と名)を
入力し、[選択改行]を
押す

各7文字まで入力で
きます。

⑤

ふりがな修正
[わたなべ
[のりひろ]]

ふりがなを確認し、
[選択改行]を押す

必要に応じてふり
がなを修正します。

⑥

グループ登録
グループ無
グループ1

登録するグループ
を選び、[選択改行]を
押す

グループに登録し
ない場合は「グルー
プ無」を選びます。

⑦

登録確認 0 1
渡辺了洋
わたなべのり
グループ無

内容を確認し、
[選択改行]を押す

「名前登録実行」と
表示されます。

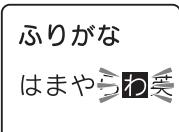
!! 注意 !!

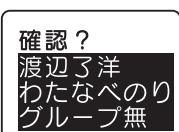
登録実行中にACアダプタや電池を抜かないでください。名前の内容がこわれる可能性があります。

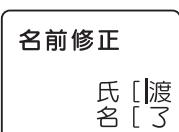
MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- 操作を途中でやめるときは、[削除取消]または[ファイル]を押し、操作を戻します。
- たくさんの文章をファイルに登録していたり、あて名を登録していると、登録できる名前の件数が少なくなります。データがいっぱい登録できない場合は「メモリー満員」と表示されます。不要なファイルやあて名、名前を削除してください。

名前を修正する

- ① [ファイル]を押す
- ② 「名前」を選び、[選択改行]を押す
- ③  「修正」を選び、
[選択改行]を押す
- ④  名前の1文字目の行
(あ行～わ行) を選
び、[選択改行]を押す

先頭文字がアルファベットのときは「英」、
かな・英数以外の場合は「他」を選択します。
- ⑤  で名前を選び、
[選択改行]を押す
- ⑥  内容を確認し、
[選択改行]を押す

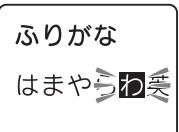
で文章を確認
できます。
- ⑦  内容を修正する

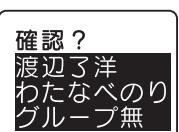
名前、ふりがな、
グループをそれぞ
れ修正します。

MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- 操作を途中でやめるときは、[削除取消]または[ファイル]を押し、操作を戻します。

名前を消去する

- ① [ファイル]を押す
- ② 「名前」を選び、[選択改行]を押す
- ③  「消去」を選び、
[選択改行]を押す
- ④  名前の1文字目の行
(あ行～わ行) を選
び、[選択改行]を押す

先頭文字がアルファベットのときは「英」、
かな・英数以外の場合は「他」を選択します。
- ⑤  で名前を選び、
[選択改行]を押す
- ⑥  内容を確認し、
[選択改行]を押す

で文章を確認
できます。
- ⑦  消去を確認し、
[選択改行]を押す
- ⑧  [選択改行]を押す

名前が消去されま
す。

!! 注意 !!

消去した名前は復活できません。

名前ラベルを印刷する

名前は、1件ごとのほか、グループごとや、全件まとめて印刷できます。

また、印刷時に「おこのみ印刷」を選ぶと、書体やラベルの長さ（定長）などを指定できます。

① [ファイル] を押す

② 「名前」を選び、[選択改行] を押す

③ 「名前」を選び、
[印刷] を選び、
[選択改行] を押す

④ 「名前印刷」
[一部]
[全部]

一部：1件のみ印刷

全部：すべての名前を印刷

グループ1/2：選択したグループ内のすべての名前を印刷

「全部」または「グループ」を選んだ場合は、ラベル指定の画面になります（手順⑧）。
「一部」の場合は次の手順で名前を選びます。

⑤ 「ふりがな」
[はまやうわ] を選ぶ
名前の1文字目の行
(あ行～わ行) を選び、
[選択改行] を押す

先頭文字がアルファベットのときは「英」、
かな・英数以外の場合は「他」を選択します。

⑥ ふりがな
さわだけん
わたなべの
わたらいさ
で名前を選び、
[選択改行] を押す

名前のふりがなが5文字まで表示されます。

⑦ 確認？
渡辺了洋
わたなべのり
グループ無
内容を確認し、
[選択改行] を押す

⑧ ラベル指定
おまかせ
おこのみ
そのまま印刷する
場合は「おまかせ」
を選び、[選択改行] を
押す

「おこのみ」を選ぶと、定長印刷、書体、飾り字、ふりがなの有無が指定できます。

⑨ 「印刷実行？」を選
び、[選択改行] を押す
名前ラベルが印刷
されます。

MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- 操作を途中でやめるときは、[削除取消] または [ファイル] を押し、操作を戻します。

!! 注意 !!

4mm幅テープでは「ふりがな」が入力されていても、名前1行のラベルが印刷されます。

9mm幅テープ（「ふりがな」あり） 9mm幅テープ（「ふりがな」なし） 4mm幅テープ

わたなべのりひろ
渡辺了洋

渡辺了洋

渡辺了洋

変換できない語句を登録する（辞書の登録）

難しい人名や熟語など一度に漢字変換することが難しい「語句」を辞書登録しておくと、通常の漢字変換と同じ操作で、簡単に変換できます。辞書には、最大30個登録できます。

例：「特許出願書（とっきょしゅつ）」を登録する

① [ファイル]を押す

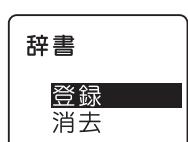
「ファイル」メニューが表示されます。

②



「辞書」を選び、
[選択改行]を押す

③



「登録」を選び、
[選択改行]を押す

④

辞書登録①

← ↑ ↓ →
で番号を選び、
[選択改行]を押す

⑤

辞書登録①

特許出願書】

語句を入力し、
[選択改行]を押す

⑥

辞書登録①

出願書】

きょしゅつ】

読みをひらがなで
入力し、[選択改行]を
押す

「読み」はひらがなのみ入力できます。

語句が登録されます。

ファイル

辞書

活

用

編

MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- 操作を途中でやめるときは、[削除取消]または[ファイル]を押し、操作を戻します。
- 登録できる「語句」の文字数は5文字以内、「読み」の文字数は16文字以内です（濁音、半濁音は2文字分）。入力できる文字数を超えると、超えた分は自動的に文末から削除されます。
- 登録済みの辞書と同じ「語句・読み」で登録しようとすると、「辞書にあり！」と表示され、登録できません。違う「語句・読み」を入力してください。
- 辞書登録では文章書式・段落スタイル・文字モード・連番・バーコードの登録はできません。
- 辞書には漢字だけでなく、記号・外字・英数字・英記号も登録できます。

語句を呼び出す

登録した語句は、通常の漢字変換と同じように呼び出すことができます。

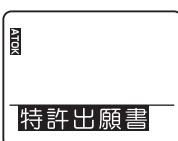
①



「とっきょしゅつ」
を入力し、[変換スペース]
を押す

辞書登録した語句
が変換候補として
表示されます。

②



ATOK

特許出願書

「特許出願書」に
なっている状態で、
[選択改行]を押す

「特許出願書」が確
定されます。

辞書の語句を修正する

例：「読み」の「とっきよしゅつ」を「とくしゅつ」に変える

① [ファイル] を押す

② 「辞書」を選び、[選択改行] を押す

③ 「登録」を選び
[選択改行] を押す

登録
消去

④ 辞書登録 O 1

特許出願書
とっきよし

で番号を選び、

[選択改行] を押す

登録した語句が表示されます。

⑤ 辞書登録 O 1
特許出願書]
とくしゅつ

内容を修正し、

[選択改行] を押す

修正した辞書が登録されます。

辞書の語句を消去する

① [ファイル] を押す

② 「辞書」を選び、[選択改行] を押す

③ 「消去」を選び、
[選択改行] を押す

辞書
登録
消去

④ 消去？ O 1

特許出願書
とくしゅつ

で番号を選び、
[選択改行] を押す

⑤ 消去確認 O 1

語句 [特
読み [と

内容を確認し、
[選択改行] を押す
で文章を確認できます。

⑥ 消去実行？

[選択改行] を押す

辞書が消去されます。

!! 注意 !!

消去した辞書の語句は復活できません。

MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- 操作を途中でやめるときは、[削除取消] または [ファイル] を押し、操作を戻します。

ファイル

[辞書]

活用編

外字を使う

自分でデザインしたマークや会社のロゴ、対応していない漢字や内蔵されていない文字、記号は、外字として登録すると、文中に入力し印刷できます。

外字は正方形です。横長のロゴタイプなどは複数の外字に切り分けて登録し、「文字モード」で文字間を「密着」に指定すると、つながったロゴとして印刷できます。

外字2つに分けて登録（文字間「ふつう」）



文字間「密着」



記号
[外字]

MEMO

- 外字は4文字まで登録できます。
- データ転送ソフト「DATAメモリーシステム SDM9」を利用すると、パソコンで外字を作成、編集できます。

概要

外字を登録するときは、1つの外字について、16・24・32・48ドットの4段階の大きさの字形データを作成します。これは、複数の文字サイズを美しく印刷するためです。

ただし、4段階すべての外字を始めから作る手間をなくすため、最初に16ドットのデータを入力すると、これをもとに自動的に拡大して24・32・48ドットの字形データを作り、あとから細部を補正して作るしくみになっています。

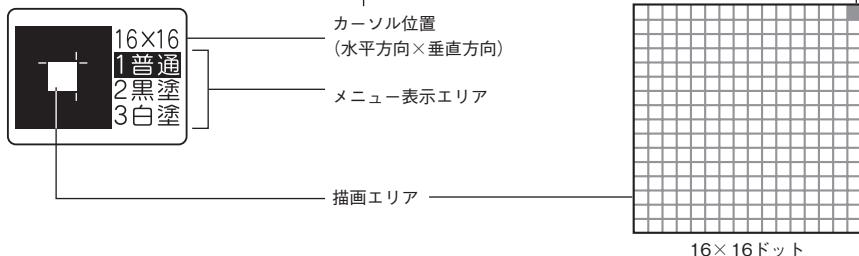
活
用
編

画面表示と描画方法

外字の作成は、方眼紙のマス目を埋めていくような作業です。画面に表示された描画エリアを方眼紙に見立て、点（ドット）を塗りつぶしていきます。

画面表示

(例：16ドット)



描画方法（メニュー表示エリアで選択）

描画方法（メニュー）には、1ドットずつ塗りつぶす「普通」のほか、ブロックで黒く塗りつぶす「黒塗」、ブロックで白く塗りつぶす「白塗」（=消去）があり、それぞれ数字ボタン①/②/③で選択します。

メニュー	描画方法	手順
普通	1つ1つの点（ドット）ずつ塗りつぶす	<p>① ①を押す。 メニュー「1普通」がネガ表示されます。</p> <p>② で塗りつぶすドットにカーソルを移動する。</p> <p>③ シフトを押す。 カーソル位置が黒く塗りつぶされます。もう一度押すと、白く塗りつぶされます。</p>
黒塗	広い範囲のブロックを黒く塗りつぶす 指定範囲	<p>① ②を押す。 メニュー「2黒塗」がネガ表示されます。</p> <p>② で塗りつぶす範囲の一方の頂点にカーソルを移動する。</p> <p>③ シフトを押す。</p> <p>④ で対角線上のもう一方の頂点にカーソルを移動する。</p> <p>⑤ シフトを押す。手順②と④で指定した範囲全体が黒く塗りつぶされます。</p>
白塗	広い範囲のブロックを白くする（消す） 指定範囲	<p>① ③を押す。 メニュー「3白塗」がネガ表示されます。</p> <p>② 塗りつぶす範囲の一方の頂点にカーソルを移動する。</p> <p>③ シフトを押す。</p> <p>④ で対角線上のもう一方の頂点にカーソルを移動する。</p> <p>⑤ シフトを押す。手順②と④で指定した範囲全体が白く塗りつぶされます。</p>

外字を作成し、登録する

例：外字番号「2」に「日」を登録する

① [記号]を押す

「記号」メニューが表示されます。

② 記号 外字 [選択改行] を押す

「外字」を選び、
[選択改行]を押す

③ 記号 外字 [選択改行] を押す

「登録」を選び、
[選択改行]を押す

④ 登録 で番号を選び、 [選択改行]を押す



で番号を選び、
[選択改行]を押す

⑤ 16×16のデータ を描画する



シフトと
で描画します。

参照 P.105「画面表示と描画方法」

⑥ 16ドットの描画が終わったら、[選択改行]を押す

16ドットのデータをもとに、24・32・48ドットのデータが自動的に拡大作成されます。

⑦ 24・32・48ドットのデータを補正する



手順⑤と同様の操作で、拡大されたデータを補正します。[選択改行]を押すと、次のサイズの描画に移ります。

!! 注意 !!

24～48ドットすべてのデータを補正しないと、きれいに印刷されません。

⑧ 48ドットの描画が終わったら、[選択改行]を押す

「外字登録完了」と表示されます。

MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- 操作を途中でやめるときは、[削除取消]または[記号]を押し、操作を戻します。
- 外字データの作成、修正をしているときは、オート・パワーオフ機能はたらきません。

!! 注意 !!

外字作成中に電源を切ると、作成中の外字は削除されます。

外字を修正する

例：外字番号「2」の48ドットデータを修正する

① [記号] を押す

② 「外字」を選び、[選択改行] を押す

③ 記号 外字 「修正」を選び、
修正 [選択改行] を押す

④  修正 2
で番号を選び、
[選択改行] を押す
16ドットの描画画面が表示されます。

⑤  48×48
1普通
2黒塗
3白塗
48ドットの描画画面が表示されるまで [選択改行] を押す

⑥ 48ドットのデータを修正する

参照☞P.105「画面表示と描画方法」

⑦ [選択改行] を押す

外字が修正されます。

MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- 番号は数字ボタンでも選択できます（手順④）。
- 操作を途中でやめるときは、[削除取消] または [記号] を押し、操作を戻します。
- 外字データの作成、修正をしているときは、オート・パワーオフ機能ははたらきません。

外字を呼び出す

① [記号] を押す

② 「外字」を選び、[選択改行] を押す

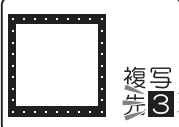
③ 記号 外字 「呼出」を選び、
呼出 [選択改行] を押す

④  呼出 2
で番号を選び、
[選択改行] を押す
カーソル位置に外字が入力されます。

記号
[外字]

活用編

外字を複写する

- ① [記号] を押す
- ② 「外字」を選び、[選択改行] を押す
- ③ 記号
外字
複写
「複写」を選び、
[選択改行] を押す
- ④  複写元 2
← ↑ ↓ →
で複写元の番号を
選び、[選択改行] を押
す
- ⑤  複写先 3
← ↑ ↓ →
で複写先の番号を
選び、[選択改行] を押
す
- ⑥  複写元 2
↓
複写先 3
内容を確認し、
[選択改行] を押す
外字が複写されま
す。

記号
[外字]

外字を消去する

- ① [記号] を押す
- ② 「外字」を選び、[選択改行] を押す
- ③ 記号
外字
消去
「消去」を選び、
[選択改行] を押す
- ④  消去 2
← ↑ ↓ →
で番号を選び、
[選択改行] を押す
- ⑤  消去 2
内容を確認し、
[選択改行] を押す
外字が消去されま
す。

!! 注意 !!

消去した外字は復活できません。消去された外字が文章などに使われていた場合、その外字は空白として印刷されます。

MEMO

- ・ネガ文字があるときは操作できません。
- ・番号は数字ボタンでも選択できます（手順④）。
- ・操作を途中でやめるときは、[削除取消] または [記号] を押し、操作を戻します。
- ・外字データの作成、修正をしているときは、オート・パワーオフ機能はたらきません。

活用編

外字を参照作成し、登録する

参照登録・参照修正は、本機で入力できる文字や記号のデータから外字を作成します。

●参照登録

テキストの文字（記号）を呼び出し、16ドットを修正します。修正された16ドットの文字（記号）を自動拡大（24→32→48ドット）しながら外字を作成します。

●参照修正

テキストの文字（記号）を呼び出し、16・24・32・48ドットの各サイズでテキストの文字（記号）を呼び出しそれぞれ修正し、外字を作成します。

基本の操作は外字の登録、修正と同じように操作しますが、参照登録・参照修正の場合は、はじめにテキスト画面に参照したい文字（記号）を入力しておきます。

例：「記号」の「生き物」の「❀」にヒゲをつけて「❀」にする

①

参照する文字（記号）を入力し、カーソルをその後ろ（右側）に合わせる

MEMO

- 連番、バーコード、編集記号、半角スペース、外字、イラストは参照できません。
- 参照できる文字は、テキスト画面でカーソルの左側にある1文字だけです。

②

③ 「外字」を選び、を押す

④

記号 外字 「参照登録」または
参考登録 「参照修正」を選び、
を押す

⑤

参照
登録
③

で番号を選び、
を押す

⑥

16×16
1普通
2黒塗
3白塗

データを修正する

参照文字が16ドットで表示されるので、これをもとに修正します。

参照 P.105「画面表示と描画方法」

⑦ 16ドットの描画が終わったら、を押す

自動的に拡大作成されます。

⑧ 24・32・48ドットのデータを補正する

を押すと、次のサイズの描画に移ります。

⑨ 48ドットの描画が終わったら、を押す

「参照登録完了」と表示されます。

MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- 操作を途中でやめるときは、またはを押し、操作を戻します。
- 外字データの作成、修正をしているときは、オート・パワーオフ機能はたらきません。

読みのわからない漢字を入力する

「読み」のわからない漢字は、漢字検索機能で部首の読み・画数による検索や、コードによる入力ができます。入力できるコードの種類は区点コード、JISコード、シフトJISコードです。

MEMO

本書には区点コード表を掲載しております。部首、JISコード、シフトJISコードをお使いになるときは、市販の辞書もしくはコード表をご参照ください。

参照☞P.160「漢字変換表」

シフト
+
記号
〔漢字検索〕

活用編

漢字検索メニュー一覧

〔シフト〕を押しながら〔記号〕(=漢字検索)を押すと以下のメニューが表示されます(〔太字〕は購入時の初期設定値です)。

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢	次の選択肢
漢字検索 コード▶ 句点コードを入力して漢字を呼び出します。 参照☞P.111	コード検索▶ コード	漢字検索	
部首読み▶ 部首の読みで漢字を検索します。 参照☞P.112	部首読み▶ 読み	部首選択▶	漢字検索
部首画数▶ 部首の画数で漢字を検索します。 参照☞P.112	部首画数▶ 画数	部首選択▶	漢字検索

コードで入力する

「読み」のわからない漢字を、コードで入力できます。

入力できるコードの種類は区点コード、JISコード、シフトJISコードです。

MEMO

本書には区点コード表を掲載しております。JISコード、シフトJISコードをお使いになるときは、市販の辞書などを参照してください。

参照☞P.160「漢字変換表」

例：「お休み處」と入力する

① ❶お休み

ネガ文字がないことを確認する

② 入力したい漢字「處」のコードを調べる

コードの種類は区点コード、JISコード、シフトJISコードのいずれでもかまいません。
處…4961(区点コード)

参照☞P.160「漢字変換表」

③ シフトを押しながら〔記号〕(＝漢字検索)を押す

「漢字検索」メニューが表示されます。

④ 漢字検索

コード
部首読み

「コード」を選び、

〔選択改行〕を押す

⑤



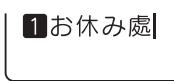
コードを入力する

❷、❸、❹、❺を押します。

最後の数字を押すと、コードに対応した漢字の候補が表示されます。

コードを入力すると、目的の文字以外の文字も表示されることがあります。例えば4961は区点コードでは「處」ですが、JISコードでは「普」です。このように異なるコードにも対応した漢字があるときは、候補が複数表示されます。

⑥



「處」を選び、
〔選択改行〕を押す

カーソル位置に「處」が入力されます。

MEMO

- ・ネガ文字があるときは操作できません。
- ・操作を途中でやめるときは、〔削除取消〕または〔記号〕を押し、操作を戻します。
- ・コードの入力を間違えたときは〔削除取消〕を押して入力しなおしてください。

部首による漢字検索

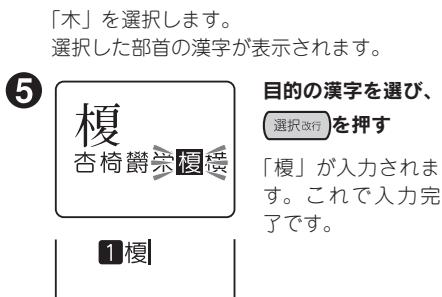
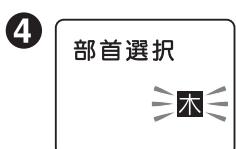
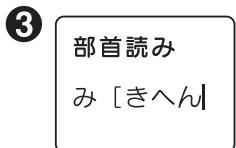
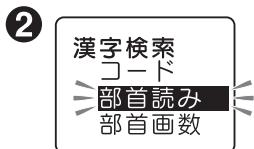
漢字を部首の読みや画数で検索し、入力できます。

例：「榎（えのき）」（部首：木）を入力する

部首の読みで検索する

- ① [シフト] を押しながら [記号] (=漢字検索) を押す

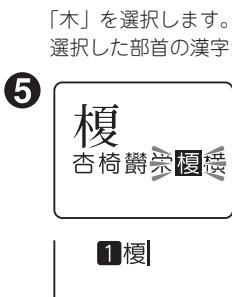
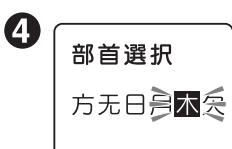
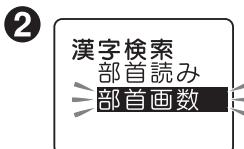
「漢字検索」メニューが表示されます。



部首の画数で検索する

- ① [シフト] を押しながら [記号] (=漢字検索) を押す

「漢字検索」メニューが表示されます。



MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- 操作を途中でやめるときは、[削除取消]または[記号]を押し、操作を戻します。
- 部首読みで入力できる読みは16文字までです。
- 部首画数で入力できる数字は1~23です。0もしくは24以上は入力できません。

連番やバーコードを印刷する

〔シフト〕を押しながら〔らく〕（＝連番・QR・バーコード）を押すと、連続番号やバーコードが入力できます。

連番・バーコードメニュー一覧

太字は購入時の初期設定値です。

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢	次の選択肢	次の選択肢
------	--------	-------	-------	-------

連番・バーコード 連続番号▶ 連続番号 連番の入ったラベルを作ります。 参照 P.114	1桁▶	× 行連番▶ 初期値	繰返し回数 1回 2回 3回 4回 5回 10回
	2桁▶		
バーコード▶ バーコード バーコードの入ったラベルを作ります。 参照 P.116	JAN-8▶	全体の幅▶ 小さめ ふつう 大きめ	
	JAN-13▶		
QRコード▶	用途▶ 一般 URL	セルサイズ▶ 大 中 小	誤り訂正率▶ 7% 15% 25% 30%
ITF NW-7▶	全体の幅▶ 小さめ ふつう 大きめ	細・太の比率▶ 2.0 2.5 3.0	C/D▶ あり なし
UPC-A UPC-E▶	全体の幅▶ 小さめ ふつう 大きめ		

シフト + ベル [連番・QR・バーコード]

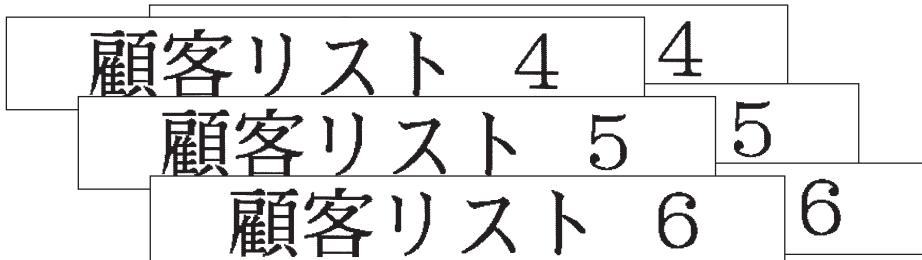
活用編

連番を印刷する

数字または英字の部分だけが異なる複数のラベルを作る場合、連続番号を指定すると、1枚印刷するたびに、自動的に加算して印刷します。

連続番号には「1桁」「2桁」があります。連続番号を印刷するときは、初期値と繰り返し回数（1、2、3、4、5、10回）を指定します。繰り返し回数では同じ数字を何回繰り返すかを指定します。

例：2桁連番で4、5、6…の入ったラベルを2枚ずつ作る



シフト + ブレイク [連番・QR・バーコード]

活用編

- ① 連番を入れる位置にカーソルを合わせる
- ② [シフト]を押しながら[左矢印]（＝連番・QR・バーコード）を押す
「連番・バーコード」メニューが表示されます。
- ③ 「連番・バーコード」
「連続番号」を選び、
[選択改行]を押す
- ④ 「連番」
「1桁」
「2桁」
「2桁」を選び、
[選択改行]を押す
- ⑤ 2桁連番
初期値 4
初期値に「4」を入力し、[選択改行]を押す
- ⑥ 繰り返し回数
1回
2回
3回
繰り返し回数「2回」を選び、[選択改行]を押す

連番（連番マーク²N+数値エリア「4」）が入力されます。

MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- 操作を途中でやめるときは、[削除取消]または[左矢印]を押し、操作を戻します。
- 初期値には、「1桁」の場合は英数字1桁、「2桁」の場合は数字を2桁まで入力できます。
テキスト画面での連番マークは、「1桁」が¹N、「2桁」が²Nになります。

⑦ [印刷]を押す

「4」の1枚目のラベルが印刷されます。

顧客リスト 4

⑧ [印刷]を押す

繰り返し回数「2回」を指定しているので、2枚目の「4」のラベルが印刷されます。

顧客リスト 4

印刷後、数値入力エリアの番号が加算され「5」になります。

⑨ [印刷]を押す

「5」の1枚目のラベルが印刷されます。

顧客リスト 5

以降、同様に繰り返します。

MEMO

- 連番の初期値に指定できるのは、「1桁」の場合は、数字の0～9とアルファベットのA～Z、a～zです。「2桁」の場合は、数字の0～9または00～99です。小数点やマイナスは指定できません。
- 「1桁」の場合、1、2、3、4…と9まで数字が1つずつ繰りあがります。英字の場合、A(a)、B(b)、C(c)、D(d)とアルファベット順に1つずつ繰りあがります。

「1桁」で数字の場合

1、2、3、… 8、9、0、1、…

「1桁」で英字の場合

A、B、C、… X、Y、Z、A、…

- 「2桁」の場合、1、2、3、4…と99（または、01、02、03、04…と99）まで数字が1つずつ繰りあがります。

「2桁」で初期値が1桁の場合

1、2、3、… 9、10、… 98、99、0、1、…

「2桁」で初期値が2桁の場合

01、02、03、… 09、10、… 98、99、00、01、…

- 1つの文章に入力できる連番は、バーコードと合わせて3個までです。
- 連番の初期値や繰り返し回数を変更する場合は、連番の直後（右側）にカーソルを合わせ、[シフト]+[←↑→]（=連番・QR・バーコード）を押してください。「連番・バーコード」メニューが表示されます。以降の指定方法は、入力手順と同じです。
- 連番を削除するときは、連番の直後（右側）にカーソルを合わせ、[削除取消]を押します。
- 連番（連番マーク¹、² + 数値エリア）にも、通常の文字と同様に、文字モード、段落スタイルの編集機能を指定できます。
- 連番指定された文章を連続印刷すると、連続番号の入ったラベルを枚数分印刷することができます。
参照☞P.121「同じラベルを連続して印刷する（ぞく²）」

バーコードを印刷する

各種規格に準じたバーコードを印刷することができます。

印刷できるバーコードの規格と指定できる項目

規格	全体の幅 小さめ/ふつう/大きめ	細・太の比率 2.0/2.5/3.0	C/D あり/なし
JAN-13・JAN-8 UPC-A・UPC-E	○	—	—
NW-7・ITF	○	○	○

太字は購入時の初期設定値です。

○：指定可能

－：指定不要

全体の幅：バーコード全体の幅

細・太の比率：細いバーと太いバーの太さの比率

C/D：チェックデジットの有無

!!注意!!

バーコードを作成する際は、そのバーコードの規則に従って入力してください。

例：「ITF」のバーコード（全体の幅大きめ、細・太の比率3.0、C/Dあり）を印刷する



① シフトを押しながら[らく] (=連番・QR・バーコード)を押す
「連番・バーコード」メニューが表示されます。

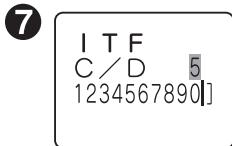
② 「連番・バーコード」を選択し、[選択改行]を押す
「バーコード」を選び、「[選択改行]」を押す

③ 「バーコード QRコード」を選択し、「[選択改行]」を押す
「ITF」を選び、「[選択改行]」を押す

④ 「大きめ」を選び、「[選択改行]」を押す
「全体の幅」、「ふつう」、「大きめ」が表示されます。
「細・太の比率」が表示されます。

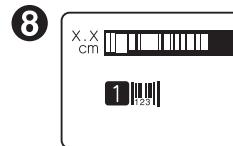
⑤ 「3.0」を選び、「[選択改行]」を押す
「細・太の比率」、「2.5」、「3.0」が表示されます。
「C/D」が表示されます。

⑥ 「あり」を選び、「[選択改行]」を押す
「C/D」、「あり」、「なし」が表示されます。
バーコードの数値入力画面になります。



⑦ 数値ボタンでバー^{コードの数値を入力する}

数値が表示されます。右上の網かけ部にはチェックデジットが自動的に発生します。
入力できる桁数は規格によって異なります。



⑧ [選択改行]を押す

テキスト画面に戻ります。カーソル位置にバーコードマーク (■) が表示されます。

MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- 操作を途中でやめるときは、[削除取消]または[戻し]を押し、操作を戻します。
- 1つの文章に入力できるバーコードは、連番と合わせて3個までです。
- バーコードはデータ量が多いため、ファイルに保存するとたくさんのメモリーを使用します。
- バーコードの数値を変更したり、規格などを変更する場合は、バーコードマーク (■) の直後（右側）にカーソルを合わせ、[シフト]+[らく] (=連番・QR・バーコード) を押してください。「連番・バーコード」メニューが表示されます。以降の指定方法は、入力手順と同じです。
- バーコードの数値を修正するときは、数値入力画面で、前の数字を削除してから新しい数字を入力してください。
- バーコードを削除するときは、バーコードマーク (■) の直後（右側）にカーソルを合わせ、[削除取消]を押します。
- バーコードマークにも、通常の文字と同様に、段落スタイル、文字モードの機能を指定できますが、反映されるものは以下のとおりです。

バーコードマークに反映される機能

書式	地紋印刷、定長印刷、余白
段落スタイル	外枠・表組、割付け
文字モード	囲み・網

- 印刷したバーコードは、ご使用になっているお手持ちのバーコードリーダーで読み取りの確認をしてからご使用ください。お手持ちのバーコードリーダーで読み取れない場合は、「全体の幅」や「細・太の比率」を調整し、再度確認してください。
- バーコードの印刷は、バーコードリーダーで読み取りやすい白地に黒文字のテープカートリッジをおすすめします。
- 規格によって入力できる桁数が異なります。ITFとNW-7は1~19桁です。
- ITFは偶数桁数のみの規格です。チェックデジットを「あり」に指定して偶数桁を入力した場合、または「なし」に指定して奇数桁を入力した場合は、1桁目にスペアコード (0) が自動的に発生します。
- UPC-Eのチェックデジットは数値入力画面やバーコードの数字には表示されません。
- NW-7は始めと終わりに「A, B, C, D」のいずれかを入力しなければ、作成したラベルをバーコードリーダーで読み取ることができません。
- バーコードのバーの長さ（線の部分）と数字の長さが一致しないことがあります、ご使用上問題はありません。

QRコードを印刷する

QRコードは2次元コードの一種で、漢字など通常のバーコードよりも多くの情報を入力できます。

例：携帯電話用の電話帳データ（名前、読み、電話番号など）

入力例「MECARD:N:山岸,正樹;SOUND:ヤマギシ,マサキ;TEL:0301234567;;」

（英数、記号は半角文字です。入力に必要な情報はお使いの携帯電話によって異なります。デザインフォームの「QR携帯1」～「QR携帯3」を参考にしてください。）



① シフトを押しながら[**らく**]（＝連番・QR・バーコード）を押す

② 「バーコード」を選び、[選択改行]を押す

③ バーコード
JAN-13
QRコード
ITF

④ 用途
一般 URL

⑤ セルサイズ
大 中 小

⑥ 誤り訂正率
7% 15%

⑦ 1行目の内容を入力する

QRコード

1行目 []

QRコード

URL [**h**]

一般：複数行が入力できます。

URL：「ABC入力【半角】」で1行のみ入力できます。あらかじめ「http://www.」が入力されています。

文字の上に線が付いて表示される英数字が半角文字です。

⑧ [選択改行]を押す

「一般」の場合は「改行」または「終わり？」の選択画面が表示されます。
「URL」の場合は入力完了です。

⑨ 終わり？
改行

次の行を入力する場合は「改行」を、終了する場合は「終わり？」を選び、[選択改行]を押す

QRコードマーク (QR) が入力されます。

MEMO

- 誤り訂正率とは、QRコードのよごれ、破損で読み取れなくなったデータを復元する能力です。誤り訂正率を上げると復元能力は向上しますが、QRコードのサイズが大きくなることがあります。
- QRコードでは、半角英数字が入力できます。[カット]を押して入力状態を「ABC入力【半角】」にしてください。用途が「URL」の場合は「ABC入力【半角】」のみとなります。文字の上に線が付いて表示される英数字が半角文字です。
- ネガ文字があるときは操作できません。
- 操作を途中でやめるときは、[削除取消]または[**らく**]を押し、操作を戻します。
- QRコードには一部記号も入力できます。入力画面で[記号]を押すことで呼び出せます。
- QRコードが大きい場合、「QRコード大」と表示され、印刷できません。幅の広いテープにする、通常テキストの行数を減らす、セルサイズを小さくする、QRコードの誤り訂正率を低くする、QRコードの文字数を減らす、などの変更をしてください。

MEMO

- QRコードの場合、テープ幅や設定項目により入力可能文字数が異なります。

QRコードの最大入力可能文字数：

文字サイズ	セルサイズ	誤り訂正率(%)	半角数字(1234…)	半角文字(abcd…)	全角(あいうえ…)
G	大	7	-	-	-
		15	-	-	-
		25	-	-	-
		30	-	-	-
	中	7	-	-	-
		15	-	-	-
		25	-	-	-
		30	-	-	-
	小	7	41	17	10
		15	34	14	8
		25	27	11	7
		30	17	7	4
U	大	7	-	-	-
		15	-	-	-
		25	-	-	-
		30	-	-	-
	中	7	41	17	10
		15	34	14	8
		25	27	11	7
		30	17	7	4
	小	7	230	106	65
		15	202	84	52
		25	144	60	37
		30	106	44	27
H	大	7	41	17	10
		15	34	14	8
		25	27	11	7
		30	17	7	4
	中	7	127	53	32
		15	101	42	26
		25	77	32	20
		30	58	24	15
	小	7	-	192	118
		15	230	152	93
		25	230	108	66
		30	202	84	52

- 4mm、6mm、9mm幅テープにはQRコードを印刷できません。
- 1つの文章に入力できるQRコードは2個までです。また、1つの文章に入力できるバーコード(QRコードを含む)は、連番と合わせて3個までです。
- 文字サイズインジケーターのG～H部分が点滅している場合、「QRコード大」が表示され、印刷できません。以下の操作をおこなってください。
 - QRコードの誤り訂正率を低くする。
 - QRコードの文字数を減らす。
- コードの内容やセルサイズ、誤り訂正率を変更する場合は、QRコードマーク(回路)の直後(右側)にカーソルを合わせ、[シフト]を押しながら[←↑↓→](=連番・QR・バーコード)を押してください。「連番・バーコード」メニューが表示されます。以降の指定方法は作成操作と同じですが、「用途」やバーコードの規格を変更すると、入力されていたコードの内容は失われます。
- QRコードの情報量によっては、印刷履歴に記録されないことがあります。

特殊な印刷（ぞく²、でか²）

【ぞくでか】を押すと、連続印刷、拡大印刷、鏡文字印刷などの特殊な印刷を指定できます。

特殊印刷メニュー一覧

太字は購入時の初期設定値です。

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢
特殊印刷		
連続印刷	止めるまで しない	
	2枚ぞく ²	
	3枚ぞく ²	
	:	
	:	
	100枚ぞく ²	
拡大印刷	しない	
	2倍でか ²	
	3倍でか ³	
	4倍でか ⁴	
鏡文字印刷	する しない	
印刷実行？		

ぞく
で
か

活
用
編

同じラベルを連続して印刷する（ぞく²）

同じラベルを指定した枚数分だけ続けて印刷します。

例：同じラベルを3枚連続して印刷する

① 文章を入力し、**ぞく^{でか}**を押す

「特殊印刷」メニューが表示されます。

②

特殊印刷

連続印刷

拡大印刷

「連続印刷」を選び、

選択実行を押す

③

連続印刷

2枚ぞく²

3枚ぞく²

4枚ぞく²

「3枚ぞく²」を選び、

選択実行を押す

「特殊印刷」メニューに戻ります。

④

特殊印刷

鏡文字印刷

印刷実行？

「印刷実行？」を選び、**選択実行**を押す

印刷が開始されます。

1枚目の印刷が終了するとテープがカットされ、同様に2枚目、3枚目が印刷されます。

!! 注意 !!

- 特殊印刷は「特殊印刷」メニューの「印刷実行？」を選択したときのみ実行されます。**印刷**ボタンでは通常の印刷がおこなわれます。
- 連続印刷をするときは、テープ取出し口付近にラベルがたまらないように注意し、こまめにラベルを取り除いてください。テープ取出し口付近にラベルをためておくと、同じラベルを再度カットするおそれがあります。
- 印刷途中でテープが終了しても、指定した枚数分の印刷カットをおこないます。刃の磨耗を防ぐため、印刷途中でテープが終了した場合は、**削除取消**を押して印刷を中止してください。

MEMO

- 操作を途中でやめるときは、**削除取消**または**ぞく^{でか}**を押し、操作を戻します。
- 「連続印刷」メニューの「止めるまで」を選択した場合、最大100枚まで印刷を続けます。印刷を停止したいときは、いずれかのボタンを押してください。
- 指定した枚数のラベルの全長が16mを超える場合は印刷できません。枚数を減らすか、文字数を減らすなどしてラベルの長さを短くしてください。
- 連番指定された文章を連続印刷すると、連続番号の入ったラベルが枚数分印刷されます。例えば、初期値「1」繰り返し回数1回の連番を3枚連続して印刷すると、「1」「2」「3」というラベルが連続して印刷されます。

参照／P.114「連番を印刷する」

ぞく^{でか}

活
用
編

テープ幅より大きなラベルを作る（でか²）

印刷内容を2倍、3倍、4倍に拡大し、部分ごとに分けて印刷することでテープ幅より大きなラベルが作れます。できあがったラベルは貼り合わせて使用してください。

「2倍でか²」なら上下2枚で1組、「3倍でか³」なら上中下3枚で1組のラベルになります。
大きさを指定したあとに、「1/2」「1/3」などを選ぶと、1組のうちの該当する部分の1枚だけを印刷できます。

●拡大印刷の種類（サンプルは12mm幅のラベルです）

印刷ボタンによる

通常の印刷



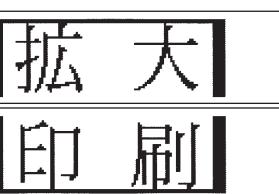
2倍でか²

2倍拡大

2/2- 2/2

1/2

1/2



3倍でか³

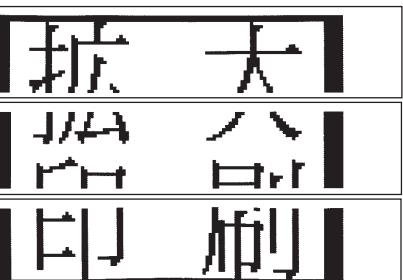
3倍拡大

3/3- 3/3

1/3

1/3

1/3



4倍でか⁴

4倍拡大

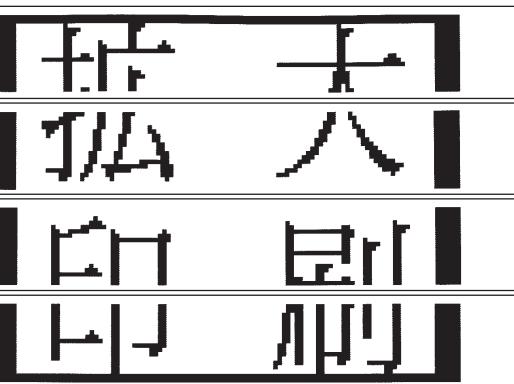
4/4- 4/4

1/4

1/4

1/4

1/4



例：3倍に拡大して印刷をする

① 文章を入力し、**ぞくでか**を押す

「特殊印刷」メニューが表示されます。

②

特殊印刷
連続印刷
拡大印刷
鏡文字印刷

「拡大印刷」を選び、
選択改行を押す

③

拡大印刷
2倍でか²
3倍でか³
4倍でか⁴

「3倍でか³」を選び、
選択改行を押す

④

3倍でか³
3 / 3
1 / 3

「3 / 3」を選び、
選択改行を押す

「3 / 3」が指定され、「特殊印刷」メニューに戻ります。

⑤

特殊印刷
鏡文字印刷
印刷実行？

「印刷実行？」を選び、
選択改行を押す

3枚1組のラベルが
1枚ずつ印刷されます。

⑥ テープを貼り合わせる



上下の余白をカッターなどで切り、貼り合
わせてください。

!! 注意 !!

特殊印刷は「特殊印刷」メニューの「印刷実行？」
を選択したときのみ実行されます。**印刷**ボ
タンでは通常の印刷がおこなわれます。

MEMO

- 操作を途中でやめるときは、**削除取消**または**ぞくでか**を押し、操作を戻します。
- 「拡大印刷」で作ったラベルを貼り合わせたとき、多少のズレが生じることがあります。
- 長い文章を「拡大印刷」で印刷しようとすると全長が16mを超えて印刷できないことがあります。ラベルの文字数を減らすか、文章の内容を2組に分けるなど指定をしなおしてください。
- 「拡大印刷」は通常の印刷内容を2倍、3倍、4倍にする機能です。そのため、定長印刷を指定した場合に「拡大印刷」をおこなうと、指定した長さの2倍、3倍、4倍のラベルが印刷されます。
- 画面に表示されるテープの長さは、通常の印刷時の長さです。「拡大印刷」で印刷すると、表示される長さの2倍、3倍、4倍の長さのラベルが印刷されます。

拡大印刷	テープ幅	テープ長さ	使用するテープ量
2倍でか ²	約2倍	約2倍	約4倍
3倍でか ³	約3倍	約3倍	約9倍
4倍でか ⁴	約4倍	約4倍	約16倍

例えば「3倍でか³」で印刷をおこなうと、
印刷ボタンによる通常の印刷に比べて、
幅が約3倍、長さが約3倍のラベルになる
ので、使用するテープ量は約9倍になります。

参考

カラフルな3倍でか³

「3倍でか³」の上中下をそれぞれ違う色の同じ幅のテープに印刷してカラフルなラベルを作ってみましょう。ただし違う色のテープで印刷をおこなうと、長さが若干異なる場合があります。また、テープカートリッジを入れ換える際にはテープをセットしたあとに、必ずテープ送りをおこなってください。

ぞく
で
か

活
用
編

鏡文字を印刷する

入力した文字を鏡像反転させて印刷します。

●鏡文字印刷

する（鏡像）



しない（正像）



① 文章を入力し、**[すべて]**を押す

「特殊印刷」メニューが表示されます。

②

特殊印刷

拡大印刷

鏡文字印刷

印刷実行？

「鏡文字印刷」を選

び、**[選択改行]**を押す

③

鏡文字印刷

する

しない

「する」を選び、

[選択改行]を押す

「特殊印刷」メニュー
に戻ります。

④

特殊印刷

鏡文字印刷

印刷実行？

「印刷実行？」を選

び、**[選択改行]**を押す

鏡文字ラベルが印
刷されます。

!! 注意 !!

特殊印刷は「特殊印刷」メニューの「印刷実行？」を選択したときのみ実行されます。
[印刷]ボタンでは通常の印刷がおこなわれます。

MEMO

操作を途中でやめるとときは、**[削除取消]**または**[すべて]**を押し、操作を戻します。

印刷設定

〔シフト〕を押しながら〔左下側〕 (=印刷設定) を押すと、自動カットの設定や印刷濃度を変更できます。

印刷設定メニュー一覧

太字は購入時の初期設定値です。

メニュー	最初の選択肢
印刷設定	
自動カット	する
自動カット 印刷時の自動カットの有無を設定します。 参照☞ P.126	しない
印刷濃度	-3
印刷濃度 印刷の濃さを設定します。 参照☞ P.127	ふつう
リセット	+3
リセット 自動カットと印刷濃度を初期設定値にします。 参照☞ P.127	実行?

シフト + 左下側
〔印刷設定〕

活用編

「自動カット」を設定する

本機は、印刷時にラベルを自動的にカットしますが「自動カット/しない」にも設定できます。

!! 注意 !!

本機のカッターでカットできない耐熱ラベル・アイロンラベル・マグネットテープ・りぼんを使う場合は、「自動カット/しない」にして印刷してください。

参照☞P.141「テープカートリッジを使いわける」

- ① [シフト]を押しながら[左矢印] (=印刷設定) を押す

「印刷設定」メニューが表示されます。

- ② 印刷設定
「自動カット」を選び、[選択改行]を押す

自動カット
印刷濃度

- ③ 「自動カット」
する
しない
「しない」を選び、
[選択改行]を押す

自動カットが無効に設定され、テキスト画面に戻ります。

以降の印刷は、すべて自動カットされません。カートリッジを取り出してハサミなどでカットしてください。

自動カットを有効にする場合は、手順③で「する」を選びます。

MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- 操作を途中でやめるときは、[削除取消]または[左矢印]を押し、操作を戻します。
- 「自動カット/しない」で印刷したラベルは、テープカートリッジを本機から取り出して、カートリッジ側にテープを3mm(りぼんの場合は10mm)程度残し、市販のハサミでまっすぐにカットしてください。
- 「自動カット/しない」の設定でも、「テープ送り」メニューの「送りカット」ではテープをカットすることができます。カット可能なテープに入れ替えた場合など、そのラベルのみ自動でカットしたいときは「送りカット」をおこなってください。

参照☞P.27「5.テープ送りをする」

- カッターは刃物ですので、長期間使い続けると磨耗し切れにくくなります。カッターの刃の交換は有償で承ります。お買い上げ販売店または当社お客様相談室までご相談ください。

参照☞巻末「アフターサービスについて」

- 自動カットは全文消去や電源OFFでは初期値に戻りません。この操作によって設定しなおすか、印刷設定のリセット、本機の初期化をおこなってください。

参照☞P.127「印刷設定をリセットする」

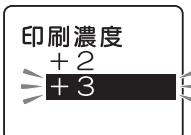
参照☞P.132「本機を初期化する」

シフト + ゼクでか
[印刷設定]

活用編

印刷濃度を調整する

印刷濃度は「-3～ふつう～+3」の7段階で設定できます。印刷が薄いときや濃いときに調整してください。通常は「ふつう」でご使用ください。

- ① **シフト**を押しながら**ぞくでか**を押す
「印刷設定」メニューが表示されます。
- ② 印刷設定
自動カット
印刷濃度
リセット
- ③ 印刷濃度
+2
+3
選択改行を押す

MEMO

- ・ネガ文字があるときは操作できません。
- ・操作を途中でやめるときは、**削除取消**または**ぞくでか**を押し、操作を戻します。
- ・本機は温度センサーを内蔵しており、印刷ヘッドの温度に合わせて印刷濃度が一定になるよう自動調整されます。
- ・印刷濃度を「ふつう」以外に設定すると、電池の消耗が激しくなったり、印字がツブレたりカスレたりすることがあります。また、まれにラベルの文字がはがれやすくなることがありますのでご注意ください。
- ・耐熱ラベルを使う場合や、上質紙ラベル・アイロン転写テープ・グレー文字ラベル・クラフトラベル（白文字）で印字がカスレた場合は「+3」に設定してください。
参照☞P.141「テープカートリッジを使いわける」
- ・印刷濃度は全文消去や電源OFFでは初期値に戻りません。この操作によって設定しなおすか、印刷設定のリセット、本機の初期化をおこなってください。
参照☞P.127「印刷設定をリセットする」
参照☞P.132「本機を初期化する」

印刷設定をリセットする

自動カットと印刷濃度の設定をご購入時の状態（初期設定値）に戻します。

- ① **シフト**を押しながら**ぞくでか**を押す
「印刷設定」メニューが表示されます。
- ② 印刷設定
印刷濃度
リセット
選択改行を押す
- ③ リセット
実行？
選択改行を押す

MEMO

- ・ネガ文字があるときは操作できません。
- ・操作を途中でやめるときは、**削除取消**または**ぞくでか**を押し、操作を戻します。

シフト + ゾクでか [印刷設定]

活用編

環境設定を変更する

環境設定メニュー一覧

〔シフト〕を押しながら〔復活〕(=環境設定)を押すと、画面の表示濃度や機能の保存値の設定を変更できます。

(太字は購入時の初期設定値です。)

メニュー

最初の選択肢

次の選択肢

シフト
+
復活
〔環境設定〕

活
用
編

環境設定	▶
表示濃度	▶
表示濃度 画面表示の濃さを 設定します。 参照☞P.129	-5 : ふつう : +5
保存値設定	▶
保存値設定 保存値を設定しま す。 参照☞P.131	地紋印刷 定長印刷 余白 縦・横 文字サイズ 割付け 外枠・表組 書体 飾り字 斜体・強調 伸・縮 囲み・網 文字間 終わり?
保存値復元	▶
保存値復元 保存値を初期設定 に戻します。 参照☞P.131	実行?

-5
:
ふつう
:
+5

地紋印刷
定長印刷
余白
縦・横
文字サイズ
割付け
外枠・表組
書体
飾り字
斜体・強調
伸・縮
囲み・網
文字間
終わり?

詳細な項目を設定
できます。設定方
法は、通常の文章
書式や文字モード
などと同じです。

ディスプレイの濃度を調整する

ディスプレイの表示濃度は「-5～ふつう～+5」の11段階で設定できます。ディスプレイの表示が見にくい場合は、次の手順で調整します。

- ① **[シフト] を押しながら [復活] (=環境設定) を押す**

「環境設定」メニューが表示されます。

- ② **環境設定**
「表示濃度」を選び、
[選択/戻行] を押す

表示濃度
保存値設定

- ③ **表示濃度**
+2
+3
+4
↑ ↓ で濃度
を調整し、
[選択/戻行]
を押す

初期設定値は「ふ
つう」に設定され
ています。

表示濃度が設定され、テキスト画面に戻り
ます。

MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- 操作を途中でやめるときは、[削除/取消] または [復活] を押し、操作を戻します。
- 表示濃度は、全文消去や電源 OFF では初期設定値に戻りません。この操作によって設定しなおすか、本機を初期化してください。
参照☞P.132「本機を初期化する」

各種の初期値（保存値）を設定する

「書体」や「余白」などの保存値を変更することができます。

本機では **書式**、**スタイル**、**モード** ボタンを使って、次のような機能を指定することができます。

ボタンの機能

ボタン	指定できる機能
書式	地紋印刷、定長印刷、余白
スタイル	縦・横、文字サイズ、割付け、外枠・表組
モード	書体、飾り字、斜体・強調、伸・縮、囲み・網、文字間

各機能を選ぶと、選択肢が表示されます。表示されたときに選ばれている選択肢が保存値です。よく使う「書体」や「余白」などが、ご購入時の保存値（「初期設定値」と呼びます）とは異なる場合、保存値を変更しておくと、文章を作るたびに **書式**、**スタイル**、**モード** ボタンで変更する必要がなくなります。

ラベルには保存値の内容が自動的に反映されるので、例えば、「縦・横」の保存値を「たて書き」に指定しておくと、通常（全文消去直後）は「たて書き」のラベルになります。

なお、変更した保存値は、保存値の復元によって、いつでも初期設定値に戻すことができます。

MEMO

- 各機能の初期設定値についてはP.59「メニュー一覧」を参照してください。
- 書式**、**スタイル**、**モード** ボタンでの指定内容は、全文消去をおこなうと保存値に戻ります。
- ファイルに登録された内容は、ファイル登録時の指定が反映されます。「印刷履歴」で呼び出した内容は、印刷時の指定が反映されます。

!!注意!!

保存値の設定を変更するときには、全文消去をする必要があります。

参照☞P.43「すべての文章を消去する」

保存値を変更する

- ① シフトを押しながら削除取消 (=消去) を押し、全文消去をおこなう

保存値の設定を変更するときには、全文消去をする必要があります。

参照☞P.43「すべての文章を消去する」

- ② シフトを押しながら復活 (=環境設定) を押す

「環境設定」メニューが表示されます。

- ③ 環境設定
表示濃度
保存値設定
保存値復元
- 「保存値設定」を選び、選択改行を押す

- ④ 保存値設定
外枠・表組
書体
飾り字
- 変更したい項目を選び、選択改行を押す

- ⑤ 漢字書体
明朝体
ゴシック
太ゴシック
- 保存値に設定したい選択肢を選び、選択改行を押す

各項目の設定方法は、通常の文章書式や文字モードなどと同じです。

参照☞P.55「ラベルの見栄えをよくする」

- ⑥ 保存値設定
文字間
終わり?
- 変更したいすべての項目の設定が終わったら、「終わり?」を選び、選択改行を押す

保存値が変更され、テキスト画面に戻ります。

MEMO

- 操作を途中でやめるときは、削除取消または復活を押し、操作を戻します。
- 手順③で「保存値復元」を選択すると、変更した保存値の設定を、ご購入時の保存値（初期設定値）に戻します。

シフト + 復活
[環境設定]

活用編

本機を初期化する

!!注意!!

- ・本機は電子機器のため、まれに静電気やその他の要因で不具合を起こすことがあります。
- ・不具合によって、表示が乱れたり電源のON/OFFができないなど、正常に動作しなくなった場合は、「本機の初期化」をおこなってください。
- ・初期化をすれば正常に使えるようになりますが、万一、初期化をおこなっても正常に動作しない場合には、お買い上げ販売店に修理を依頼してください。
なお、初期化や、修理、検査をおこなうと、ファイルのデータなど、すべての登録内容や学習内容が失われ、復元はできません。あらかじめご了承ください。

初期化とは

初期化の操作により、本機の設定がすべてご購入時の状態に戻ります。

初期化をおこなう前に、十分に確認してください。

内容	機能	初期化	保存値復元 (P.131)	全文消去 (P.43)	特殊フォーム での全文消去
入力	テキスト画面の文章	●	- *1	●	●
	特殊フォームの文章	●	-	●	●
	入力状態と小文字ロック	●	-	-	-
	「みえ?」の設定	●	-	-	-
データ	ファイルデータ	●	-	-	-
	あて名データ	●	-	-	-
	名前データ	●	-	-	-
	辞書データ	●	-	-	-
	外字データ	●	-	-	-
	印刷履歴	●	-	-	-
設定	自動カットの設定値	●	-	-	-
	印刷濃度の設定値	●	-	-	-
	表示濃度の設定値	●	-	-	-
	各種の保存値	●	●	-	-

●：ご購入時の状態に戻ります。

-：保持されます。

*1 初期設定値に戻す「保存値復元」をおこなうときには、全文消去をする必要があります。

初期化する

① を押して電源を切る

!! 注意 !!

を押しても電源が切れないときは、ACアダプタを抜いて電池も抜きます。次にもう一度ACアダプタを接続、または電池をセットし、再度を押して電源を入れます。
以降は手順①からの操作で初期化してください。

② ととを押しながらを押す









「本体初期化？」が点滅します。

!! 注意 !!

- 初期化をやめるときは以外のボタンを押してください。
- 本当に初期化しても大丈夫ですか？
今まで登録したファイルなど、あらゆるデータや学習内容が消去されます。初期化をおこなう前に、十分に確認してください。

③ を押す

「初期化 実行」と表示され、本機の初期化がおこなわれたあと、タイトル画面、ローマ字入力モードが表示され、テキスト画面になります。

表示の切り換え（みえ²）

本機では、入力した文章や印刷イメージ、できあがるラベルの長さや幅を確認しながら入力することができます。

〔みえ²〕を押すと、ディスプレイの表示が交互に切りわります。



<みえ¹> (初期設定値)

初期設定値では、入力した文章が3行まで表示されます。
印刷イメージのほか、ラベルの長さも表示されます。



<みえ²>

入力した文章が2行まで表示されます。おおまかな印刷イメージのほか、ラベルの長さや幅なども表示されます。



<みえ⁰>

入力した文章のみ4行表示されます。多行入力時などに便利です。



!!注意!!

- 〔みえ²〕で表示が切り換わるのは、テキスト画面のときだけです。メニュー画面や漢字変換候補の表示中は切り換わりません。
参照☞P.20「ディスプレイ（画面）の見かた」
- 広い幅のテープや入力した内容によっては、「みえ²」表示の反応が遅くなることがあります。

MEMO

- 〔シフト〕を押しながら〔みえ²〕を押すと、ディスプレイ全体に印刷イメージを流れるように表示します。
参照☞P.37「5.印刷イメージを確認する（プレビュー）」
- ディスプレイが見えにくいときは、表示濃度を調整することができます。
参照☞P.129「ディスプレイの濃度を調整する」

デモ印刷をする

本機が正しく動くかどうか、デモ印刷をして確認することができます。また、書体など本機の機能を参照することができます。

- The screenshot shows the Microsoft Word ribbon with the 'Delete' icon (a red square with a white 'X') highlighted in blue. The word 'Delete' is also highlighted in blue.

!!注意!!

デモ印刷をおこなう前には、全文消去をする
必要があります。

参照 P.43「すべての文章を消去する」

- ② **1 d e m o |** 「demo」と入力する
参照☞ P.35「2.英数字を入力する」

③ **シフト**を押しながら**変換スペース**を押す
デキ印刷がおこなわれます。

!! 注意 !!

- 4mm幅テープではデモ印刷できません。
 - ご使用中に「故障かな?」と思ったときは、このデモ印刷をおこなってください。デモ印刷が見本どおりに印刷されないとときは、お買い上げ販売店または当社お客様相談室までご相談ください。

参考／³巻末「アフターサービスについて」

MEMO

- 印刷を途中でやめるときは、**削除取消** を押します。
 - 印刷内容はテープ幅によって異なります。

見本

18mm幅テープ

6mm幅テープ

朝・ゴシック・太ゴシック・行書・歴書
れん・ハッピ・あしひ・てまり
/CR・BR・BL・ST・CL

明え書体 機器 QR
かしこく変換ATOK搭載
・オートリマ一搭載
・QBコードが印刷可能
時長

ラベルライターテープPRO

付録

メニュー一覧

各ボタンで表示される機能は、該当ページを参照してください。

ボタン機能名	表示される機能	参照ページ
〔シフト〕+〔印刷〕	テープ送り	P.140
〔ぞくでか〕	特殊印刷	P.120
〔シフト〕+〔ぞくでか〕	印刷設定	P.125
〔シフト〕+〔らく〕	連番・QR・バーコード	P.113
〔書式〕	文章書式	P.59
〔スタイル〕	段落スタイル	P.60
〔モード〕	文字モード	P.63
〔ファイル〕	ファイル・印刷履歴・あて名・名前・辞書	P.88
〔シフト〕+〔ファイル〕	フォーム	P.76
〔記号〕	記号	P.138
〔シフト〕+〔記号〕	漢字検索	P.110
〔シフト〕+〔復活〕	環境設定	P.128
〔シフト〕+〔削除取消〕	消去	P.140

記号メニュー一覧

〔記号〕を押すと、記号を入力できます（太字は購入時の初期設定値です）。

選択できる記号は、P.168「記号一覧表」を参照してください。

メニュー	選択肢
記号	記述 ▶ 省略 ▶ カッコ ▶ 矢印 ▶ ○△□☆ ▶ 単位 ▶ 算数 ▶ 数字 ▶

メニュー	選択肢
記号	数値選択
2桁数字 2桁の数字を1文字として入力します。 参照☞P.53	記号選択
公共表示 環境 荷物 警告用 仕事 スポーツ 遊び ビデオ 音楽 生き物 乗り物 食べ物 予定 暮らし シーズン 家族 干支 星座 ギリシャ 欧州 案内記号 編集 季節風景 お店 学校 建設 病院	イラスト
外字	POP 顔文字 お店 学校 建設 病院
	登録 修正 呼出 複写 消去 参照登録 参照修正

テープ送りメニュー一覧

〔**Shift**〕を押しながら〔**印刷**〕（＝テープ送り）を押すと、テープ送りや送りカットを実行できます
（太字は購入時の初期設定値です）。

メニュー

テープ送り

テープ送り
テープ送りを実行します。
参照☞P.28

テープ送り

送りカット

消去メニュー一覧

〔**Shift**〕を押しながら〔**削除取消**〕（＝消去）を押すと、文章全体または段落全体を消去できます（太字は購入時の初期設定値です）。

メニュー

消去

消去
文章または段落を消去します。
参照☞P.43、47

全文消去

段落消去

付

録

テープカートリッジを使いわける

使用するテープ種類に合わせて、下記の通り対応してください。

テープ種類	設定方法
オートカッター 使用禁止	①カッターの刃の摩耗を防ぐため、「自動カット」無効で印刷する。②本機からテープカートリッジを取り出す。③カートリッジ側にテープを3mm(りぼんの場合は10mm)程度残し、市販のハサミでまっすぐにカットする。 参照 P.126「「自動カット」を設定する」
オートトリマー 使用禁止	トリマーにラベルを差し込まない。
印刷濃度の調整 が必要	耐熱ラベル 印刷濃度を「+3」に設定して印刷する。
	上質紙ラベル・アイロン 転写テープ・グレー文字 ラベル・クラフトラベル (白文字) 印刷がカスレた場合、印刷濃度を「+3」に設定して印刷する。 参照 P.127「印刷濃度を調整する」
鏡文字の設定が 必要	アイロン転写テープ 鏡文字を「する」に設定して印刷する。 参照 P.124「鏡文字を印刷する」

テープカートリッジの詳しい使用方法は、テープカートリッジのパッケージおよび同梱されている取扱説明書をご覧ください。

!!注意!!

テープを本機にセットしたら、必ず一度「テープ送り」をしてテープやインクリボンのたるみを取ってください。

[参照](#) P.27「5.テープ送りをする」

MEMO

- アイロンラベル・アイロン転写テープをご使用の際は、アイロンをご用意ください。
- 熱収縮チューブをご使用の際は、工業用ドライヤーをご用意ください。
- マスキングテープ「mt」ラベルは素材の性質上、一般的な「テプラ」テープに比べ、印刷がカスレやすくなっています。本体の印刷濃度を変えることによりカスレ具合の調整は可能ですが、細かな文字や白抜き文字、網掛け、地紋の印刷などには不向きです。
- マスキングテープ「mt」ラベルはヘッド接触部のインクがテープに転写しないよう、印刷時以外は、カートリッジを本体から取り外してください。
- カットラベルは、本機では使用できません。

付

録

パソコンに接続して使う

本機は、USBケーブルでパソコンと接続して、パソコンからラベルのレイアウト編集をおこなうことができます。

※パソコンとの接続には市販のUSBケーブルが必要です（USB2.0/1.1ケーブル A-Bタイプ）。

Windows向けラベルソフト「テプラ クリエイター」に対応しています。

ラベルソフトおよびラベルソフト取扱説明書は本製品に同梱しておりません。当社ホームページ（<https://www.kingjim.co.jp/>）からダウンロードいただけます。なお、ダウンロードの際はインターネット環境が必要となります。

本書では、テキストや画像を自由にレイアウトしたり、「流し込み印刷」などの便利な機能をもった「テプラ クリエイター」のセットアップ手順を説明しています。

「テプラ クリエイター」の使用方法についての詳細は、当社ホームページ（<https://www.kingjim.co.jp/>）をご覧ください。

ラベルソフト、プリンタドライバをインストールする

以下のソフトをインストールします。

「テプラ クリエイター」	パソコンを利用して画像やイラストを挿入したり「流し込み印刷」などができる、ラベル編集ソフトです。
プリンタドライバ	パソコンから「テプラ」本体で印刷するために必要なソフトです。

インストールできるパソコンの条件（動作環境）は、当社ホームページ（<https://www.kingjim.co.jp/>）でご確認ください。

!!注意!!

USBケーブルで接続する場合、プリンタドライバのインストールが完了するまで「テプラ」本体をパソコンに接続しないでください。

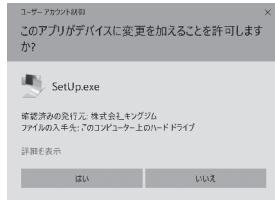
- ラベルソフトは本製品に同梱しておりません。当社ホームページ（<https://www.kingjim.co.jp/>）からダウンロードいただけます。なお、ダウンロードの際はインターネット環境が必要となります。
- 本機にはUSBケーブルは同梱されていません。市販のUSBケーブルをご使用ください（USB 2.0/1.1 ケーブルA-Bタイプ）。
- プリンタドライバをインストールしていない状態で「テプラ」本体をパソコンに接続して電源を入れると、[新しいハードウェアの追加] 画面が表示される場合があります。すぐに [キャンセル] をクリックし、パソコンから「テプラ」本体をはずしてください。
- 本項目は、「テプラ クリエイター」とプリンタドライバのインストールについて説明する内容になっており、Windowsやパソコンの操作については詳しく説明しておりません。また、Windowsやパソコンについて、最低限の操作（マウス操作やファイルの扱いなど）を習得されていることを前提にしておりますので、必要な場合はWindowsやパソコンの説明書をお読みください。
- 本プログラムをご使用になったうえでの故障や不具合、データ損失などにつきましては責任を負いかねますのでご了承ください。
- 1台のパソコンに同じ機種の「テプラ」本体を複数接続する場合、接続する台数分のプリンタドライバが必要になります。2台目以降のプリンタドライバは、別の「テプラ」本体を接続すると自動的にプリンタドライバのコピーが作成されます。このとき新たにインストールされたプリンタドライバの名前には「コピー」がつきます。
- 複数ユーザーで使用する場合はインストール後、一度ログオフしてから「別ユーザー」としてご使用ください。
- インストールの際は、ウィルス対策ユーティリティなどのプログラムを終了してからおこなってください。ラベルソフトが正常にインストールされない場合があります。

① パソコンの電源を入れ、Windows を起動する
起動しているソフトウェアがあれば終了してください。ウィルス対策ユーティリティなどのプログラムも終了してください。

② 当社ホームページ (<https://www.kingjim.co.jp/>) から「テプラ クリエイター」ソフトウェアをダウンロードする

③ ダウンロードしたファイルをデスクトップなどに保存し、ファイルを解凍したあと、表示されたフォルダ中の SetUp.exe ファイルを実行する
インストールプログラムが起動します。

[ユーザー アカウント制御] の画面が表示された場合は、[続行] または [はい] をクリックし継続してください。



MEMO

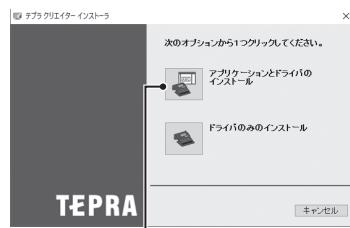
右の画面が表示されるときは、すでにラベルソフトまたはプリンタドライバがインストールされています。インストール項目を追加する場合は、[機能の追加/変更] で変更できます。

古いバージョンのラベルソフトがインストールされているときは、表示に従いアンインストールしてから本ソフトをインストールしてください。



④ [アプリケーションとドライバのインストール] をクリックする

プリンタドライバのみをインストールすることもできますが、ここでは、ラベルソフト、プリンタドライバの両方をインストールします。



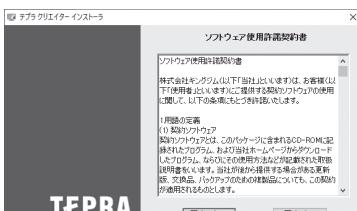
① クリック

MEMO

[ドライバのみのインストール] をクリックした場合は、手順⑤のあと、手順⑨に進みます。

⑤ ソフトウェア使用許諾契約の内容を確認して同意する場合は [同意する] をクリックする

同意しない場合は [同意しない] をクリックしてください。インストールは中止されます。



① クリック

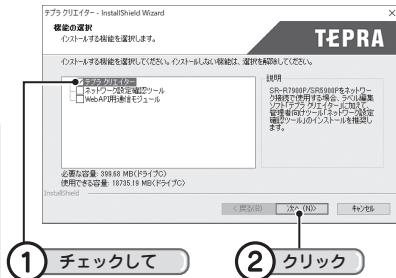
⑥ 「テプラ クリエイター」をチェックし [次へ] をクリックする

インストールが開始されます。

MEMO

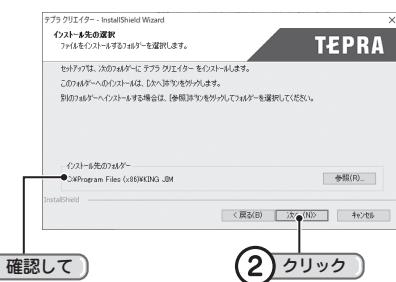
「ネットワーク設定確認ツール」のインストールは、本機では不要です。

「WebAPI用通信モジュール」は外部のWebアプリケーションと連携する場合に選択してください。あとから追加でインストールすることもできます。



⑦ インストール先を確認し、[次へ] をクリックする

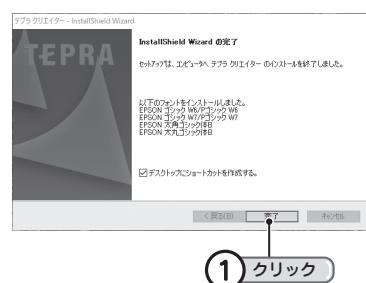
インストール先を変更する場合は [参照] をクリックすると変更できます。



⑧ 必要な項目をチェックし [完了] をクリックする

ラベルソフトのインストールが終了すると、インストールされたフォント一覧とショートカットの作成を確認する画面が表示されます。

続いてプリンタドライバのインストールに進みます。



!! 注意 !!

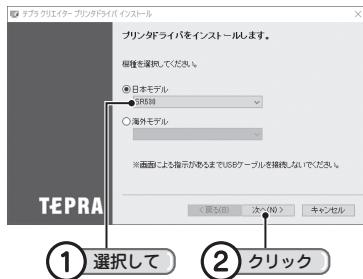
お使いのパソコンの環境によって、プリンタドライバのインストール画面が表示されるまでに時間がかかる場合があります。表示されるまで、しばらくお待ちください。

付

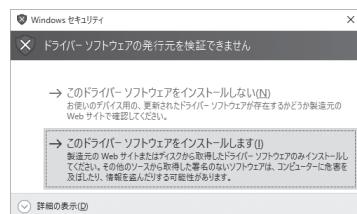
録

9 機種を選択し、[次へ] をクリックする

右側の [▼] をクリックして表示されるリストから SR530 を選択します。



「Windows セキュリティ」の画面が表示された場合は、「このドライバソフトウェアをインストールします」をクリックし継続してください。



10 [完了] をクリックする

インストールが終了します



!! 注意 !!

- ドライバインストール後に「テプラ」本体をパソコンに接続せずにラベルソフトを起動させると、「テプラ」本体がラベルソフトに表示されません。
- ドライバのインストール後は必ず「テプラ」本体の電源をONにし、パソコンに接続してからラベルソフトを起動してください。
- インストール完了後、パソコンを再起動してからご利用いただくことをおすすめします。
- プリンタの削除は「プログラムのアンインストール」（または「プログラムの追加と削除」）からインストールプログラムで削除してください。

参照☞P.148「ラベルソフト、プリンタドライバをアンインストールする」

パソコンと「テプラ」本体を接続する

本機をパソコンと接続して使用する場合は、以下の手順で、PCリンク状態に切り換えて使用してください。

※パソコンとの接続には市販のUSBケーブルが必要です（USB2.0/1.1ケーブル A-Bタイプ）。

- ① 本機にACアダプタを接続する**
- ② 本機にUSBケーブルを接続する**
- ③ 本機にテープカートリッジをセットする**
- ④ 本機のを押し、電源を入れる**
- ⑤ 本機をPCリンク状態にする**

パソコンとUSBケーブルで接続した状態で、本機のボタンを押してPCリンク状態にします。



以降、「テプラ クリエイター」の使用方法についての詳細は、当社ホームページ（<https://www.kingjim.co.jp/>）をご覧ください。

!!注意!!

- パソコンにプリンタドライバをインストールしていない状態で本機をパソコンに接続して電源を入れ、ボタンを押してPCリンク状態になると、[新しいハードウェアの追加]画面が表示される場合があります。すぐに[キャンセル]をクリックしパソコンから本機をはずして、必ずプリンタドライバをインストールしてからご使用ください。
参照☞P.142「ラベルソフト、プリンタドライバをインストールする」
- 1台のパソコンに同じ機種の「テプラ」本体をUSBケーブルで複数接続する場合、接続する台数分のプリンタドライバが必要になります。2台目以降のプリンタドライバは、別の「テプラ」本体を接続すると自動的にプリンタドライバのコピーが作成されます。このとき新たにインストールされたプリンタドライバの名前には「コピー」がつきます。
- USBハブを使用した場合の動作については、保証できません。

ラベルソフト、プリンタドライバをアンインストールする

!!注意!!

- ・ラベルソフト、プリンタドライバのアンインストールは、必ず下記に記載の手順でおこなってください。
- ・プリンタドライバをアンインストールするときは、パソコンと「テプラ」本体を接続しているUSBケーブルをはずしてからおこなってください。

① 当社ホームページ（<https://www.kingjim.co.jp/>）から「テプラ クリエイター」ソフトウェアをダウンロードする

② ダウンロードしたファイルをデスクトップなどに保存し、ファイルを解凍したあと、表示されたフォルダ中のSetUp.exeファイルを実行する

③ [削除] をクリックする

アンインストールの準備が整うと、確認の画面が表示されます。



④ [はい] をクリックする

アンインストールが開始されます。



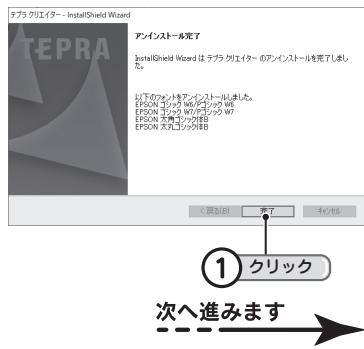
MEMO

ここで「いいえ」をクリックすると、ラベルソフトのアンインストールを中止します。

⑤ [完了] をクリックする

「テプラ クリエイター」に関連してアンインストールされたフォント一覧が表示されます。

続いて、プリンタドライバのアンインストールに進みます。



⑥ [はい] をクリックする

プリンタの選択画面に進みます。



MEMO

ここで「いいえ」をクリックすると、プリンタドライバのアンインストールを中止します。

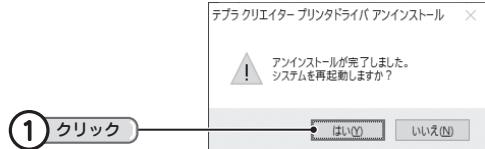
⑦ SR530 をネガ表示にし、[完了] をクリックする

プリンタドライバのアンインストールが開始されます。



⑧ [はい] をクリックする

パソコンが再起動されます。

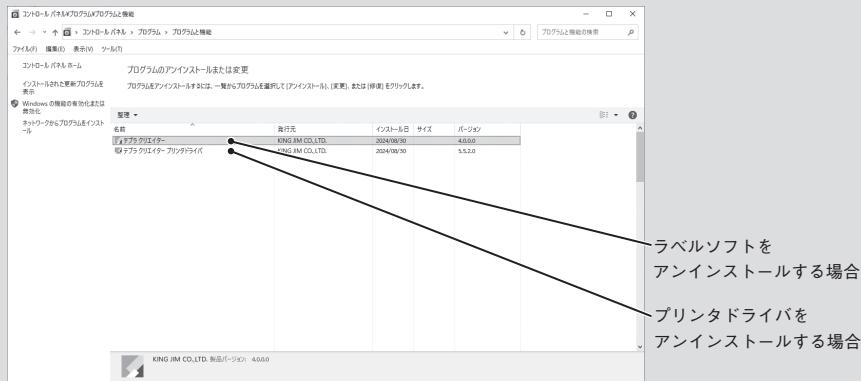


!! 注意 !!

- プリンタドライバをアンインストールした場合は、必ずパソコンを再起動してください。
- プリンタドライバの削除は「コントロールパネル」の「プログラムのアンインストール」(または「プログラムの追加と削除」)もしくはインストールプログラムで削除してください。

MEMO

ラベルソフト「テプラ クリエイター」とプリンタドライバのアンインストールは、[コントロールパネル] - [プログラムのアンインストール] からでも操作できます。ただし、当社ホームページ（<https://www.kingjim.co.jp/>）からダウンロードできるファイルからのアンインストールとは異なり、ラベルソフト(テプラ クリエイター)とプリンタドライバ(テプラ クリエイター プリンタドライバ)を個別にアンインストールする必要がありますので、ご注意ください。



付

録

こんな表示が出たときは

ディスプレイが消えたときは

操作を間違えると、ディスプレイが一瞬、消灯します。また、電源が入ったまま約5分間何も操作をしないと電源が自動的に切れ、ディスプレイが消灯します（オート・パワーオフ）。

エラーメッセージが表示されたときは

エラーメッセージ	原因・対処
電池を交換！	電池が消耗しました。電源を切り、すべての電池を新しいアルカリ乾電池（単3形×6本）に交換してください。または、電池の（+）（-）の向きが間違っている場合があります。電池の（+）（-）の向きを確認してください。また、できるだけ専用のACアダプタを使用してください。 参照☞P.22「1.ACアダプタを接続する」 参照☞P.22「2.電池（別売）を入れて使用するときは」
上カバーが開いています 電源を切ります	電源が入っている状態で上カバーを開くと表示され、電源が切れます。上カバーを閉じ、再度電源を入れてください。
テープ無し！	テープカートリッジがセットされていません。電源を切ってテープカートリッジを正しくセットしてください。 参照☞P.24「3.テープカートリッジをセットする」
テープ幅を確認して！	本機で使用できないテープ幅のテープカートリッジをセットしているか、正しい位置にセットされていません。テープカートリッジを確認してください。 参照☞P.24「3.テープカートリッジをセットする」
ヘッド過熱！	印刷を連続しておこなったために印刷ヘッドが過熱しています。テープカートリッジを抜いて、印刷ヘッドを冷やすためにしばらく放置してください。
行数オーバー	文章の行数が多くて、セットされているテープカートリッジでは印刷や印刷プレビューの表示ができません。または、あて名印刷を24mm幅以外のテープで印刷しようとしたときです。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、幅の広いテープカートリッジをセットするか、☒の出ている行を削除するか、行数を減らしてください。 参照☞P.44「テープ幅と印刷できる行数」
定長→字余り	定長で指定した長さに文章がおさまりません。文字数を減らしたり、文字の大きさを小さくしてください。 参照☞P.65「定長印刷」

エラーメッセージ	原因・対処
定長→字余り 強行？	定長で指定した長さに文章がおさまらない状態で [Shift]+[みえ ²] (=プレビュー) や [印刷] を押しています。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、文字数を減らしたり、文字の大きさを小さくしてください。このまま [選択改行] を押すと、定長を解除してプレビューまたは印刷を強行します。 参照☞ P.65「定長印刷」
メモリー満員	ファイル・あて名・名前を登録するメモリーがいっぱいです。これ以上登録できません。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、不要なファイル・あて名・名前を消去してください。 参照☞ P.91「ファイルを消去する」
ファイル無し	ファイルが登録されていない状態で、ファイルの呼び出し、消去、複写の操作をしようとしました。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。 参照☞ P.89「ファイルを登録する」
履歴無し！	印刷履歴がない状態で、印刷履歴の呼び出し、消去の操作をしようとしました。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。
連番・バーコードは3個まで！	連番とバーコードは、合わせて3個までしか入力できません。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。 参照☞ P.113「連番やバーコードを印刷する」
QRコードは2個まで！	QRコードは、2個までしか入力できません。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。 参照☞ P.113「連番やバーコードを印刷する」
QRコード大	QRコードが文字の高さを超える場合に表示されます。幅の広いテープにする、通常テキストの行数を減らす、セルサイズを小さくする、QRコードの誤り訂正率を低くする、QRコードの文字数を減らす、などの変更をしてください。
サイズが指定されています	段落スタイルの文字サイズが指定されている段落を [らく ²] ボタンで自動切り換えしようとしました。この場合は、らく ² /均等切換はおこなわれません。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。 らく ² ボタンは、文字サイズ「自動」に指定されているときにのみ有効です。
特殊印刷不能	指定した拡大印刷や連続印刷の内容では、長すぎて一度に印刷できるテープの長さ（16m）におさまりません。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、拡大印刷や連続印刷の指定内容を変更してください。 参照☞ P.120「特殊な印刷（ぞく ² 、でか ² ）」
あて名無し！	あて名が登録されていない状態で、あて名の修正、消去、複写、印刷の操作をしようとしました。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。 参照☞ P.94「あて名を登録する」
辞書にあり！	辞書登録すでに登録してある「語句・読み」を再度登録しようとしました。この場合は、その登録は行われずテキスト画面に戻ります。
登録辞書無し	辞書が登録されていない状態で、辞書の消去の操作をしようとしました。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。 参照☞ P.102「変換できない語句を登録する（辞書の登録）」

エラーメッセージ	原因・対処
名前無し！	名前が登録されていない状態で、名前の修正、消去、印刷の操作をしようとしました。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。 参照☞P.99「名前を登録する」

MEMO

上記項目を確認しても解決しないときは、当社お客様相談室までご相談ください。

参照☞卷末「アフターサービスについて」

故障かな？と思ったら

MEMO

パソコンと接続しているときの問題は、ラベルソフトの取扱説明書を参照してください。

正常な動作をしない

本機は電子機器のため、まれに静電気やその他の原因で不具合を起こすことがあります。

不具合によって、表示が乱れたり電源のON/OFFができないなど、正常に動作しなくなったときは、「本機の初期化」をしてください。

参照☞P.132「本機を初期化する」

を押してもディスプレイに何も表示されない

● ACアダプタはしっかりと接続されていますか？

本機のACアダプタ差込み口とコンセントにしっかりと接続してください。

参照☞P.22「1.ACアダプタを接続する」

● 電池は正しくセットされていますか？

電池の向きが $(+)$ $(-)$ 逆にセットされていると電源はONになりません。電池ケースの中に刻印されている向きに、全ての電池が正しくセットされているか確認してください。

参照☞P.22「2.電池（別売）を入れて使用するときは」

● 専用のACアダプタ以外のACアダプタを使用していませんか？

専用のACアダプタ（AC1116J）以外のACアダプタをご使用になると、本機の回路を損傷したり、過熱するなど大変に危険です。

● 電池が消耗していませんか？

消耗した電池を使用していると、電源が入らないことがあります。新しい電池と交換してください。

● ディスプレイの表示濃度は適切ですか？

ディスプレイの表示濃度によっては表示が見えないことがあります。ディスプレイが見にくいたときは、表示濃度を調整することができます。

参照☞P.129「ディスプレイの濃度を調整する」

キーボードが動作しない

● ディスプレイに「PC通信可能」と表示されていませんか？

「PC通信可能」のときは、パソコンからの操作が優先されます。「テプラ」本体でラベルを作るときは、を押してPCリンクを解除してください。

ディスプレイが消える

● オート・パワーオフ機能ではありませんか？

本機では電源が入ったまま約5分間何も操作しないと、電源が自動的に切れ、ディスプレイが消灯します（オート・パワーオフ）。

● 上カバーが開いていませんか？

本機では上カバーを開くと、保護回路のはたらきで電源が切れます。

● 操作を間違えませんでしたか？

本機では、ボタン操作を間違えると、ディスプレイが一瞬、消灯します。

を押しても何も印刷されない

● 文章が入力されていますか？

テキスト画面に何も入力されていないと印刷はされません。

● ディスプレイにメッセージが表示されていますか？

エラーメッセージが表示されていると印刷されません。

参照☞P.151「こんな表示が出たときは」

準備中と表示されているときは、しばらくお待ちください。

● 残りが十分にあるテープカートリッジを正しくセットしていますか？

テープカートリッジのテープがなくなっていたり、上カバーが正しく閉じていないと印刷できません。テープカートリッジを正しくセットし、上カバーをしっかりと閉じてください。

参照☞P.24「3.テープカートリッジをセットする」

- オートトリマーが動作中ではありませんか？
オートトリマー使用中は、印刷できません。

文字がきちんと印刷されない

- テープカートリッジは正しくセットされていますか？

テープカートリッジを正しくセットしていないと、きちんと印刷できません。

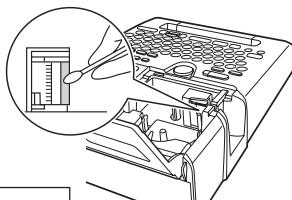
テープカートリッジを取り出し、もう一度手順に従ってセットしてください。

参照☞P.24「3.テープカートリッジをセットする」

- 印刷ヘッドが汚れていませんか？

印刷ヘッドにゴミ、ホコリなどが付着すると文字の一部がカスレることができます。別売のヘッド・クリーニングテープ（SR24C）をご使用になるか、綿棒に市販の薬用アルコール（エチルアルコール）を含ませて、印刷ヘッドを掃除してください。

参照☞P.157「お手入れについて」



- 電池が消耗していませんか？

電池が消耗すると「電池を交換！」と表示されます。速やかにすべての電池を新しいアルカリ乾電池（単3形×6本）と交換するか、専用のACアダプタ（AC1116J）を使用してください。電池を交換せずに使い続けると、操作中や印刷中に電源が切れことがあります。

ラベルを印刷後、自動カットされない

- 自動カット/しないに設定していませんか？

印刷設定の自動カット/しないに設定すると、印刷後の自動カットはおこなわれません。

参照☞P.126「自動カット」を設定する」

- カッターの刃が磨耗していませんか？

カッターは刃物ですので、長期間使い続けると磨耗し、切れにくくなります。カッターの刃の交換は有償で承ります。お買い上げ販売店または当社お客様相談室までご相談ください。

参照☞巻末「アフターサービスについて」

オートトリマーでうまくカットできない

- 印刷中ではありませんか？

テープ印刷中はオートトリマーが作動しません。

- ラベルをトリマー差込み口にきちんと差し込んでいますか？

ラベルをガイドに合わせず差し込むときれいにカットできません。ガイドに沿ってラベルを差し込んでください。

参照☞P.48「カドを丸く仕上げる」

- 切りクズがつまっていますか？

トリマーカバーをはずし、トリマーの切りクズを取り除いてください。

参照☞P.49「オートトリマーのお手入れ」

- 4mm、6mm幅テープをカットしようとしていませんか？

4mm、6mm幅テープはオートトリマーでカットすることはできません。トリマー（RT36W）を使ってカットしてください。

参照☞P.11「別売品のご案内」

- オートトリマーでカットのできないラベルを使用していませんか？

本機のオートトリマーでカットできないラベルはオートトリマーに差し込んでください。

参照☞P.48「カドを丸く仕上げる」

付

録

- オートトリマーの刃が磨耗していませんか？
オートトリマーの刃は、長期間使い続けると磨耗し切れにくくなります。オートトリマーの刃の交換は有償で承ります。お買い上げ販売店、または当社お客様相談室までご相談ください。
参照☞卷末「アフターサービスについて」

文章の途中までしか印刷されない

- テープカートリッジにテープの残りがありますか？
テープカートリッジのテープが終了している場合は、新品のテープカートリッジをセットしてください。
参照☞P.24「3.テープカートリッジをセットする」
- 電池が消耗していませんか？
電池が消耗すると「電池を交換！」と表示されます。速やかにすべての電池を新しいアルカリ乾電池（単3形×6本）と交換するか、専用のACアダプタ（AC1116J）を使用してください。電池を交換せずに使い続けると、操作中や印刷中に電源が切れことがあります。

ファイルの内容が消えてしまった

- 本機の初期化をしましたか？
本機の初期化をおこなうと、登録したファイル・あて名・名前・外字・辞書などのデータがすべて失われます。
参照☞P.132「本機を初期化する」
- 電源が入った状態で電池を交換していますか？
電池交換は、必ず電源を切ってからおこなってください。電源が入った状態で電池交換をおこなうと、登録したファイル・あて名・名前・外字・辞書などのデータがすべて失われることがあります。
- 動作中にACアダプタや電池を抜きましたか？
ファイル登録時の「実行中」や印刷の「準備中」および「印刷中」、電源を切るときの「電源を切る準備中」が表示されているときにACアダプタや電池を抜くと登録したファイル・あて名・名前・外字・辞書などのデータがすべて失われることがあります。

ラベルを貼り付けることができない

- 裏紙をはがしていますか？
粘着タイプのラベルは、裏紙をはがして貼ってください。
参照☞P.39「7.ラベルを貼る」
- 貼る場所が汚れていたり、凹凸がありますか？
表面がザラザラしている場所や、ホコリ、油のついている場所には貼り付けられません。また、特殊な加工がしてある面や、特殊な材質の面には貼り付けられない場合があります。

MEMO

上記以外のときや、上記項目を確認しても改善しないときは、お買い上げ販売店または当社お客様相談室までご相談ください。
参照☞卷末「アフターサービスについて」

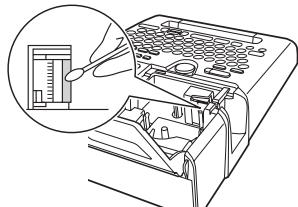
お手入れについて

■ 本機外側の汚れ・ホコリは

乾いたやわらかな布で拭き取ってください。とくに、汚れがひどい場合は、水を含ませ固く絞った布で拭き取ってください。ベンジン・シンナー・アルコールなどの溶剤・薬剤や化学ぞうきんの使用は絶対におやめください。

■ 印刷が欠けたりカスレたりする場合

印刷ヘッドにゴミがついていることがあります。別売のヘッド・クリーニングテープ（SR24C）をご使用になるか、綿棒に市販の薬用アルコール（エチルアルコール）を含ませて、印刷ヘッドを掃除してください。



ヘッド・クリーニングテープ（別売）を使う

① ヘッド・クリーニングテープを本機にセットする

② [シフト] を押しながら [印刷] (=テープ送り) を押す

③ 「テープ送り」を選び、[選択/改行] を押す

「テープ送り」の操作によりヘッド・クリーニングテープが送られ、印刷ヘッドがクリーニングされます。1~2回 おこなってください。

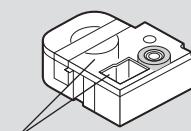
参照☞P.27「5.テープ送りをする」

!!注意!!

- 使用後はもとの箱に入れて清潔な場所に保管してください。ホコリ、砂などの多い場所に放置すると、クリーニング性が低下するばかりか、印刷ヘッドをいためる原因になります。
- ヘッド・クリーニングテープで印刷をおこなわないでください。印刷をおこなうとヘッドをいためる原因となります。
- 図の部分の白いテープがなくなるとテープがすべて巻き取られることになり、そのヘッド・クリーニングテープは終了です。テープ終了後に使用するとヘッドをいためるおそれがありますので、ご使用にならないでください。

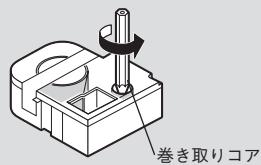


白いテープがなくなる



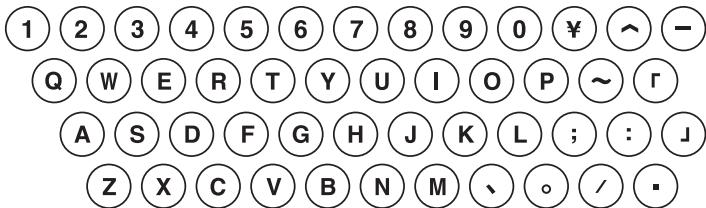
MEMO

- 本機でご使用になるヘッド・クリーニングテープはSR24Cをお使いください。
- テープは巻き取り式になっていますので、「テープカット」は不要です。
- テープがたるんでいる場合、図のように「巻き取りコア」を矢印方向に回してたるみを取ってください。
- ヘッドクリーニングをおこなっても印刷が欠けたりカスレたりする場合、本機の故障が考えられます。お買い上げ販売店または当社お客様相談室にご相談ください。
- ヘッド・クリーニングテープは薄い材料で作られています。新品でも少なめに見えますが、約120回のクリーニングが可能です。



入力文字一覧表

文字ボタン配列



入力文字表

「大」は [シフト] を押していない状態、「小」は [シフト] を押した状態を表します。

ボタン	ローマ字		かな		ABC		ABC(半角)	
	大	小	大	小	大	小	大	小
1	1	!	ぬ	！	1	!	1	!
2	2	@	ふ	@	2	@	2	@
3	3	#	あ	あ	3	#	3	#
4	4	\$	う	う	4	\$	4	\$
5	5	%	え	え	5	%	5	%
6	6	&	お	お	6	&	6	&
7	7	.	や	や	7	,	7	.
8	8	*	ゆ	ゆ	8	*	8	*
9	9	(よ	よ	9	(9	(
0	0)	わ	を	0)	0)
¥	¥	=	ほ	ほ	¥	=	¥	=
^	^	^	へ	へ	^	^	^	^
-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q	Q	q	た	た	Q	q	Q	q
W	W	w	て	て	W	w	W	w
E	E	e	い	い	E	e	E	e
R	R	r	す	す	R	r	R	r
T	T	t	か	か	T	t	T	t
Y	Y	y	ん	ん	Y	y	Y	y
U	U	u	な	な	U	u	U	u
I	I	i	に	に	I	i	I	i
O	O	o	ら	ら	O	o	O	o
P	P	p	せ	せ	P	p	P	p
~	~	÷	:	~	~	÷	~	~
`	`	`	`	`	`	`	`	`

ボタン	ローマ字		かな		ABC		ABC(半角)	
	大	小	大	小	大	小	大	小
A	A	a	ち	ち	A	a	A	a
S	S	s	と	と	S	s	S	s
D	D	d	し	し	D	d	D	d
F	F	f	は	は	F	f	F	f
G	G	g	き	き	G	g	G	g
H	H	h	く	く	H	h	H	h
J	J	j	ま	ま	J	j	J	j
K	K	k	の	の	K	k	K	k
L	L	l	り	り	L	l	L	l
:	:	+	れ	れ	:	+	:	+
:	:	×	け	け	:	×	:	~
]`]`	`	む]`]`	`]`	`
Z	Z	z	つ	つ	Z	z	Z	z
X	X	x	さ	さ	X	x	X	x
C	C	c	そ	そ	C	c	C	c
V	V	v	ひ	ひ	V	v	V	v
B	B	b	こ	こ	B	b	B	b
N	N	n	み	み	N	n	N	n
M	M	m	も	も	M	m	M	m
~, `	~, `	, `	ね	ね	~, `	, `	~, `	, `
。,	。,	, ,	る	る	。,	, ,	。,	, ,
/`	/`	?`	め	め	/`	?`	/`	?`
.	.	.	ろ	ろ	.	.	.	~

注1：ボタン⑦の「^」とボタン⑨の「^」は単独では入力できません。単独で入力した場合は「~」、「~」になります。

注2：ボタン⑩で入力できる文字は次のとおりです。

ローマ字（大）、かな（大）：「-」（長音）

ローマ字（小）、かな（小）、ABC（小）、ABC（半角）：「-」（マイナス）

ABC（大）：「-」（ハイフン）

注3：ボタン⑪の「.」はピリオドです。

注4：「ABC（半角）」はQRコード入力時のみ有効です。

付

録

漢字変換表

ここでは、区点コードを掲載しています。JISコード、シフトJISコードをお使いになるときは、市販の辞書などを参照してください。

参照☞P.110「読みのわからない漢字を入力する」

!!注意!!

- ・漢字変換表はJISに基づき「音読み」で記載しています。本機の内蔵辞書は「音読み」もしくは「訓読み」だけを搭載している文字があり、「音読み」では変換できないことがあります。
- ・表にあげた文字と印刷される文字の字形が異なるものがあります。

JIS第1水準

*の欄の数字は区点コードの下1桁を表します。

	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ア	1601～1609	亜	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔
	1610～1619	葵	茜	穢	惡	据	渥	旭	葦	芦	鯈
	1620～1629	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虯	鈴	絢	綾
	1630～1639	鮎	或	粟	裕	安	庵	按	暗	案	闇
	1640～1641	鞍	杏								
イ	1642～1649	以	伊	位	依	偉	囬	夷	委		
	1650～1659	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
	1660～1669	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
	1670～1679	井	亥	域	育	郁	磯	一	壘	溢	逸
	1680～1689	稻	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
	1690～1694	引	飲	淫	胤	蔭					
	1701～1705	院	陰	隱	韻	时					
ウ	1706～1709						右	宇	烏	羽	
	1710～1719	迂	雨	卯	鶴	窺	丑	碓	白	渦	嘘
	1720～1729	唄	鬱	蔚	蔓	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
	1730～1732	云	運	雲							
	1733～1739						荏	餌	叡	營	影
エ	1740～1749	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	頽	頽	英
	1750～1759	衛	詠	銳	液	疫	益	駿	悅	越	
	1760～1769	閑	樞	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
	1770～1779	掩	援	沿	演	炎	焰	煙	燕	猿	縁
	1780～1786	艷	苑	菌	遠	鉛	鷺	塙			
オ	1787～1789							於	汚	甥	
	1790～1794	凹	央	奥	往	応					
	1801～1809	押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	嵩	
	1810～1819	鷗	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	櫓	
カ	1820～1827	牡	乙	俺	卸	恩	温	穩	音		
	1828～1829										下化
	1830～1839	仮	何	伽	彌	佳	加	可	嘉	夏	嫁
	1840～1849	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
カ	1850～1859	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
	1860～1869	蝦	課	嶂	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
	1870～1879	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
カ	1880～1889	介	会	解	回	塊	壞	廻	快	怪	悔
	1890～1894	恢	懷	戒	拐	改					
	1901～1909	魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥	
	1910～1919	蟹	開	階	貝	凱	効	外	咳	害	崖
	1920～1929	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	涅
	1930～1939	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
	1940～1949	括	攬	格	核	殼	獲	確	樓	覺	角
	1950～1959	赫	較	郭	閣	隔	革	學	堊	渠	額
	1960～1969	顎	掛	笠	櫻	樞	鰐	鰐	割	喝	
	1970～1979	恰	括	活	渴	滑	葛	揭	轄	且	鱗
	1980～1989	叶	桃	樺	鞆	株	兜	竈	蒲	釜	鑊
	1990～1994	嘴	鴨	梧	栢	茅	萱				
	2001～2009	粥	刈	茹	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	
	2010～2019	勘	勸	卷	堪	姦	完	官	寃	干	
	2020～2029	幹	患	感	慣	換	敢	桓	棺		
	2030～2039	款	歎	汗	漢	澗	滌	環	甘	監	看
	2040～2049	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	觀
	2050～2059	諫	貴	還	鑑	間	閑	閔	陷	韓	館
	2060～2069	館	丸	含	岸	巖	玩	癌	眼	岩	翫
	2070～2074	贋	雁	頑	顏	願					
キ	2075～2079										企
	2080～2089	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
	2090～2094	旗	既	期	棋	棄					
	2101～2109	機	帰	穀	氣	汽	畿	祈	季	稀	
	2110～2119	紀	微	規	記	貴	起	軌	輝	飢	
	2120～2129	鬼	龟	偽	儀	妓	宜	戲	技	擬	欺
	2130～2139	犧	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
	2140～2149	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
	2150～2159	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
	2160～2169	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
	2170～2179	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
	2180～2189	巨	拒	拋	拳	渠	虛	許	距	鋸	漁
	2190～2194	禦	魚	亨	享	京					
	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

	区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
キ	2201~2209	供 俠 僕 兮 競 共 凶 協 匡
	2210~2219	卿 叫 喬 境 峠 強 張 快 恐 恭
	2220~2229	挟 教 橋 況 狂 狹 總 胸 脅 興
	2230~2239	嗇 鄉 鏡 韶 饗 驚 仰 凝 奕 晓
	2240~2249	業 局 曲 極 玉 桐 杆 僅 勤 均
	2250~2259	巾 錦 斤 欣 欽 禁 犬 筋 繫
	2260~2268	芹 菴 莺 襟 謹 近 金 鈴 銀
ク	2269	九
	2270~2279	俱 句 区 狗 玖 矩 苦 車 駆 駢
	2280~2289	駒 具 愚 虞 嘘 空 偶 寓 遇 隅
	2290~2294	串 柳 飼 屑 屈
	2301~2309	掘 窟 杏 鞍 彎 窪 熊 窪 条
	2310~2319	栗 繼 桑 鍤 烈 君 薫 訓 群 軍
	2320	郡
ケ	2321~2329	卦 裂 祔 係 傾 刑 兄 啓 圭
	2330~2339	珪 型 契 形 径 惠 慶 慧 懇 揭
	2340~2349	携 敬 景 桂 溪 畦 稽 系 経 繼
	2350~2359	繫 莖 茎 荊 蛾 計 詣 警 頸
	2360~2369	鶴 芸 遇 鯨 戰 執 激 隘 衍
	2370~2379	傑 欠 決 漢 穴 結 血 訣 月 件
	2380~2389	僕 倦 健 兼 券 劍 嘘 圈 堅 嫌
	2390~2394	建 憲 懸 拳 捲
	2401~2409	檢 権 爪 犬 研 砥 絹 県
	2410~2419	肩 見 謙 賢 軒 遣 鍵 陰 顕 驗
	2420~2429	斎 元 原 戰 幻 弦 減 源 玄 現
	2430~2434	絃 故 言 謬 限
コ	2435~2439	乎 個 古 呼 固
	2440~2449	姑 孤 己 庫 弧 戸 故 枯 潟 狐
	2450~2459	櫛 裂 股 胡 茵 虎 誇 跨 鉛 扱
	2460~2469	顧 鼓 五 互 伍 午 兮 吾 娼 後
	2470~2479	御 悟 梧 橋 瑞 甚 語 誤 護 酔
	2480~2489	乞 鯉 交 伎 侯 候 倉 光 公 功
	2490~2494	効 勾 厚 口 向
	2501~2509	后 喉 坑 堀 好 孔 孝 宏 工
	2510~2519	巧 巷 幸 広 庚 康 弘 恒 慌 抗
	2520~2529	拘 控 攻 昂 晃 更 杭 校 梗 構
	2530~2539	江 洪 浩 港 溝 甲 皇 硬 稿 糜
	2540~2549	紅 紗 紋 紗 網 耕 考 肯 肱 腔 膏
	2550~2559	航 荒 行 衡 講 貢 購 郊 酬 鉄
	2560~2569	礎 鋼 閣 降 項 香 高 鴻 剛 劫
	2570~2579	号 合 壕 拷 濟 豪 轟 韶 克 刻
	2580~2589	告 国 穀 酷 鵠 黑 獄 滉 腰 軫
	2590~2594	忽 憊 骨 犹 辰
	2601~2609	此 頃 今 困 坤 墾 婚 恨 懇
	2610~2618	昏 昆 根 桐 混 痕 紺 良 魂
ヰ	2619	些
	2620~2629	佐 叉 咳 左 差 查 沙 瑟 砂
	2630~2639	詐 鎮 娑 坐 座 挫 債 催 再 最
	2640~2649	哉 塞 妻 宰 彩 才 探 栽 賽 淚
	2650~2659	災 采 犀 碎 碧 祭 奈 細 菜 裁
	2660~2669	載 際 劑 在 材 罪 財 洋 坂 阪

	区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
ヰ	2670~2679	堺 柿 肴 咲 崎 墙 砦 鶯 作 削
	2680~2689	昨 擃 昨 肅 檵 窄 策 索 錯 櫻
	2690~2694	鮎 笹 匙 冊 刷
	2701~2709	察 拶 摄 擦 札 穂 薩 雜 露
	2710~2719	鯖 涮 鑄 鮫 皿 曬 三 傘 參 山
	2720~2729	惨 撒 散 桟 燦 珊 產 算 繁 蚕
	2730~2736	讚 賛 酸 餐 斬 暫 残
シ	2737~2739	仕 仔 伺
	2740~2749	使 刺 司 史 翠 四 士 始 姉
	2750~2759	子 尸 市 師 志 思 指 支 孜 斯
	2760~2769	施 旨 枝 止 死 氏 獅 社 私 系
	2770~2779	紙 柴 肱 脂 至 視 詞 試 誌
	2780~2789	諧 資 賦 雌 飼 齒 事 似 侍
	2790~2794	字 寺 慈 持 時
	2801~2809	次 滋 治 爾 犀 蟻 鹿 式 磁 示
	2810~2819	耳 自 蒔 辞 沙 沙 鹿 式 磁 鳴 竺
	2820~2829	軸 宍 零 七 叱 執 失 簿 嫉 室
	2830~2839	湿 漆 疾 質 実 蔔 簿 傅 敘 斜
	2840~2849	屢 茜 緝 舍 写 射 捨 車 駒 借
	2850~2859	社 紗 者 謝 車 遮 駒 錫 牽 犬
	2860~2869	尺 約 灼 爪 酣 酥 錫 牽 犬
	2870~2879	惹 主 取 手 朱 受 犬 犬 犬 犬
	2880~2889	腫 趣 酒 首 儒 朱 受 犬 犬 犬
	2890~2894	緩 需 因 収 周
	2901~2909	宗 就 州 修 愁 拾 行 洲 秀 秋
	2910~2919	終 繡 習 臭 舟 菓 衆 襲 豐 跡 十
	2920~2929	輯 過 酉 酬 集 醇 醇 什 住 充
	2930~2939	從 戎 柔 汁 洩 獸 廉 縱 重 銃
	2940~2949	夙 宿 淑 祝 缩 縱 墓 熟 出 銃
	2950~2959	述 俊 峻 春 瞬 竣 舜 駿 駿 駿
	2960~2969	旬 植 殉 淳 準 潤 盾 純 巡 遵
	2970~2979	醇 順 处 初 所 暑 曙 诸 庶
	2980~2989	署 書 薯 諸 諸 助 叙 女 序
	2990~2994	恕 鋤 除 傷 償
	3001~3009	勝 匠 升 召 哨 商 唱 嘉 奢 廠
	3010~3019	妾 委 宵 將 小 少 尚 庄 昌 昭 晶
	3020~3029	彰 承 抄 招 掌 昇 昇 涉 湘 燒 糟
	3030~3039	松 梢 樟 樹 沼 沼 消 祥 章 詔 銃
	3040~3049	照 痘 省 硝 碓 碓 稔 烹 笑 証 銃
	3050~3059	紹 肖 菖 蒂 蕉 蕉 衝 衝 裳 訟 銃
	3060~3069	詳 象 賞 醬 鈺 鍾 城 場 壤 糟
	3070~3079	丈 丞 乘 穀 剥 城 場 壤 糟
	3080~3089	情 援 条 杖 淨 狀 疊 蒸
	3090~3094	釀 錠 瞞 墓 飾
	3101~3109	拭 植 瘓 煥 織 職 色 触 食
	3110~3119	蝕 尿 尸 伸 信 侵 唇 嫩 申
	3120~3129	心 慎 振 新 晋 森 棱 浸 深 諮
	3130~3139	疹 真 神 秦 紐 仁 刃 廉
ス	3140~3149	身 辛 進 針 震 人 舌 諮
	3150~3157	尋 甚 尽 腎 訊 迅 陣 鞠
	3158~3159	管 諮

付

録

区点コード *0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

区点コード *0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

	区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9		区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9	
ヌ	3160~3169	須 酔 国 廚 逗 吹 垂 帥 推 水		ツ	3637~3639	津 墜 椎
	3170~3179	炊 睡 粋 翠 衰 遂 醉 錐 鍾 随			3640~3649	槌 追 鋸 痛 通 塚 梅 捱 櫻 佃
	3180~3189	瑞 隈 崇 嵩 数 枢 趣 離 据 杉			3650~3659	漬 枯 辻 蔦 緹 鐸 椿 漬 坪 壺
	3190~3194	相 苔 頗 雀 裳			3660~3665	嬬 紬 爪 吊 魚 鶴
	3201~3203	澄 摺 尺		テ	3666~3669	亭 低 停 偵
セ	3204~3209	世 瀬 故 是 凄 制			3670~3679	刺 貞 呈 堤 定 帝 底 庭 廷 弟
	3210~3219	勢 姓 征 性 成 政 整 星 晴 棲			3680~3689	悌 抵 挺 提 梯 汀 稔 禎 程 締
	3220~3229	栖 正 清 牲 生 盛 精 圣 声 製			3690~3694	艇 訂 諦 踏 通
	3230~3239	西 誠 誓 請 逝 醒 青 静 斋 稅			3701~3709	邸 鄭 釤 鼎 泥 摘 罂 敵 滴
	3240~3249	脆 隻 席 惜 戚 斥 昔 析 石 積			3710~3719	的 笛 適 鑑 潑 哲 徹 撒 輻 迭
	3250~3259	籍 繢 脊 責 赤 跡 碩 硕 切 拙			3720~3729	鉄 典 填 天 展 店 添 纏 甜 貼
	3260~3269	接 摂 折 設 窃 節 說 雪 絶 舌			3730~3737	転 頽 点 伝 殿 濱 田 電
	3270~3279	蟬 仙 先 千 占 宣 專 尖 川 戰		ト	3738~3739	兔 吐
	3280~3289	扇 摆 桤 梅 泉 浅 洗 染 潜 煎			3740~3749	堵 塗 姮 屠 徒 斗 杜 渡 登 菁
	3290~3294	煽 旋 穿 箭 線			3750~3759	賭 途 都 鏡 砥 砥 努 度 土 奴
	3301~3309	織 羨 腺 外 船 薦 詮 賤 践			3760~3769	怒 倒 党 冬 凍 刀 唐 塔 塔 套
	3310~3319	選 還 錢 銑 閃 鮮 前 善 漸 然			3770~3779	宕 島 鳴 悅 投 搭 東 桃 梔 梔
	3320~3324	全 禅 繕 膳 糜			3780~3789	盜 淘 湯 涛 灯 燈 當 痘 痘 等
ソ	3325~3329	曾 増 塑 帷 措 曾			3790~3794	答 答 糖 純 到
	3330~3339	曾 楚 狙 疏 疎 磔 祖 粗 粗 素			3801~3809	董 蕩 藤 討 膳 豆 踏 逃 透
	3340~3349	組 蘇 訴 阻 邊 鼠 僧 創 反 繁			3810~3819	鑑 陶 頭 滕 闢 勵 動 同 堂 尊
	3350~3359	倉 奪 壮 奏 索 宋 層 𠂇 懇 想			3820~3829	憧 撞 洞 瞳 童 脫 道 銅 峠
	3360~3369	搜 揮 捅 搞 操 早 曹 巢 檜 槽			3830~3839	鴉 匪 得 德 洗 特 督 禿 篤 毒
	3370~3379	漕 燥 爭 瘦 相 窓 糟 總 線 聰			3840~3849	獨 読 楠 機 凸 突 段 屢 穗 苦
	3380~3389	草 莊 葬 蒼 蕤 裳 走 送 遭 銀			3850~3859	寅 西 潤 噴 屯 懇 敦 池 豚 通
	3390~3394	霜 騷 像 增 憎			3860~3863	頓 吞 曇 鈍
	3401~3409	臓 藏 贈 造 促 側 則 即 息		ナ	3864~3869	奈 那 內 乍 凰 雍
	3410~3419	捉 束 測 足 速 俗 属 賊 族 繁			3870~3879	説 灘 捺 鍋 檬 騣 繞 南 楠
	3420~3429	卒 袖 其 捅 存 孫 尊 損 村 遂			3880~3882	軟 難 汝
タ	3430~3439	他 多 太 汰 詫 唾 堕 妥 懈 打		ニ	3883~3889	二 尼 武 途 句 賑 肉
	3440~3449	柁 舶 楠 陀 駄 輛 体 堆 對 耐			3890~3894	虹 甘 日 乳 入
	3450~3459	岱 带 待 懈 戴 替 泰 滯 胎			3901~3907	如 尿 垣 任 妊 忍 認
	3460~3469	腿 苦 袋 貸 退 逮 隊 黑 鯛 代		ヌ	3908	濡
	3470~3479	台 大 第 醒 題 鷹 滯 瀧 卓 啄			3909	襦
	3480~3489	宅 托 拓 沢 灑 琢 託 鐸 濁			3910~3919	祢 寧 葱 猫 热 年 念 捻 燃 粘
	3490~3494	諾 草 凤 鮎 只			3920	
	3501~3509	叩 但 達 辰 奪 脱 翫 緯 辿		ノ	3921~3929	乃 廻 之 垅 囊 懈 濃 納 能
	3510~3519	棚 谷 狩 鰐 樽 誰 丹 单 嘘 坦			3930~3934	脳 腹 農 觀 蟲
	3520~3529	担 探 旦 歎 淡 漏 炭 短 端 篠		ハ	3935~3939	巴 把 播 犄
	3530~3539	綻 耳 胆 蛋 誕 鍛 团 壇 彈 断			3940~3949	波 派 琶 破 婆 罵 芭 馬 俳 廃
	3540~3544	暖 檻 段 男 談			3950~3959	拝 排 敗 杯 盆 牌 背 肢 豊 配
チ	3545~3549	值 知 地 弛 耻			3960~3969	倍 培 媒 梅 槌 煙 買 壳 賠
	3550~3559	智 池 痴 稚 置 致 蜘 遷 驰 繁			3970~3979	陪 這 蝶 稚 菲 菲 菲 剥 剥 博 拍
	3560~3569	畜 竹 筑 蕃 逐 秩 穀 茶 嫡 着			3980~3989	柏 泊 白 箔 粮 舶 薄 追 曝 漠
	3570~3579	中 伸 宙 忠 抽 昱 柱 注 虫 袋			3990~3994	爆 繩 莫 駁 麦
	3580~3589	註 酷 鑄 駐 樺 濑 猪 芸 著 貯			4001~4009	函 箱 稔 箸 肇 笮 檻 肌
	3590~3594	丁 兆 調 嘶 龍			4010~4019	畑 畠 八 鉢 濡 發 醒 髮 伐 罷
	3601~3609	帖 帳 庁 吊 張 彫 徵 懲 挑			4020~4029	拔 筏 開 鳩 嘶 嘴 哈 隅 伴 判
	3610~3619	暢 朝 潮 牖 町 眇 聽 脹 腸 蠶			4030~4039	半 反 叛 帆 撤 斑 板 汗 汗 版
	3620~3629	調 謀 超 跳 銚 長 頂 鳥 勅 挿			4040~4049	犯 班 畔 繁 般 蕃 販 範 采 煩
	3630~3636	直 朕 沈 珍 貨 鎮 陳			4050~4058	頒 飯 挽 晚 番 盤 蕃 販 蕃 販
	区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9		区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9	

	区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
ヒ	4059	匪
	4060~4069	卑否妃庇彼悲雇批披斐
	4070~4079	比泌疲皮碑秘緋罷肥被
	4080~4089	誹費避非飛樞簸備尾微
	4090~4094	枇毘琵眉美
	4101~4109	鼻柊稗匹疋懿彥膝菱
	4110~4119	肘弼必畢筆逼桧姫媛紐
	4120~4129	百謬俵彪標水漂瓢票表
	4130~4139	評豹廟描病秒苗鑄鉢蒜
	4140~4149	蛭鰐品彬斌浜瀨貧賓類
	4150~4151	敏瓶
フ	4152~4159	不付埠夫婦富富布
	4160~4169	府怖扶敷斧普浮父符腐
	4170~4179	膚美譜負賦赴阜附侮撫
	4180~4189	武舞葡蕪部封楓風葺落
	4190~4194	伏副復幅服
	4201~4209	福腹複覆淵弗払沸仏
	4210~4219	物鮒分吻噴墳憤扮焚奮
	4220~4225	粉糞紛雰文聞
ヘ	4226~4229	丙併兵墀
	4230~4239	幣平弊柄並蔽閉陞米貢
	4240~4249	僻壁碧別警蔑範偏変
	4250~4259	片篇編辺返遍便勉婉弁
	4260	鞭
ホ	4261~4269	保舗鋪圃捕歩甫補輔
	4270~4279	穂募墓慕戊暮母簿普倣
	4280~4289	俸包呆報奉宝峰峯崩庖
	4290~4294	抱捧放方朋
	4301~4309	法泡烹砲縫胞芳萌蓬
	4310~4319	蜂襄訪豊邦鋒飽鳳鵬乏
	4320~4329	亡傍剖坊妨帽忘忙房暴
	4330~4339	望某棒冒紡肪膨謀貌貿
	4340~4349	鉢防吠頬北僕卜墨撲朴
	4350~4359	牧睦穆鉢勃沒殆堦幌奔
	4360~4363	本翻凡盆
マ	4364~4369	摩磨魔麻埋妹
	4370~4379	昧枚毎哩楨幕膜枕鮑柅
	4380~4389	鱗樹亦俣又抹末沫迄併
	4390~4394	繭磨万慢満
	4401~4402	漫蔓
ミ	4403~4409	味未魅已箕岬密
	4410~4418	蜜湊蓑稔脈妙耗民眠
ム	4419	務
	4420~4428	夢無牟矛霧鵠椋娘
メ	4429	冥
	4430~4439	名命明盟迷銘鳴姪牝減
	4440~4445	免棉綿緬面麵
モ	4446~4449	摸模茂妄
	4450~4459	孟毛猛盲網耗蒙儲木點
	4460~4469	目李勿餅尤戻初貰問閼
	4470~4472	紋門匂

	区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
ヤ	4473~4479	也治夜爺耶野弥
	4480~4489	矢厄役約葉訛躍靖柳藪
	4490	鍾
ユ	4491~4494	愉愈油癒
	4501~4509	諭輸唯佑優勇友宥幽
	4510~4519	悠憂揖有袖湧涌猶歎由
	4520~4528	祐裕誘遊邑郵雄融夕
ミ	4529	予
	4530~4539	余与譽輿預傭幼妖容庸
	4540~4549	揚搖擁曜楊様洋溶熔用
	4550~4559	窯羊耀葉蓉要謡踊遙陽
	4560~4568	養慾抑欲沃浴翌翼淀
ラ	4569	羅
	4570~4579	螺裸來萊賴雷洛絡落酪
	4580~4587	亂卵嵐欄濫藍蘭覽
リ	4588~4589	利吏
	4590~4594	履李梨理璃
	4601~4609	痢裏裡里離陸律率立
	4610~4619	葎掠略劉流溜琉留硫粒
	4620~4629	隆竜龍侶慮旅虜了亮僚
	4630~4639	阿凌察料梁涼獵療瞭
	4640~4649	糧良諒遼量陵領力綠倫
	4650~4659	厘林淋熐琳臨輪隣鱗麟
ル	4660~4664	瑠星涙累類
レ	4665~4669	令伶例冷励
	4670~4679	嶺怜玲礼苓鈴隸零靈
	4680~4689	齡曆歷列劣烈裂廉恋憐
	4690~4694	漣煉簾練聯
	4701~4703	蓮連鍊
ロ	4704~4709	呂魯櫓爐賂路
	4710~4719	露勞妻廊弄朗樓榔浪漏
	4720~4729	牢狼籠老聲蠍郎六麓祿
	4730~4732	肋錄論
ワ	4733~4739	倭和話歪賄脇惑
	4740~4749	梓鷺互亘鰐詫藁蕨椀澗
	4750~4751	碗腕

区点コード *0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

区点コード *0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

JIS第2水準

文字上の2桁の数字は点コードを表わします。
従って「丶」の区点コードは「4807」となります。

区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
4801~4809	式 丐 丕 个 卑 丶 丶 丶 丶 丶
4810~4819	乖 乘 亂 丂 豫 事 舒 式 于 亞
4820~4829	亟 亾 亢 京 毫 宣 从 仍 仄 仆
4830~4839	彷 仗 刚 𠂇 𠂇 价 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
4840~4849	徇 伦 𠂇 信 修 侏 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
4850~4859	侑 佯 來 侖 優 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
4860~4869	俑 俚 例 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
4870~4879	倅 侔 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
4880~4889	僕 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
4890~4899	傀 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
4901~4909	僉 僨 僨 僨 僨 僨 僨 僨 僨 僨
4910~4919	僮 僨 僨 僨 僨 僨 僨 僨 僨 僨
4920~4929	僨 儻 儻 儻 儻 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
4930~4939	兢 競 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
4940~4949	問 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
4950~4959	决 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
4960~4969	几 處 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
4970~4979	剗 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
4980~4989	剗 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
4990~4999	劍 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5001~5009	劍 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5010~5019	勸 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5020~5029	勸 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5030~5039	勸 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5040~5049	危 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5050~5059	厥 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5060~5069	厥 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5070~5079	厥 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5080~5089	咒 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5090~5099	呴 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5101~5109	啞 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5110~5119	唔 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5120~5129	唔 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5130~5139	咯 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5140~5149	喰 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5150~5159	喰 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5160~5169	囁 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5170~5179	囁 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5180~5189	囁 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5190~5199	囁 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5201~5209	囁 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5210~5219	囁 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5220~5229	囁 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5230~5239	囁 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5240~5249	囁 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
5250~5259	囁 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
5260~5269	壠 壤 壘 壤 壤 壤 壤 壤 壤 壤
5270~5279	壠 壤 壘 壤 壤 壤 壤 壤 壤 壤
5280~5289	壠 壤 壘 壤 壤 壤 壤 壤 壤 壤
5290~5299	壠 壤 壘 壤 壤 壤 壤 壤 壤 壤
5301~5309	姫 姦 姮 姮 姮 姮 姮 姮 姮 姮
5310~5319	姫 姦 姮 姮 姮 姮 姮 姮 姮 姮
5320~5329	姫 姮 姮 姮 姮 姮 姮 姮 姮 姮
5330~5339	姫 姮 姮 姮 姮 姮 姮 姮 姮 姮
5340~5349	姫 姮 姮 姮 姮 姮 姮 姮 姮 姮
5350~5359	姫 姮 姮 姮 姮 姮 姮 姮 姮 姮
5360~5369	姫 姮 姮 姮 姮 姮 姮 姮 姮 姮
5370~5379	姫 姮 姮 姮 姮 姮 姮 姮 姮 姮
5380~5389	姫 姮 姮 姮 姮 姮 姮 姮 姮 姮
5390~5399	姫 姮 姮 姮 姮 姮 姮 姮 姮 姮
5401~5409	巵 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬
5410~5419	巵 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬
5420~5429	巵 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬
5430~5439	巵 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬
5440~5449	巵 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬
5450~5459	巵 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬
5460~5469	巵 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬
5470~5479	巵 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬
5480~5489	巵 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬
5490~5499	巵 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬
5501~5509	巵 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬
5510~5519	巵 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬
5520~5529	巵 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬
5530~5539	巵 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬
5540~5549	巵 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬
5550~5559	巵 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬
5560~5569	巵 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬
5570~5579	巵 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬
5580~5589	巵 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬
5590~5599	巵 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬
5601~5609	巵 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬
5610~5619	巵 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬
5620~5629	巵 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬
5630~5639	巵 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬
5640~5649	巵 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬
5650~5659	巵 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬
5660~5669	巵 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬
5670~5679	巵 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬
5680~5689	巵 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬
5690~5699	巵 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬
5701~5709	巵 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬
5710~5719	巵 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬
5720~5729	巵 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬
5730~5739	巵 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬
5740~5749	巵 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬
5750~5759	巵 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬
5760~5769	巵 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬 岬
区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
5770~5779	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搥	搦	搶
5780~5789	攝	搗	揭	搏	摧	擊	搏	摺	攪	撕
5790~5799	撓	撥	撩	撈	撼					
5801~5809		據	擒	擅	擇	捷	擊	擂	擋	舉
5810~5819	舉	擠	擡	抬	擣	攘	攬	擣	擴	擲
5820~5829	擺	攀	揼	攢	攢	攢	攢	攢	攢	攢
5830~5839	攵	攷	收	攸	攸	效	放	敕	敍	敍
5840~5849	敵	敵	敵	敵	數	斂	斂	變	斛	斟
5850~5859	斷	旆	旆	旆	旆	旆	旆	旆	旆	旆
5860~5869	无	旱	果	昊	昊	昃	昃	杳	杳	暉
5870~5879	易	晏	暎	晉	暎	暎	暎	晝	暎	暎
5880~5889	晟	晳	晳	暎	暎	暎	暎	暎	暎	暎
5890~5899	暨	遙	曉	暎	暎	暎	暎	暎	暎	暎
5901~5909	曠	暎	暎	暎	暎	暎	暎	暎	暎	暎
5910~5919	曳	曷	臚	臚	臚	臚	臚	臚	臚	臚
5920~5929	朶	朶	朶	朶	朶	朶	朶	朶	朶	朶
5930~5939	枉	朶	朶	朶	朶	朶	朶	朶	朶	朶
5940~5949	枉	朶	朶	朶	朶	朶	朶	朶	朶	朶
5950~5959	枷	柯	柯	柯	柯	柯	柯	柯	柯	柯
5960~5969	柢	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦
5970~5979	桀	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦
5980~5989	臬	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦
5990~5999	梵	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦
6001~6009	栴	栴	栴	栴	栴	栴	栴	栴	栴	栴
6010~6019	棹	棠	欃	欃	欃	欃	欃	欃	欃	欃
6020~6029	楷	樹	楨	楨	楨	楨	楨	楨	楨	楨
6030~6039	楨	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛
6040~6049	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦
6050~6059	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦
6060~6069	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦
6070~6079	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦
6080~6089	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦
6090~6099	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦
6101~6109	槧	槧	槧	槧	槧	槧	槧	槧	槧	槧
6110~6119	樞	樞	樞	樞	樞	樞	樞	樞	樞	樞
6120~6129	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦
6130~6139	欵	欵	欵	欵	欵	欵	欵	欵	欵	欵
6140~6149	欵	欵	欵	欵	欵	欵	欵	欵	欵	欵
6150~6159	欵	欵	欵	欵	欵	欵	欵	欵	欵	欵
6160~6169	欵	欵	欵	欵	欵	欵	欵	欵	欵	欵
6170~6179	欵	欵	欵	欵	欵	欵	欵	欵	欵	欵
6180~6189	欵	欵	欵	欵	欵	欵	欵	欵	欵	欵
6190~6199	涸	涸	涸	涸	涸	涸	涸	涸	涸	涸
6201~6209	涸	涸	涸	涸	涸	涸	涸	涸	涸	涸
6210~6219	涸	涸	涸	涸	涸	涸	涸	涸	涸	涸
6220~6229	涸	涸	涸	涸	涸	涸	涸	涸	涸	涸
6230~6239	涸	涸	涸	涸	涸	涸	涸	涸	涸	涸
6240~6249	漸	淺	漸	漸	漸	漸	漸	漸	漸	漸
6250~6259	漸	淺	漸	漸	漸	漸	漸	漸	漸	漸
6260~6269	漸	淺	漸	漸	漸	漸	漸	漸	漸	漸
6270~6279	漸	淺	漸	漸	漸	漸	漸	漸	漸	漸

区点コード *0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
6280~6289	溥	滂	溟	漑	漑	漑	漑	漑	漑	漑
6290~6299	滲	滲	滲	滲	滲	滲	滲	滲	滲	滲
6301~6309	漾	漾	漾	漾	漾	漾	漾	漾	漾	漾
6310~6319	潛	潛	潛	潛	潛	潛	潛	潛	潛	潛
6320~6329	潛	潛	潛	潛	潛	潛	潛	潛	潛	潛
6330~6339	瀉	瀉	瀉	瀉	瀉	瀉	瀉	瀉	瀉	瀉
6340~6349	瀉	瀉	瀉	瀉	瀉	瀉	瀉	瀉	瀉	瀉
6350~6359	瀉	瀉	瀉	瀉	瀉	瀉	瀉	瀉	瀉	瀉
6360~6369	炮	炮	炮	炮	炮	炮	炮	炮	炮	炮
6370~6379	熙	熙	熙	熙	熙	熙	熙	熙	熙	熙
6380~6389	煩	煩	煩	煩	煩	煩	煩	煩	煩	煩
6390~9399	燠	燠	燠	燠	燠	燠	燠	燠	燠	燠
6401~6409	燠	燠	燠	燠	燠	燠	燠	燠	燠	燠
6410~6419	爲	爲	爲	爲	爲	爲	爲	爲	爲	爲
6420~6429	犧	犧	犧	犧	犧	犧	犧	犧	犧	犧
6430~6439	狹	狹	狹	狹	狹	狹	狹	狹	狹	狹
6440~6449	狹	狹	狹	狹	狹	狹	狹	狹	狹	狹
6450~6459	狹	狹	狹	狹	狹	狹	狹	狹	狹	狹
6460~6469	狹	狹	狹	狹	狹	狹	狹	狹	狹	狹
6470~6479	狹	狹	狹	狹	狹	狹	狹	狹	狹	狹
6480~6489	狹	狹	狹	狹	狹	狹	狹	狹	狹	狹
6490~6499	狹	狹	狹	狹	狹	狹	狹	狹	狹	狹
6501~6509	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌
6510~6519	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌
6520~6529	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌
6530~6539	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌
6540~6549	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌
6550~6559	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌
6560~6569	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌
6570~6579	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌
6580~6589	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌
6590~6599	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌
6601~6609	癡	癡	癡	癡	癡	癡	癡	癡	癡	癡
6610~6619	癡	癡	癡	癡	癡	癡	癡	癡	癡	癡
6620~6629	癡	癡	癡	癡	癡	癡	癡	癡	癡	癡
6630~6639	癡	癡	癡	癡	癡	癡	癡	癡	癡	癡
6640~6649	癡	癡	癡	癡	癡	癡	癡	癡	癡	癡
6650~6659	癡	癡	癡	癡	癡	癡	癡	癡	癡	癡
6660~6669	癡	癡	癡	癡	癡	癡	癡	癡	癡	癡
6670~6679	癡	癡	癡	癡	癡	癡	癡	癡	癡	癡
6680~6689	癡	癡	癡	癡	癡	癡	癡	癡	癡	癡
6690~6699	癡	癡	癡	癡	癡	癡	癡	癡	癡	癡
6701~6709	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪
6710~6719	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪
6720~6729	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪
6730~6739	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪
6740~6749	稟	稟	稟	稟	稟	稟	稟	稟	稟	稟
6750~6759	稟	稟	稟	稟	稟	稟	稟	稟	稟	稟
6760~6769	稟	稟	稟	稟	稟	稟	稟	稟	稟	稟
6770~6779	稟	稟	稟	稟	稟	稟	稟	稟	稟	稟
6780~6789	稟	稟	稟	稟	稟	稟	稟	稟	稟	稟

区点コード *0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
7810~7819	遞 邀 遽 遊 隨 遷 選 遠 遇 邀
7820~7829	邊 邊 還 邑 邯 邱 邵 鄭 邶 邈
7830~7839	鄂 鄂 鄒 鄕 鄉 鄰 鄖 鄂 鄢 鄂
7840~7849	酥 酪 酪 醒 醍 醇 醇 醇 醇 醇
7850~7859	醪 酿 酒 酒 酒 酒 酒 酒 酒 酒
7860~7869	釦 金 鈎 鈎 鈎 鈎 鈎 鈎 鈎 鈎
7870~7879	鉗 鉗 鉗 鉗 鉗 鉗 鉗 鉗 鉗 鉗
7880~7889	鉋 鉋 鉋 鉋 鉋 鉋 鉋 鉋 鉋 鉋
7890~7899	銛 銛 銛 銛 銛 銛 銛 銛 銛 銛
7901~7909	鎌 錐 錐 錐 錐 錐 錐 錐 錐 錐
7910~7919	鑑 鑑 鑑 鑑 鑑 鑑 鑑 鑑 鑑 鑑
7920~7929	鑄 鑄 鑄 鑄 鑄 鑄 鑄 鑄 鑄 鑄
7930~7939	鑄 鑄 鑄 鑄 鑄 鑄 鑄 鑄 鑄 鑄
7940~7949	鑒 鑑 鑑 鑑 鑑 鑑 鑑 鑑 鑑 鑑
7950~7959	鑑 鑑 鑑 鑑 鑑 鑑 鑑 鑑 鑑 鑑
7960~7969	鑑 鑑 鑑 鑑 鑑 鑑 鑑 鑑 鑑 鑑
7970~7979	閔 閔 閔 閔 閔 閔 閔 閔 閔 閔
7980~7989	閩 閩 閩 閩 閩 閩 閩 閩 閩 閩
7990~7999	陼 陼 陼 陼 陼 陼 陼 陼 陼 陼
8001~8009	陝 陝 陝 陝 陝 陝 陝 陝 陝 陝
8010~8019	険 険 険 険 険 険 険 険 険 険
8020~8029	雋 雋 雋 雋 雋 雋 雋 雋 雋 雋
8030~8039	雋 雋 雋 雋 雋 雋 雋 雋 雋 雋
8040~8049	雋 雋 雋 雋 雋 雋 雋 雋 雋 雋
8050~8059	雋 雋 雋 雋 雋 雋 雋 雋 雋 雋
8060~8069	聾 聾 聾 聦 聦 聦 聦 聦 聦 聦
8070~8079	轎 轎 轎 轎 轎 轎 轎 轎 轎 轎
8080~8089	韻 韵 韵 韵 韵 韵 韵 韵 韵 韵
8090~8099	顛 顛 顛 顛 顛 顛 顛 顛 顛 顛
8101~8109	顛 顛 顛 顛 顛 顛 顛 顛 顛 顛
8110~8119	飴 飴 飴 飴 飴 飴 飴 飴 飴 飴
8120~8129	餃 餃 餃 餃 餃 餃 餃 餃 餃 餃
8130~8139	餃 餃 餃 餃 餃 餃 餃 餃 餃 餃
8140~8149	餃 餃 餃 餃 餃 餃 餃 餃 餃 餃
8150~8159	馳 馳 馳 馳 馳 馳 馳 馳 馳 馳
8160~8169	驅 驅 驅 驅 驅 驅 驅 驅 驅 驅
8170~8179	驅 驅 驅 驅 驅 驅 驅 驅 驅 驅
8180~8189	驅 驅 驅 驅 驅 驅 驅 驅 驅 驅
8190~8199	鬢 鬢 鬢 鬢 鬢 鬢 鬢 鬢 鬢 鬢
8201~8209	鬢 鬢 鬢 鬢 鬢 鬢 鬢 鬢 鬢 鬢
8210~8219	鬢 鬢 鬢 鬢 鬢 鬢 鬢 鬢 鬢 鬢
8220~8229	鰐 鰐 鰐 鰐 鰐 鰐 鰐 鰐 鰐 鰐
8230~8239	鮓 鮓 鮓 鮓 鮓 鮓 鮓 鮓 鮓 鮓
8240~8249	鰐 鮓 鮓 鮓 鮓 鮓 鮓 鮓 鮓 鮓
8250~8259	鰐 鮓 鮓 鮓 鮓 鮓 鮓 鮓 鮓 鮓
8260~8269	鰐 鮓 鮓 鮓 鮓 鮓 鮓 鮓 鮓 鮓
8270~8279	鰐 鮓 鮓 鮓 鮓 鮓 鮓 鮓 鮓 鮓
8280~8289	鰐 鮓 鮓 鮓 鮓 鮓 鮓 鮓 鮓 鮓
8290~8299	鰐 鮓 鮓 鮓 鮓 鮓 鮓 鮓 鮓 鮓
8301~8309	鰐 鮓 鮓 鮓 鮓 鮓 鮓 鮓 鮓 鮓
8310~8319	鰐 鮓 鮓 鮓 鮓 鮓 鮓 鮓 鮓 鮓
区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
8320~8329	鶴 鶴 鶴 鶴 鶴 鶴 鶴 鶴 鶴 鶴
8330~8339	鶴 鶴 鶴 鶴 鶴 鶴 鶴 鶴 鶴 鶴
8340~8349	麋 麋 麋 麋 麋 麋 麋 麋 麋 麋
8350~8359	麌 麌 麌 麌 麌 麌 麌 麌 麌 麘
8360~8369	麌 麌 麌 麌 麌 麌 麌 麘 麘 麘
8370~8379	鼈 鼈 鼈 鼈 鼈 鼈 鼈 鼈 鼈 鼈
8380~8389	鼈 鼈 鼈 鼈 鼈 鼈 鼈 鼈 鼈 鼈
8390~8399	鼈 鼈 鼈 鼈 鼈 鼈 鼈 鼈 鼈 鼈
8401~8409	堯 橫 橫 橫 橫 橫 橫 橫 橫 橫
8410~8419	
8420~8429	
8430~8439	
8440~8449	
8450~8459	
8460~8469	
8470~8479	
8480~8489	
8490~8499	
区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

その他

以下の132文字は本機特有の漢字です。
文字上の数字はコードの下2桁を表します。

コード									
85									
01	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	漬
02	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
03	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
04	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
05	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
06	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
07	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
08	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
09	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
10	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
11	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
12	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
13	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
14	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
15	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
16	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
17	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
18	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
19	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
20	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
21	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
22	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
23	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
24	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
25	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
26	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
27	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
28	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
29	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
30	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
31	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
32	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
33	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
34	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
35	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
36	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
37	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
38	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
39	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
40	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
41	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
42	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
43	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
44	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
45	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
46	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
47	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
48	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
49	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
50	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
51	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
52	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
53	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
54	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
55	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
56	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
57	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
58	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
59	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
60	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
61	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
62	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
63	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
64	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
65	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
66	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
67	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
68	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
69	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
70	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
71	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
72	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
73	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
74	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
75	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
76	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
77	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
78	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
79	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
80	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
81	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
82	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
83	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
84	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
85	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
86	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
87	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
88	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
89	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
90	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
91	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
92	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
93	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
94	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
95	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
96	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
97	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
98	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
99	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
100	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
101	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
102	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
103	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
104	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
105	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗	逸
106	鷗	葛	祇	麌	鯖	鯖	鱗	鱗</	

記号一覧表

!! 注意 !!

記号一覧表の記号と印刷される記号の結果が異なるものがあります。

分類	記号
記述	、。、・・：；「」？！—／＼～@～_§†‡‰、玳 ♪ ダル全々ダム…※*
省略	ヽ バ > ダル全々ダム… # No. & ナミコ [◎] [®] 秘印 清注 指検問 答祝休祭(代)(内)(直)(呼)(株)KK(有)(財)(社)(特)(学)TEL FAX
カッコ	“ ” () [] { } < > 《》 「」 『』 【】
矢印	→←↑↓↖↗↖→←↑↓↔↕
○△□☆	○●○△▲▽▼◆□■☆★◇◆♠♣♥♦♣♦♣
単位	% %o μmmmc m kmftmilecm ² m ³ a hakm ² cm ³ mg g kg t ccmldl ℓ kℓ mol ¥ 円 \$ € Fr ₣ A V Ω W kHz dB P A ° ' " °C °F ct
算数	+ - ± × ÷ = ≠ < > ≤ ≥ ∞ ∴ ≡ ÷ √ ∞ ∧ ∫
数字	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳〇一二三 四五六七八九 I II III IV V VI VII VIII IX X i ii iii iv v vi vii viii ix x 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 + - 1/2 1/3 2/3 1/4 3/4
2桁数字	00 ~ 99

分類	記号
乗り物	車 飛機 船 航空機 機械 交通工具
	飛機
食べ物	水果 蔬菜 飲料 食器 食物
	食物
予定	日曆 月曆 年曆 週曆
	日曆
暮らし	生活 住居 家具 家電 家事
	生活
シーズン	季節 天候 気象
	季節
家族	人間 人物 人物
	人物
干支	十二生肖
	十二生肖
星座	星座 星星
	星座
ギリシャ	アルファベット
	アルファベット
欧州	歐洲 文字
	歐洲 文字

分類	記号
案内記号	
編集	
季節風景	
お店	
学校	
建設	
病院	

分類	記号	
イラスト	POP	SALE おすすめの販賣! フラワーフリーデザイン 大安売り 大好評 入荷しました 募集中
	顔文字	(^ ^ゞ(+_+)(・・;)(>_<)(T_T)(^O^)m(__)m(・_・)(^ ^ゞ)(^ ^ゞ)
	お店	特売品 超特価 ハケン 初売り 在庫一掃 直輸入 半額 母の日 父の日 ポンパレ 新入社員 翻訳書 新車 洋服 NEW 定休日 お祭の日 無料 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% カウント
		登校日 入学式 卒業式 緊急 連絡網 体育祭 文化祭 授業白 林間学校 鹿児島学校
		避難訓練 春休み 夏休み 冬休み 学年活動 部活動 学年会 食堂会 提携会 目直
	学校	日誌 優等会 全体会 遠足 社会見学
		危険! 立入禁止 頭上注意 足元注意 整理整顿 安全第一 電気工事中 電気工事中 水道工事中 下水道工事中 工事中
		刃工事中 電話多忙 交通事故 警護帽 戻場事務所 場内禁煙 男女注意
	建設	外来初診の方 酸痛の方 休診 入院 面会 受付 面会 休憩室 新生兒室 赤ちゃん室
		健診 会員登録 血圧測定 血液検査 聴力検査 視力検査 尿検査 保険X線検査 健康保険
	病院	受付

ローマ字変換表

あ	あ A	い I	う U	え E	お O
か	か KA	き KI	く KU	け KE	こ KO
さ	さ SA	し SI	す SU	せ SE	そ SO
た	た TA	ち TI	つ TU	て TE	と TO
な	な NA	に NI	ぬ NU	ね NE	の NO
は	は HA	ひ HI	ふ HU	へ HE	ほ HO
ま	ま MA	み MI	む MU	め ME	も MO
や	や YA	い YI	ゆ YU	いえ YE	よ YO
ら	ら RA	り RI	る RU	れ RE	ろ RO
わ	わ WA		う WU		を WO
ん	ん N+(Y以外の子音または、アポストロフィー「'」)] (例) N+N→ん N+P→んP N+'→ん				
が	が GA	ぎ GI	ぐ GU	げ GE	ご GO
ざ	ざ ZA	じ ZI	ず ZU	ぜ ZE	ぞ ZO
だ	だ DA	ぢ DI	づ DU	で DE	ど DO
ば	ば BA	び BI	ぶ BU	べ BE	ぼ BO
ぱ	ぱ PA	ぴ PI	ぶ PU	ペ PE	ぽ PO
きや	きや KYA	きい KYI	きゅ KYU	きえ KYE	きょ KYO
しゃ	しゃ TYA	ちい TYI	ちゅ TYU	ちえ TYE	ちょ TYO
ちゃ	ちゃ CHA	ちい CYA	ちゅ CYU	ちえ CYE	ちょ CHO
てや	てや THA	てい THI	てゅ THU	てえ THE	てょ THO
にや	にや NYA	にい NYI	にゅ NYU	にえ NYE	によ NYO
ひや	ひや HYA	ひい HYI	ひゅ HYU	ひえ HYE	ひょ HYO
みや	みや MYA	みい MYI	みゅ MYU	みえ MYE	みょ MYO

りや	りや RYA	りい RYI	りゅ RYU	りえ RYE	りょ RYO
ぎや	ぎや GYA	ぎい GYI	ぎゅ GYU	ぎえ GYE	ぎょ GYO
じや	じや ZYA	じい ZIYI	じゅ ZYU	じえ ZYE	じょ ZYO
じゃ	じゃ JA	じい JYI	じゅ JU	じえ JE	じょ JO
ぢや	ぢや DYA	ぢい DYI	ぢゅ DYU	ぢえ DYE	ぢょ DYO
びや	びや BYA	びい BYI	びゅ BYU	びえ BYE	びょ BYO
ぴや	ぴや PYA	ぴい PYI	ぴゅ PYU	ぴえ PYE	ぴょ PYO
つか	つか TSA	つい TSI		つえ TSE	つお TSO
でや	でや DHA	でい DHI	でゅ DHU	でえ DHE	でよ DHO
ふあ	ふあ FA	ふい FI	ふえ FYI	ふお FE	ふお FO
ふや	ふや FYA	ふい FYI	ふゅ FYU	ふえ FYE	ふよ FYO
うあ	うあ VA	うい VI	うえ VU	うえ VE	うお VO
小あ	あ LA	い LI	う LU	え LE	お LO
かき	か LKA	か XKA		け LKE	
つ文	つ LTU	つ XTU			
字や	や LYA	ゆ XYA		よ LYU	

同一の子音+子音=っ+子音
(N以外有効)

付

録

おもな仕様

■入力

入力装置	JIS配列準拠キーボード式（72鍵） 文字ボタン48、機能ボタン24
入力状態	ローマ字入力、かなめぐり入力、ABC入力 小文字入力、小文字ロック（ABC入力時のみ）、記号入力、外字入力、コピー機能（30文字まで）、コード変換入力（区点コード・JISコード・ソフトJISコード）、部首読み入力、部首画数入力、ABC半角入力（QRコード時のみ）
漢字変換方式	ATOK for テプラ（学習機能付き連文節変換） 搭載語句数 約117,000語（追加可能）

■表示

表示装置	ドットマトリクスSTN液晶パネル
文字表示	102dot×64dot(6chr×4line)
表示濃度	-5～ふつう～+5(11段階)
インジケーター	36個
LED	1個

■記憶

文章メモリー	約175文字
内蔵ファイル	可変長データ式（あて名・名前と共に用） 約5,000文字/最大99ファイル（ファイル名を含む）
辞書登録	最大30件
外字登録	ピットマップフルライン自動拡大登録 フルライン（16・24・32・48ドット）×4文字
あて名登録	最大99件
名前登録	最大40件
印刷履歴	最大5件
拡張機能	データ転送ソフト「DATAメモリーシステム」SDM9でパソコンにデータ転送（ファイル、あて名、名前、外字）が可能

■フォント

内蔵文字数	全8,219文字
内蔵フォント	漢字 JIS第1水準2,965字、JIS第2水準3,390字、その他132字 ひらがな・カタカナ・英数字・記号・その他 ピットマップフォント 明朝体、ゴシック体、太ゴシック体、 行書体、隸書体（漢字書体・かな書体・英数書体） えれん体、ハッピ体、あしひ体、てまり体（かな書体） サンセリフHV体、クラレンドン・ローマン体、スクриプトBR体、スクリプトPL体、サンセリフST体、クロイスター・ブラック体（英数書体）

付

■印刷

印刷方式	熱転写PRO印刷方式
印刷濃度	-3～ふつう～+3(7段階)
ヘッド構成	サークルヘッド・128dot、180dpi
テープカートリッジ	「テプラ」PROテープカートリッジ 4・6・9・12・18・24mm幅
カッター	オートカッター 除電機構付
トリマー	センサーフルカット丸仕上げ（半径3mm）

録

■印刷機能

文字構成	7段階（拡大印刷を含むと17段階） P字 16 × 16dot (6ポイント相当) S字 24 × 24dot (10ポイント相当) M字 32 × 32dot (13ポイント相当) L字 48 × 48dot (19ポイント相当) G字 64 × 64dot (26ポイント相当) U字 96 × 96dot (38ポイント相当) H字 120 × 120dot (48ポイント相当)
※テープ幅によって印刷できない文字サイズがあります。	
デザインフォーム	30種（テンプレート式）
特殊フォーム	4種
あて名印刷最大	99件 カスタマバーコード印刷機能付
名前印刷最大	40件
特殊印刷	ぞく ² 、でか ² 、鏡文字
連番機能	加算一方向（繰り返し回数指定可）、1桁連番、2桁連番
バーコード	QRコード、JAN-13、JAN-8、UPC-A、UPC-E、NW-7、ITF（7種）

■電源、その他

主電源	AC100V（専用のACアダプタ AC1116J使用のこと）
補助バッテリー	アルカリ乾電池（単3形×6本）
電源スイッチ	ボタン式
パワーオフ	操作終了後、約5分で電源を自動的にオフする (外字作成・修正中、ACアダプタ使用時のPCリンク中をのぞく)
PC接続	USBケーブルにて接続
外形寸法	約196(W) × 218(D) × 63(H) mm
質量	約850g(電池、テープカートリッジを除く)
同梱品	本体 試用PROテープカートリッジ ACアダプタ（AC1116J） 取扱説明書 保証書
別売品	PROテープカートリッジ ヘッド・クリーニングテープ（SR24C） トリマー（RT36W） ハーフカッター（RH24） お名前タグメーカー（SRT10） スナップボタン（SRTB1） セミハード収納ケース（SR11B） キャリングバッグ（SR9B） システムトランク（SR10BT） システムケース（SR9H） テープカートリッジケース（SR4TH）

■使用条件

動作環境	温度：5～35°C 湿度：30～80%（非結露）
保存環境	温度：-10～55°C 湿度：5～80%（非結露）

付

録

索引

記号

- (バーコードマーク) 117
- ▬ (全角スペース) 36
- ▬ (半角スペース) 36
- ☒☒ (印刷不可行頭マーク) 20, 44
- ^N^N (連番マーク) 114
- ▨ (記号) 70
- ◀ (フルメモリーマーク) 20
- ▶ (文字モード指定マーク) 20, 57
- ◀↑↓▶ (カーソルボタン) 19
- ①② (空白行頭マーク) 20, 44
- ①② (実質行頭マーク) 20, 44

英数字

- 1桁 (連続番号) 113, 114
- 2桁 (連続番号) 113, 114
- 2桁数字 (記号) 53, 139
- 2倍でか² 120, 122
- 3倍でか³ 120, 122
- 4倍でか⁴ 120, 122
- 8mmビデオ (定長印刷) 59, 65
- 8mmビデオ (フォーム) 76, 78
- A4ファイル (定長印刷) 59, 65
- A4ファイル (フォーム) 76, 77
- ABC入力 35
- ABC入力【半角】(QRコード) 118
- ACアダプタ 10, 22
- ACアダプタ差込み口 17
- ATOK変換画面 30
- B5ファイル (定長印刷) 59, 65
- B5ファイル (フォーム) 76, 77
- C/D (バーコード) 113, 116
- CDケース (定長印刷) 59, 65
- CDケース (フォーム) 76, 78
- DAT (フォーム) 76, 79
- FD・MO (定長印刷) 59, 65
- FD・MO (フォーム) 76, 78
- ITF (バーコード) 113, 116
- JAN-8 (バーコード) 113, 116
- JAN-13 (バーコード) 113, 116
- MD (定長印刷) 59, 65
- MD (フォーム) 76, 79
- NW-7 (バーコード) 113, 116
- ON/OFF 19
- PCリンク状態 147
- POP 139, 172
- QR携帯1 (フォーム) 76, 81

- QR携帯2 (フォーム) 76, 81
- QR携帯3 (フォーム) 76, 82
- QRコード (バーコード) 113, 118
- QR備品管理 (フォーム) 76, 82
- RH24 (ハーフカッター) 11
- RT36W (トリマー) 11
- SR4TH (テープカートリッジケース) 11
- SR9B (キャリングバッグ) 11
- SR9H (システムケース) 11
- SR10BT (システムトランク) 11
- SR11B (セミハード収納ケース) 11
- SR24C (ヘッド・クリーニングテープ) 11, 158
- SRT10 (お名前タグメーカー) 11
- SRTB1 (スナップボタン) 11
- UPC-A (バーコード) 113, 116
- UPC-E (バーコード) 113, 116
- URL (QRコード) 113, 118
- USBコネクタ (パソコン接続用) 16
- VHS (定長印刷) 59, 65
- VHS (縦) (フォーム) 76, 78
- VHS (横) (フォーム) 76, 78

あ

- アイロン転写テープ 141
- アイロンラベル 141
- あて名 88, 93
 - 印刷 96
 - 修正 95
 - 消去 95
 - 登録 94
 - 複写 96
- あて名/名前/辞書 93
- 後揃え (割付け) 61, 69
- アフターサービス 卷末
- 網かけ (囲み・網) 63
- 誤り訂正率 (QRコード) 113, 118
- アンインストール 148
- プリンタドライバ 148
- ラベルソフト 148
- 一般 (QRコード) 113, 118
- イラスト 37, 139, 172
- 印刷 18
- 印刷 38
- 印刷イメージ 20
- 印刷/カットランプ 16
- 印刷情報 20
- 印刷設定 18, 125
- 印刷濃度 (印刷設定) 125, 127
- 印刷不可行頭マーク (☒☒) 20

印刷履歴	88、92	拡大印刷	120、122
消去	92	確定文字	20
呼出	92	影文字（飾り字）	63、72
インジケーター	20	囲み・網（文字モード）	55、63、73、130
インストール	142	飾り字（文字モード）	55、63、72、130
プリンタドライバ	142	カスタマバーコード（あて名）	97
ラベルソフト	142	下線（囲み・網）	63
インデックスラベル	84、141	カタカナ	31
上カバー	16	学校（記号）	139、171
上カバーボタン	16	学校（外枠・表組）	62
上書き呼出（ファイル）	90	学校持ち物（フォーム）	76、81
英数字	35	カット（テープ送り）	140
英数書体	63、71	カド丸	48
エラーメッセージ	151	かな書体	63、71
お祝い（フォーム）	76、81	かな入力	31
オートトリマー	16、48	画面	20
～のお手入れ	49	仮確定文字	30
オート・パワーオフ	26	環境設定	19、128
多め（余白）	59、67	～メニュー一覧	128
送りカット（テープ送り）	27、140	漢字	31
お名前タグメーカー（SRT10）	11	漢字検索	19、110
おまかせフォーマット（文字サイズ）	60、68	～メニュー一覧	110
お店（記号）	139、171	漢字書体	63、71
お店（外枠・表組）	62	漢字変換表	160
終わり？		記号	19
機能	56	～一覧表	168
段落スタイル	62	～メニュー一覧	138
文章書式	59	季節風景（記号）	139、171
文字モード	64	機能の説明	
音楽テープ（定長印刷）	59、65	段落スタイル	68
音楽テープ（フォーム）	76、79	文章書式	65

か

カーソル	20、41	文字モード	71
～の位置（機能）	55	キャラリングバッグ（SR9B）	11
カーソルジャンプ	19	行	44
カーソルボタン (◀ ▶ ▲ ▼)	19、41	鏡像	124
改行	33、44	強調（斜体・強調）	63、72
外字	104、139	行頭マーク (1 2 … ×、1 2 … ×)	20
参照修正	109	極少（余白）	59、67
参照作成	109	禁止！（フォーム）	76、79
修正	107	均等（文字サイズ）	54、60、68
消去	108	空白	36
登録	106	空白行頭マーク (1 2)	20、44
複写	108	区点コード	111、160
呼出	107	クラフトラベル（白文字）	141
改段落	19、46	クリーニングテープ	158
回転の捺印（フォーム）	76、77	繰り返し回数（連続番号）	113、114
顔文字（記号）	139、172	グレー文字ラベル	141
鏡文字印刷	120、124	黒塗り（外字）	104
角囲み（囲み・網）	63	罫入力記号 (罫)	70
角囲網（囲み・網）	63	ケーブル（フォーム）	76、79

付

録

ケーブル用（特殊フォーム）	76, 84	スペース	36		
建設（記号）	139, 171	スナップボタン（SRTB1）	11		
建設（外枠・表組）	62	税込値札（フォーム）	76, 77		
候補（ATOK変換画面）	31	正体（斜体・強調）	63, 72		
コード検索（漢字検索）	110	狭い（文字間）	64, 73		
固定フック	16	セミハード収納ケース（SR11B）	11		
コピー	19	セルサイズ（QRコード）	113, 118		
コピー	42	全角スペース（_）	36		
細かく（伸・縮）	63, 72	全体の幅（バーコード）	113, 116		
小文字ロック	19, 35	選択表示	19		
さ					
サイズ（文字サイズ）	55, 60, 68, 130	全文消去（消去）	43, 140		
削除	19	操作パネル	18		
削除	42	ぞく ²	120, 121		
辞書	88, 102	促音	32		
修正	103	外枠（外枠・表組）	61, 70		
消去	103	外枠・表組（段落スタイル）	55, 61, 70, 130		
登録	102	た			
呼び出す	102	耐熱ラベル	141		
システムケース（SR9H）	11	濁音	32		
システムトランク（SR10BT）	11	たて書き（縦・横）	52, 60, 68		
実質行頭マーク（①②）	20, 44	底欄	18, 52		
指定範囲（機能）	55	縦・横（段落スタイル）	55, 60, 68, 130		
自動（英数書体）	63	誕生日（フォーム）	76, 80		
自動（かな書体）	63	段落	46		
自動（文字サイズ）	60	段落消去（消去）	47, 140		
自動多め（余白）	59, 67	段落スタイル	55		
自動カット	125	～メニュー一覧	60		
～しない	126	小さく（伸・縮）	63, 72		
自動少なめ（余白）	59, 67	チェックデジット（バーコード）	116		
ソフト	19	縮める（伸・縮）	63, 72		
地紋印刷（文章書式）	55, 59, 65, 130	注意！（フォーム）	76, 79		
斜強調（斜体・強調）	63, 72	つめ ²	66		
斜体（斜体・強調）	63, 72	ディスプレイ	16, 20		
斜体・強調（文字モード）	55, 63, 72, 130	訂正線（囲み・網）	63		
住所＆氏名（フォーム）	76, 80	定長印刷（文章書式）	55, 59, 65, 130		
仕様	174	テープ送り	18, 27, 140		
消去	19, 43, 47	～メニュー一覧	140		
～メニュー一覧	140	テープカートリッジ	24, 141		
上質紙ラベル	141	～をセットする	24		
初期化	132	テープカートリッジケース（SR4TH）	11		
初期設定値	130	テープ確認窓	16		
初期値（連続番号）	113, 114	テープ通路	16		
書式	18	テープ取出し口	16		
書体（文字モード）	55, 63, 71, 130	テープ幅	44, 69		
白抜き（飾り字）	63, 72	でか ²	120, 122		
白抜影（飾り字）	63, 72	テキスト画面	20		
白塗り（外字）	104	デザインフォーム	74		
伸・縮（文字モード）	55, 63, 72, 130	～見本	77		
少なめ（余白）	59, 67	～メニュー一覧	76		
スタイル	18	テプラクリエイター	142, 147		

デモ印刷	135	表組み（外枠・表組）	61、70
電源		表示濃度（環境設定）	128、129
～を入れる	26	表示の切り換え	134
～を切る	40	ひらがな	31
電池	22	広い（文字間）	64、73
電池カバー	17	ファイル	18、88
電池ケース	17	ファイル	88、89
同梱品	10	消去	91
特殊印刷	18、120	登録	89
～メニュー一覧	120	複写	91
特殊フォーム	74	～メニュー一覧	88
～見本	83	呼出	90
～メニュー一覧	76	ファイル／印刷履歴／あて名／名前／辞書	
トリマー（RT36W）	11、48	～メニュー一覧	88
トリマーガイド	16	フォーム	74
トリマーカバー	17	～見本	77
トリマー差込み口	16	フォーム／特殊フォーム	18
トリマーテーブル	16	～メニュー一覧	76
な		フォルダー山（フォーム）	76、77
長い文章	34	複数ラベル（特殊フォーム）	76、85
中揃え（割付け）	61、69	部首画数（漢字検索）	110、112
なし（囲み・網）	63	部首読み（漢字検索）	110、112
名前	88、99	ふつう（飾り字）	63、72
印刷	101	ふつう（伸・縮）	63、72
修正	100	ふつう（文字間）	64、73
消去	100	ふつう（余白）	59、67
登録	99	復活	19
なまえ（縦）（フォーム）	76、80	復活	42
なまえ（横）（フォーム）	76、80	ふりがな（名前）	101
【力印】	19	プリンタドライバ	
入力文字一覧表	158	アンインストール	148
ネガ文字	20	インストール	142
熱収縮チューブ	141	フルメモリーマーク（◀）	20
伸ばす（伸・縮）	63、72	プレビュー	18、37
は		文章	
バーコード	113、116	～を消去する	43
バーコードマーク（■■■）	117	～をファイルする	89
ハーフカッター（RH24）	11	文章書式	55
貼付け（ペースト）	19、43	～メニュー一覧	59
半角スペース（_）	36	ペースト（貼付け）	19、43
半濁音	32	ヘッド・クリーニングテープ（SR24C）	11、158
ピッチ固定（文字間）	64、73	別売品	11
ピッチ自動（文字間）	64、73	【置換】	19
備品管理票（フォーム）	76、77	変換	31
病院（記号）	139、171	変換候補一覧（ATOK変換画面）	30
病院（外枠・表組）	62	変換候補数（ATOK変換画面）	30
描画エリア（外字）	104	変換候番号（ATOK変換画面）	30
		変換対象（ATOK変換画面）	30
		編集（記号）	139、171
		細・太の比率（バーコード）	113、116
		保存値	128、130
		保存値設定（環境設定）	128、131
		保存値復元（環境設定）	128、131

ま

前挿え（割付け）	61, 69
マグネットテープ	141
マスキングテープ「mt」ラベル	141
丸囲み（囲み・網）	63
丸囲網（囲み・網）	63
〔みえ〕	18, 134
みえ ²	134
見出し（縦）（特殊フォーム）	76, 83
見出し（横）（特殊フォーム）	76, 83
密着（文字間）	64, 73
ミニDV（定長印刷）	59, 65
ミニDV（フォーム）	76, 79
〔無変換〕	19
無変換	31
銘板（フォーム）	76, 81
メッセージ（フォーム）	76, 80
メニュー一覧	59, 138
印刷設定	125
環境設定	128
漢字検索	110
記号	138
消去	140
段落スタイル	60
テープ送り	140
特殊印刷	120
ファイル	88
ファイル／印刷履歴／あて名／名前／辞書	88
フォーム／特殊フォーム	76
文章書式	59
文字モード	63
連番・バーコード	113
〔モード〕	18
文字	

～をコピーする	42
～を削除する	42
～を挿入する	42
～を入力する	31, 41
～を貼り付ける	43
文字間（文字モード）	55, 64, 73, 130
文字サイズ（段落スタイル）	55, 58, 60, 68, 130
～を変更する	58
文字入力	30
文字変換	19
文字ボタン	19
文字モード	55
～メニュー一覧	63
文字モード指定マーク（▶）	20, 57

や

有効範囲	57
有効範囲は？	
段落スタイル	62
文字モード	64
拗音	32
用途（QRコード）	113, 118
よこ書き（縦・横）	52, 60, 68
余白（文章書式）	55, 59, 67, 130
読みの長さ	34

ら

〔らく〕	18, 54
らく ² （文字サイズ）	54, 60, 68
リセット（印刷設定）	125, 127
りぽん	141
連結呼出（ファイル）	90
連続印刷	120, 121
連続番号	113, 114
連番	18, 113, 114
連番・バーコード	18, 113
～メニュー一覧	113
連番マーク（'N ² N）	114
ローマ字入力	31
ローマ字変換表	173

わ

割付け（段落スタイル）	55, 61, 69, 130
割付け（割付け）	61, 69

付

録

アフターサービスについて

■保証書

保証書は販売店・お買い上げ年月日等の記入をお確かめのうえ、販売店よりお受け取りください。保証書と裏面の保証規定の内容をよくご覧のうえ、大切に保管してください。

■修理に出されるときは

保証期間内は、保証規定に基づいて修理いたします。本機およびご使用中のACアダプタ・テープカートリッジなど一式と保証書をお買い上げ販売店までお持ちください。保証期間後も、修理によって使用可能なときは、ご要望により有償で修理いたします。商品をお買い上げ販売店までお持ちください。なお、修理・検査をおこなうと、登録されているファイル・入力した文章のデータや学習内容などは消去されます。また、修理のとき一部代替部品を使わせていただくことがあります。あらかじめご了承ください。

■お問い合わせ

アフターサービスについてご不明な点やご相談は、お買い上げ販売店または当社お客様相談室にお問い合わせください。

お客様相談室 ☎ 0120-79-8107

携帯電話からの場合 0570-06-4759(通話料お客様負担)

■最新情報については

「テプラ」に関する最新の情報は、当社のホームページをご覧ください。
ホームページアドレス <https://www.kingjim.co.jp/>

■お客様登録のお願い

このたびはキングジム製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。お客様登録をしていただきますと、製品・サービスに関する情報提供やお問い合わせの受付など、キングジムがご提供するサポート・サービスを受けることができます。

お客様の個人情報の取り扱いについて

お客様からいただいた個人情報は、以下の目的で使用し、厳正な管理をいたします。
サービスやサポートのご提供・商品のご案内・統計情報としての利用・製品の改善等
なお、当社の個人情報の取り扱いの詳細につきましては、下記の当社ホームページをご覧ください。

お客様登録はこちらから▶ <https://kingjim.jp/user/>

「テプラ」PRO SR530 取扱説明書

2025年 9月 第8版

株式会社キングジム

〒101-0031 東京都千代田区東神田二丁目 10 番 18 号

SR530

取扱説明書

お客様相談室 ☎ 0120-79-8107

携帯電話からの場合 0570-06-4759 (通話料お客様負担)

株式会社 キングジム

東京都千代田区東神田二丁目10番18号 〒101-0031
<https://www.kingjim.co.jp/>